

演劇ぶっく

ENTERTAINMENT
P H O T O
M A G A Z I N E

演劇ぶっく第22巻第5号通巻129号
平成19年9月8日発行(隔月9日発行)

OCT.2007 vol.129

10
750yen

阿部サダヲ

[表紙のヒト]

相葉雅紀 今井翼 岩松了 生田斗真
白井晃 ROLLY

全方向から見せます!
『N O D A ・ M A P
T H E B E E』
野田秀樹 近藤良平

劇団☆新感線『犬顔家の一族の陰謀』

古田新太×宮藤官九郎×勝地涼 いのうえひでのり



全方向から
見せます!

012

[NODA・MAP番外公演/世田谷パブリックシアター提携公演]

THE BEE

近藤良平、堀尾幸男、小川幾雄、
奥秀太郎、野田秀樹



039

Power Push!

ヨーロッパ企画/M&Oplays+PPPPプロデュース
東京タンバリン/三糸会/[The Last Laugh]
ゲキメシネ/演劇集団キャラメルボックス
劇団、本谷有希子/『東京タワー』



えんぶ何でも研究/レポファン

- 056 レポートVOL.13 ●
高校生ブロガー・藤田一樹が突撃!
タニノクロウ演出の『野鴨』に迫る!
- 058 レポートVOL.14 ●
さよなら ベターボーツ
- 060 レポートVOL.15 ●
祝『ホレスタ』DVD発売! 一でも、ホレスタって……なに?
- 061 レポートVOL.16 ●
キ、キ、キ、客が少な〜い! のは、今だけ!
- 062 脱力系ミュージカルの雄・自己批判ショーの逆襲!
- 062 レポートVOL.17 ●
つつい見入ってしまう俳優 黒田大輔を知る!

CLOSE-UP STAGE

- 063 『スイッチを押すとき』永山たかし
- 064 『ヴェローナの二紳士』生田斗真
- 066 『三文オペラ』白井晃・ROLLY
- 068 『先輩へのおこがれ』政岡泰志・小林健一・辻修・伊藤美穂

002

阿部サダヲ



- 006 CHEER UP! ●相葉雅紀
- 008 CLOSE-UP STAGE ●『犯さん哉』
中越典子・大倉孝二・入江雅人
- 010 [維新派] nostalgia / 松本雄吉



犬顔家の一族の陰謀

〜金田真一耕助之介の事件です。ノート〜
古田新太・宮藤官九郎・勝地涼、
いのうえひでのり
インディ高橋のPatchy小道具研究所 R/29

- 028 [TBS/ホリプロ] お気に召すまま / 田山涼成、月川悠貴
- 032 World's Wing 翼 Premium 2007 / 今井翼
- 034 TAKARAZUKA 2007 NEW SCENE ● 柚希礼音
- 036 [Piper] ひーはー / 山内圭哉・腹筋善之介
- 050 [さいたまゴールド・シアター] 船上のピクニック / 岩松了

- 052 シバイのミカタ
グリンダ / 渡辺源四郎商店 / はなとゆめ / 青年団リンク 青☆組 / 東京セレソ
ンDX / 蛸鈴玉 / ゴキブリコンビナート / 小指値 / 地点 / tsumazuki no ishi
- 054 シバイのミカタ〜チケブレ編〜
中野成樹+フランケンズ / 劇団東京乾電池 /
自転車キンクリートSTORE and more!
- 070 特捜!えんぶスクープ関西版 吉永美和子
- 071 東から1枚 / 12 久住昌之
- 072 連載読み切り小説『蠅男』第五章 蠅男、現る 赤堀雅秋
- 074 素晴らしきギャグ人生2007 / 49 西川浩幸
- 075 栗根まことの人物ウォッチング / 小松和重
- 次号予告
- 076 ENBUゼミニュース
- 080 ヨムゼミ
- 081 ミニレポートオーディションニュース
- 082 シバイのミカタ+ 公演データ編(9月8日〜11月10日)
- 088 フロム・リーダーズ / プレゼント広場

[表紙MODEL]
阿部サダヲ
[PHOTOGRAPH]
竹中圭樹
[EDIT]
坂口真人 園田喬
[HAIR&MAKE]
志村治(アユタレ)
[ART DIRECTION]
釣巻敏康

演劇ぶっく社が運営する

ENBUゼミナール

演劇コース | 映像俳優コース | 映画監督コース

07年10月生募集中!

詳しくは
76ページを
ご覧下さい。





阿部サダヲ

表紙

いつも新鮮な気持ちで、もっと寄り道をしていきたい
阿部サダヲの勢いは、本当に留まる所を知らない。多数の外部出演、大人計画本公演、そして、大ヒットとなった映画初主演作——。演じることを真剣に楽しみ、新しいチャレンジにココロときめかせ、今もなお躍進し続ける阿部サダヲ。今秋、自身初挑戦となる翻訳ミュージカルに出演する彼に、近年の仕事に関するエピソードを聞いてきました。飾らないコトバの数々、ちよつと長めの表紙のヒト々をご堪能下さい！

演ぶチャート1位！
そして、映画初主演！

——まずは旬の話題から。映画『舞妓ハチロー』が絶賛公開中ですよ。今の率直なお気持ちを聞かせて下さい。

そうですね、ちよつと話は違いますが、もしも僕が……びっくりしたんですけど、僕、今年の演ぶチャートで1位になったじゃないですか。それで、「おめでとう」って言ってもらったことが多くんですけど、そういう沢山の人の応援が映画にも繋がってきてるんですね。

——有難うございます！

普段から舞台を観てくれる方は勿論なんですけど、公開の前にテレビでも告知をさせて頂いたの、その番組で初めて僕のことを知った人が映画を観てくれたりもしたんですね。より広がった感じがしました。出演者さんに植木(等)さんや伊東(四朗)さんがいらっしやいましたし、幅広い年代の方が観に来てくれて、「新しい

ものを見せてもらった」とか言ってくれたり。笑いがあるといのは大きいと思います。笑いつて、世代を選ばないじゃないですか。——撮影に関して、初めて経験したことはありましたか？

ほとんど全部が初めてに近いような気が(笑)。初主演だし、初共演の方もかなり多かったですよ。水田監督とはドラマで一緒にしてましたけど、柴咲(コウ)さんも堤(真)さんも、共演するの初めてだったんです。でも、普通に考えたら有り得ないような(笑)、あれだけの役をやるじゃないですか。楽しかったんですよ。正直、辛かったとか悩んだりとかがひとつもなかったんですよ。主演だからというプレッシャーを抱えてやってたわけでもなく、とにかく楽しかった。周りのスタッフも、いつも同じなんです。テンションが。だから、どういう状況なのか分かってない状態で仕事をすることが多いんです。「これって何百回とかでやる映画なの？」って、後になってから分かる(笑)。取材とか舞台挨拶で

全国を回るようになって「規模が大きいな、この映画」って実感したりとか。

振り返ると……
楽しかった(笑)

——簡単に構いませんので、近年の阿部さんの活動を振り返って頂けますか？

まず、06年初秋には大人計画フェスティバルがありました。僕は辛かったイメージが全くなくて。みんなは大変だったらしいんですけど。廃校は、スタッフやボランティアの方がきれいにしてくれました、あれだけの数のお客さんが入って……1万人です。すごいんですよ。それで文化祭みたいなことをやるっていうのがすごく楽しかったです。改めてDVDを見せてもらって、うち(大人計画)は自分達で考えて色々出来る人達が集まっているんだ、ということを知ったというか(笑)、「なんか、みんなスゲーな」って思いましたね。——07年は、新感線の『朧の森に棲む鬼』で幕開けしましたね。

新感線の『うえ歌舞伎』っていう世界がすっかりあるので、僕としては新橋演舞場の花道を走り抜きたいというのが最初の希望でした。それを初っ端のシーンで果たしたので……楽しかったです(笑)。あれだけ殺陣をやった舞台も今までなかったし。順手も逆手もやって。途中で目が見えなくなっちゃう役なんですけど、そこからの立ち回りは勝新(勝新太郎)っぽくやったりして、そういうのも面白いなあと思ってました。

あれだけ長い期間(ひとつの演目を)やったこともなかったですし、すごく体力が付きましたよ。腿とかに筋肉つきましたもんね。それでもまだ「公演数が少ない」って言ってる染五郎さんに驚きましたけど。すごいですよ、歌舞伎の方達は。声が潰れそうになってたのに、すぐ復活するんですよ。すごい方達がいるなあって再認識しました。——その後の舞台出演は、大人計画の本公演『ドブの輝き』でしょうか。

はい。体調不良が原因で、松尾(ズキ)さんが降板したんですけど、やっぱりこは松尾さんの作品を大事にしている人達が集まっているんだなあと感じました。松尾さんがいないからこそ、自分達で松尾さんのこと色々考えたりしたこと思ってるんじゃないか？とか考えた。勉強にもなりまして、実際。映像作家の井口(昇)さんと、宮藤(官九郎)さんと松尾

さん、3人でやるっていうのも面白かったし。ひとつの芝居の中で何役か兼ねるっていうんじゃないくて、内容が違う作品を続けてやるっていうのを舞台でやったことがなかった。で、これも楽しかったです(笑)。三人三様に面白くなって感じたし、3本とも似てるようで似てないんですよ。

歌うことは
子供の頃から好きでした

——次に阿部さんが出演される舞台が、ミュージカル『キャバレー』ですよ。とにかく周りから「すごい作品だよ」って言われることが多いんです。「『キャバレー』出るんですか？歌が感動なんです！」とか、「大ヒットした作品だよ！」とか。昨日も知り合いに「観ただけで泣ける」とか言われて(笑)、すごい作品なんだなあって、今頃びっくりしています。

——阿部さんの場合、割と真つ白な状態で稽古に挑む場合が多いんですか？
そうですね。稽古前の役作りはほとんどしないので。松尾さんがどういう風にやるのかが大事で、自分でこうしようっていうことじゃない気がするんですよ。でも……これを観に来るお客さんって、大人計画ファンの方もいるだろうし、松雪(泰子)さんや森山(未来)さんのファンの方もいると思うんですけど、『キャバレー』という作品自体が好きな方達が大勢いると思

楽しそうですね。
いいですねー!! がんばりま
す!

ミュージカル『キャバレー』 出演について

——「キャバレー」では、共演者の方もバ
ラエティに富んでいますよね。

松雪さんと森山さんと、二緒す
るのは、舞台では初めてです。後
は……村杉(蟬之介)さんが出演
しますね。ミュージカルから遠い人
だと感じるけど(笑)。秋山(葉津
子)さん、小松(和重)さんも楽し
みです。

——(注)ここでスタッフさんから、秋山
さんと小松さんはカップル役でラブソ
ングのデュエットあり、村杉さんは平岩
(紙)さんに合わせて歌うシーンありと
の情報が入る。

すごいすごい! でも、小松さん
の歌は想像つかないな。小松さ
ん面白そう。

——阿部さんの役・MCは、時代の荒波
の中で差別や偏見を受けるとい、複
雑な役とのことですが。

シヨとかのMCをやってる人っ
て、どこか陰がある感じがするん
ですよ。そこは描きたいなって思
います。どこか幸せじゃない人でい
てほしい、みたいな。実際には幸せ
なMCもいると思いますけど、で
も、紆余曲折あった人の方が。波
乱万丈な人がやってるイメージが
あるじゃないですか。グループ魂に
は、MCとして港カヲルって人が

いるんですけど、昔は勝手に設定
つけてましたからね。妻が帰ってこ
ないとか、勝手に決めて(笑)。そう
だ、この間、「キャバレー」のサントラ
を聞いたんですけど、すごくわく
わくしましたね。最初のキャバレー
のテーマ曲がカッコイイなと思って。

MCが何か言って、笑い声が起っ
て、曲がかかって……っていう流れ
は「あつ、始まった」って感じがする
じゃないですか。これいいな、や
りたいな! って思いましたし、お
客さんも本当にキャバレーに遊び
に来たという感覚で観られるん
じゃないかなあ。お酒は出せないで
すけど(笑)。そこにいる時は楽しく
なるっていう感覚はいいですよ。ね!

客席ってどういう風に作るんだろ
う? そういうのも楽しみなんです
よ。大きいでももんね、青山劇場。
——今作に関して、松尾さんから何か
お話は?

松尾さんからは何も聞いてない
です(笑)。稽古が始まって「阿
部、今回は……」って感じの話は
全くしないんですよ。だから、今
回もいつも通りだと思えますし、
いつも通り楽しくやりたいです。
でも、MCですごく不思議な雰
囲気があるし、松尾さんも役的に
は中性的な感じにするんじゃない
ですかね。

俳優・阿部サダヲ。 今思うところ

——お話を阿部さんご本人のことに戻

しますね。ちょっと変な質問なんです
が、阿部さんご自身が、自分の人気につ
いて、実感する瞬間というのはありま
すか?

誌面的に分かったことは、演ぶ
チャートで1位になったことです
かねえ。それだけの人が投票して
下さったわけじゃないですか。舞
台とかも「何回も観に行きまし
た!」って言うてる方もいたり
して、嬉しいですね。でも……人
気者になりたいとか1位になり
たいっていうのはあんまりないで
す(笑)。それでも、色んな人に阿
部サダヲって名前を覚えてもらえ
てきたというのは、感じますね。

——俳優としてのご自身の魅力はどん
な所だと考えます?

うーん、なんですかねえ……。
あんまりそういうの考えてない
ですよ。……そんなに突き放さ
ないような感じではないです。お
客さんと役者、みたいな壁があ
る。……僕、僕がいいと思っ
てる。……お客さんと役者の境は
あった方がいいですけど、役者だ
から偉いとか、そういう感覚はな
い方がいいんだろ。……僕、僕
なんです。僕、最初に演劇ぶつ
取材を受けた時も、基本「……」
ばかりでしたから(笑)。

——(笑)。沈黙、みたいな。

「何で喋らないの?」って言われ
たんですけど、逆に僕は「何でこ
んなこと聞くんだろう?」って思っ
てたんですよ。「阿部さん、今の状
況をどう思いますか?」って質問

されても、「まだ劇団入って2年
しか経ってないし、状況も何もな
いな」としか思えなくて。そうい
う意味では、今では随分喋れるよ
うになったかもしれないです(笑)。
役者として自分がどういう場所
にいるのかとか、全然分かってな
かったんですよ。最初の頃は。だ
から、何が変ったかといえば、色
々考えるようになったかもしれない
ですね。昔はこれが仕事だという
意識が薄かったのかも。

——では、阿部さんにとつての元気の源
といいますが、仕事へのモチベーションと
なっているものは何でしょうか?

舞台の場合、やっぱりお客さん
の笑い声とかがそうなんですけ
ど、特に今年は初めてのことが多
いので、大人計画の本公演ではや
らなそう。……それが出来るって
いうのも、またテンションが上がる
んですよ。翻訳ミュージカルもそう
ですけど、新鮮だし、新しいこと
に挑戦する感じとか、そういうの
で。……この仕事をもう14年やら
せていただいて、まだまだ初めて
のことが多いです。今でも毎回新
鮮な気持ちでいるので、この感覚
をずっと維持していきたいと思
います。初めての所とか初めての
人とか、やっぱり緊張感がありま
すから。同じ道、同じ人、同じ時
間というのが続くと、ちよつと辛
くなるかもしれない(笑)。だから
色々と寄り道していきいたいとい
う気持ちは強くありますね。



あべさだを○70年生まれ、千葉県出身。92年より大人計
画に参加し、以降ほとんどの公演に出演。グループ魂では
「破壊」の名前でボーカルを担当し、その歌唱力には定
評がある。07年秋には、ミュージカル『キャバレー』にて翻
訳ミュージカルに初出演する。

次回予定○PARCOプロデュース ミュージカル『キャバ
レー』10/6~21○青山劇場、10/26~28○愛知厚生
年金会館、11/2~4○大阪厚生年金会館 大ホール ○
「座頭市」12/3~16○新宿コマ劇場、12/20~29○梅
田芸術劇場メインホール、08/14~6○愛知厚生年金
会館 ○フジテレビ「ファースト・キス」月曜21:00~22:00

もうひとつの人格と生きる

相葉雅紀

CHEER UP!

あいばまさき○ 82年生まれ、千葉県出身。99年から嵐のメンバーとして「A-RA-SHI」でデビュー。グループのムードメーカー的存在。天才!志村どうぶつ園に出演中(毎週土曜夜7時~日本テレビで0.A)。役者としては映画「ピカミンチ」シリーズや「黄色い涙」などに出演。舞台は05年「燕のいる駅」、初の主演舞台で好評を博す。

次回予定◇「忘れられない人」10/22~11/11
◎東京グローブ座、11/16~11/18◎シアターBRAVA!

2年前、相葉雅紀の初舞台「燕のいる駅」で、彼が泣く姿を見た。

物語のラスト、意図したことはないのに周囲の人々を死に追いやってしまった主人公。1人残された駅員の彼はそこで本当に切なげに号泣していた。

「あの公演は、すごく印象的でした。最初は日常の「コマ」を切り取った楽しいシーンがずっと続くんですが、そこから最後の落着けが大きくて……。僕がみんなを殺してしまったという思いの表現も難しかったです。毎日、芝居自体の劇的なテンションを保つのもたいへんでした」

2週間ほどの公演だったが、終演後には仲間の役者たちとの飲み会に参加したり、どっぴり舞台生活を楽しんだという。

「でも自分なりに気をつけて暮らしていたんでしょね。終わったときは達成感もあったけど、すごくほっとして風邪をひきました(笑)」

それから2年。「そろそろ舞台もやりたくなくなってきた」彼を待っていたのが、10月に始まる「忘れられない人」。

もともとなっていたのは、93年の同名のアメリカ映画。孤児院で育った青年が、同じ店で働く娘に恋をする。ただ見ているだけで幸せな彼だったが、彼女が襲われ、助けたことから恋人同士に。だが彼はいつ命を失ってもおかしくない心臓の病を持っていた。

「いこのあたり初めてこの映画を観たんですが、僕が演じるアダムは、育った環境から心を閉ざしているし病を持っています。そんな内面をあまり見せない彼の、キラキラインへの思いをどう表すか。また、結果として彼女と恋人同士になるんですが、本当はただ見ているだけで幸せだったのかもしれない。そういう思いの純粋さとか力を表現できた」

相葉自身も、好きな子はただ見ているタイプ。「アダム」の気持ちにはわかります。彼みたいに後をつけたりはしないけど(笑)。アダムはとても、若い恋。なんと思える。自分のしたいこと、欲求をぶつけているだけかもしれない。自分の考え方が中心。結果は彼女のためにもなったけど」

役を自分と比べて語る相葉は、ある意味では醒めているくらい客観的だし知的だ。今回も演出は「燕のいる駅」と同じ宮田豊子だが、その演技指導についてもこんな例をあげて説明してくれる。

「ちょっと引いて自分を見ているといいと、お芝居なんだから、なりきっていても俯瞰して見ている感じ、っていう言われます。たしかに役で自分と重なるところがあったとしても、もう1個自分のなかに人格ができる。それにいるんものをぶち込んでいくのが面白い。「燕の」で毎日ラストで泣いていても、それを見ている自分だけのひとりで、それなりにいい、お芝居を演じていかなきゃいけないことが大事なんだと思う」

今回の「忘れられない人」も、観客のすすり泣きが劇場中にあふれそうな悲恋で、「思い入れのありそうなお客さんがたくさん来そうでコワイ(笑)」と気をひきしめつつ、それをも楽しんでいるような相葉雅紀。もう1個の人格アダムと生きる舞台生活が、また始まるようにしている。



cube presents
『犯さん哉』

作・演出◎ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演◎古田新太 中越典子 犬山イヌコ
巻島雄 大倉孝二 八十田勇一 入江雅人 山西惲
10/6〜28◎PARCO劇場、10/31〜11/4
◎梅田芸術劇場シアタードラマシティ



入江雅人

「この顔がこれこのタイトルだと、なんだか偉大なイメージがあるんですが……」
大倉「古田さんはくだらないことがやりたいかみたくて、でもKERAさんは、もう今、そんな昔みたいなくだらないこと書けないよ」「書いてました笑」
入江「まあへーな感じが多少あるんですけど、タイトルからはへーじゃないほうがいいですね」
大倉「そういうことも言いました、KERAさん」
入江「なんて？」
大倉「結構へーな部分が出てくるけど、いりばんが嫌いな人なんだよなあって」
入江「……だってコントで聞いたんで、コントなら新鮮だわーって思ってた」
大倉「2年前くらい前に、くだらないことやるからお出するよみたいなことを古田さんに言われたんです。ちよと違う感じですね、そこからは中越「私も、2年前くらいに古田さんの舞台を観た後、消飲みに連れてってもらった時に、古田さんに「2年後、中越に笑いを教えてやるって言ったの、そういうのが少しでもわかれはいいなあと」思ってます。自分を客観的に見る目がないと笑いの芝居は難しいと思うから、こへー」
入江「へー」
大倉「基本、あんまり服は着れない笑」

中越「あはははー」
大倉「基本な」
入江「基本だから」
中越「そっちが基本？ やだなー」(笑)「こないだは半々って聞きました。へーっていうのは聞かなかったけど、半分はいつものように真剣にお芝居してくれていいけど、あと半分は余裕をもった感じでいい、それが笑いついていいことなんじゃないのかな」
入江「大倉とはなんかね、つづつおのづこまれるかはやりたいですねえ。そういうシーンがあればいいけど」
大倉「そうですね、でも皆さんとまんべんなく結ばないでいいですね、せいかくから」
入江「人数も8人ですもんね。ちよつとい座組というか、共演のかたちもお互いに見知った顔ぶれですね」
中越「私はすごい緊張しちゃって。もう大先輩のかたがたばかりだから本当に……多分、事務所以外の人とかと関わるのが苦しまなそうなんですけど、いろいろ、助けてください」(大倉に)「大倉「俺もそうなの。先輩たちと結ばないでいい」
中越「大倉さんはない、大丈夫だって言うてたじゃん」
大倉「俺が言った？ ……お酒を飲んでた時？」
中越「うん、飲んでた」(笑)「最初は俺も緊張

する」「って言うてたのに」「ほんとにわかってる」「みたいな笑」
大倉「俺もやだ(笑)。やでしよう、だて」
中越「嬉しいけど……」
入江「珍しいよな」
大倉「すごい知っている人ばかりかたもん(笑)。いやー緊張しますよ」
入江「僕は緊張しないです(笑)」KERAさんとかやるのが舞台は「カフカフ」です(笑)「以て、それがどうなるか……共演する人はどんな人なんだろう？ ついていうときめきが欲しかった(笑)。今回はそれがいい」
大倉「ときめき、ないですね(笑)。「あー大倉さんなことをやるんだ？ みたいな感じでみんな見ると思ってます」
入江「あ、大倉にはそうかもね」
大倉「すーこいやりにくい」
入江「やりにくいだろうな(笑)」
大倉「……まあ、大丈夫、おもしろいんじゃないですか？ これだけおもしろい先輩たちが出てるんだから、おもしろいんです。僕は、あんまり調子に乗っていくと最終的に本気で怒られたりする可能性がある、それに気がつけたいですね(笑)」
入江「やっぱり観に行っても思いうけど、KERAさんの脚本って難しいんですよ。正確なスピードがあるから、そこからすれないように、ちよつと、うまいとやれるように、なぞるっていいなと思います」

——その中で、中越さんはこのメンバーの中でフレンです。中越「初々しくやりたいです(笑)。でも、こんなチャンスはなかなかないの、やっぱいろいろ教えてもらいたいです。結構、わかんないところを聞いたところ、できなくて、内にこもっちゃうんです。そういうところを直したい(笑)。でも私、すこい怖くて楽しめず」
大倉「この中では結構僕も若手のほうなんで、たまにはフレンシユな感覚を見せたい(笑)。中越さんや、あきくより全然フレンシユに、フレンシユに見えてほしい」
中越「どうしよう(笑)」
大倉「あの「フレンシユ」って言われるくらい」
入江「ぐいーで、多分しない」
大倉「あ、こんなこと言って、始まったら大概僕は余裕がないですから、ものすごいナーバスになります」
入江「ナーバスになるのとかはね、やめてほしい(笑)」
大倉「ほんとよくよくします」
入江「くよくよしたりねえ、それはやめてほしい。」「こいして、今日も楽しいですね、みたいな感じで(笑)。「はー、ツライすよ」とかやめてほしい」
大倉「掃除しときました！」
入江「そうそうそう、それがほしいな」
大倉「入江さん「こい」でいいですか？」
入江「いいね(笑)」

いりえまさと◎63年生まれ、福岡県出身。87年に劇団SHALALAを結成、90年以降ほとんどの作品の作・演出をつとめる。劇団の活動休止後も多くのドラマ、映画、舞台に出演。現在「サラリーマンNEO」(NHK)にレギュラー出演中。11/27〜演劇ユニットプロペラ大騒動(公演「マイルドにしろ」)では演出を行う。

中越典子

大倉孝二

CLOSE-UP STAGE

おおくらこうじ◎74年生まれ、東京都出身。95年よりナイロン100℃に参加。187センチの長身で、舞台、ドラマ、映画と幅広く活躍。現在は「受験の神様」(NTV)、「コリコミラクルタイプ」(CX)にレギュラー出演中。12月にはナイロン100℃で本公演に出演。

CONTE or HEAVY? CONTE and HEAVY?

ケラリーノ・サンドロヴィッチ1年半ぶりの新作は、座長・古田新太を筆頭に出演者もクセモノ揃いで、なんだか怪作になりそう……タイトルからして問題作の予感?!
そもそも「くだらないコトをやりたい」という古田の思惑で集まったこのメンバー、出演者は全員同じ事務所で昔ながらの見知った仲間。実は夏前に配られていた物語のあらすじ、KERAさんがいざ台本を書き始めてみたら全くあらすじとは違う話になっていったそうで——台本があがっていない取材時の時点では内容は謎に包まれたままで……。

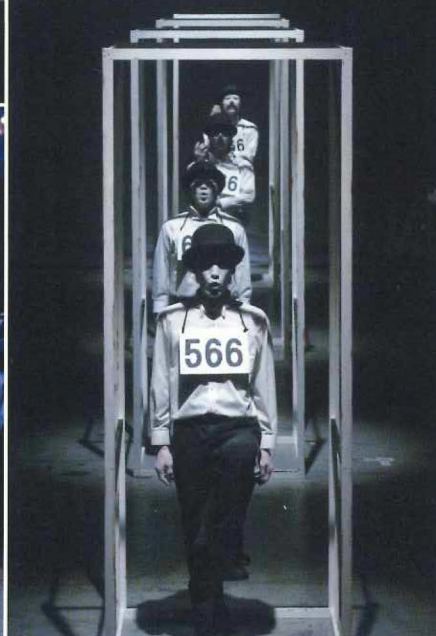
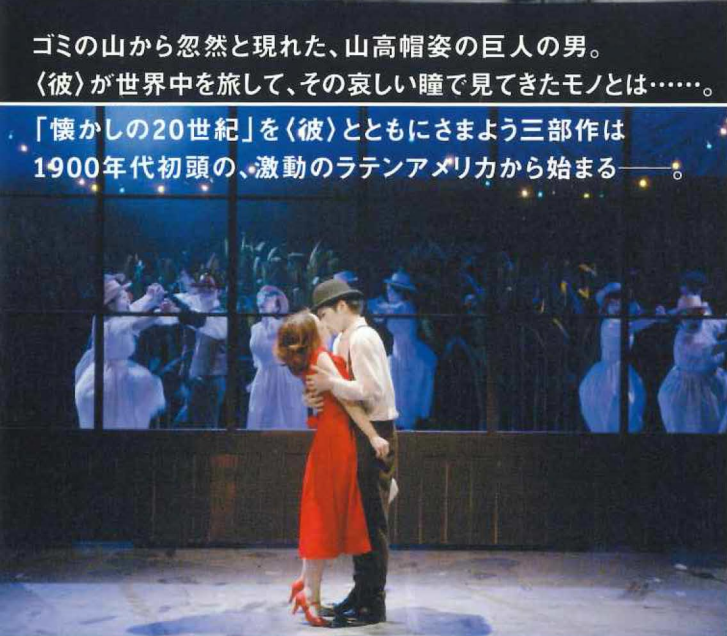
なかのりこ◎79年生まれ、岐阜県出身。03年に主演したNHK朝の連続テレビ小説「こころ」で注目され、以降ドラマ、映画、CM出演は多数にのぼる。長期間の舞台は「ダブリンの鐘つきカビ人間」(05年)以来、二度目。08年6月には「細雪」(帝国劇場)に出演。



21世紀の現代。海辺で遊ぶ子供らの前に、突如巨大なモンスターが現れる。(彼)はかつて、1908年にブラジル・サンパウロへと渡った日系移民・ノイチ(藤木太郎)だった。彼は人を殺したために、恋人のポルトガル系移民・アン(大石美子)と友人の先住民・チキノ(岩村吉純)を連れ、南米中を逃亡する。その長い旅の果てにアメリカ西海岸の金鉱で倒れたノイチが、最後の瞬間に目にしたのは……。



ゴミの山から忽然と現れた、山高帽姿の巨人の男。
〈彼〉が世界中を旅して、その哀しい瞳で見てきたモノとは……。
「懐かしの20世紀」を〈彼〉とともにさまよう三部作は
1900年代初頭の、激動のラテンアメリカから始まる――。



作・演出◇松本雄吉 音楽◇内橋和久 美術◇黒田武志 映像◇高岡茂 出演◇升田学 岩村吉純 藤木太郎 坊野康之 森正史 木戸洋志 西塚拓志 金子仁司 石本由美 平野舞 エレコ中西 稲垣里花 江口佳子 中麻里子 尾立聖実 坂野香穂里 大石美子 大形梨恵 辻本良樹 土江田賀代 まる 田口裕子 金子紗里 近森絵令 吉本博子 石橋秀美 6/29~7/11◎大阪城ホール西倉庫内特設劇場 ウルトラマーケット

維新派 nostalgia 〈彼〉と旅をする20世紀三部作#1

今年も屋内空間で「野外劇」ではできない、だけど野外同等のスケールを持つ「世界作りに挑戦した維新派。本作から始まる三部作のシンボルとなる怪物(彼)が誕生するまでのいきさつを、いつもにも増して精度を上げた振付と大胆な映像使いで、ダイナミックに見せきった。とはいえこれは〈彼〉の長い長い旅の、ほんのブローグ。維新派は〈彼〉を連れ、これからどこへと向かうのか？

巨大モンスター誕生秘話

数年前から、奈良の平城宮址で野外劇をやりたいという願望がありました。その場所似合う芝居を考え、時「大きな怪物を立たせる」という図が浮かんだんです。観客が自然と上を向いて、平城宮址の地形が見渡せるような仕掛けを考えたら、巨人が動くのが一番効果的かなと。本作の目玉である〈彼〉は、1人のスタッフが人力で動かしています。僕が美術スタッフに伝えたのは、見た目が怖い怪物ではなく、単に人間が拡大しただけのようなモノにしてくれ、ということでした。巨人伝説とか、大抵「大きい」だけで物悲しいでしょ？ 基本的に〈彼〉には、あまり演出は付けなかったですね。とにかく倒れんかったらええわ、という感じで(笑)。

劇場ならではの映像使い、そして音

今回は三都市ツアーで、セットがそんなに作れないという理由から、早い段階でバックに映像をいっばい使おうが、なんか声がものすごく響いて神聖なものに感じられました。

観客が自然に物語を想像し創造する

「昨年ブラジルで公演を打った時に、日系ブラジル人の日本語に衝撃を受けました。試験管で純粋培養したような、言葉の宿つてない日本語で。あと移民つて、渡航時には洋装をして、帽子をかぶることを義務づけられたらしいんです。移民は1908年に始まったから、そこから日本人が西洋……西洋の象徴である帽子を追いかける世紀が始まったのかなと。その辺のことを合わせて「1人の日系移民が怪物となり、20世紀を放浪する」というロードムービー風の物語を、三部作で見せるという構想が生まれました。

今回はえらく「すごい物語ですね」って言われるんですよ。恋人を乱暴された男が相手と殺して逃げるだけの、単純な話なのに(笑)。それは映画のフラッシュバックのように、シーン矢継ぎ早に入れ替えたいかもしれない。観る側はそのスピードに追いつくために必死に想像力を膨らませて

かつて、そこにあった〈20世紀〉へ

と決めました。映像を使うのが意外に思われたらしいけど、すでに80年代には全編映像を使った作品をやったんですよ。ウルトラマーケットをスタジオ代わりに利用できたので、コスト面では助かりました(笑)。

ただウルトラマーケットは上にコンサートホールがあるために、ワイヤレスマイクが使えなくて、それで仕方なく生声でやっただけ、これが思いがけず効果的でした。チャンチャン☆オペラの本当の良さは、グルーブことに違いない。パターンでしゃべってる声が、ステレオ状態で聞こえてくる点。マイクを通してその効果が多少薄れてしまっただけ、今回はちゃんと聞き分けできましたね。一部のシーンは、役者の生声と録音した声をミックスしたんです



こつちが仕掛けた以上のドラマを頭の中で創つていたのかもしれない。ただあの早さで場面を変えるのは、やはり野外では無理。屋内なら、紙芝居をサツとめくる感覚で切り替えられる。野外はスピードに限界あるし、何よりも空までは変えられへんからね(笑)。

埼玉、京都、そして次は……？

この大阪公演は、いっつになく好評でしたよ。秋には埼玉公演があります。大阪よりいい映像機材が使え、さらに良い舞台にできるといいです。役者の振付も、いっそう磨きがかかるでしょう。今回は上半身と下半身のリズムを違えるなど、本当に難しい動きをやっていますから、ぜひ役者を褒めたってほしいです(笑)。

来年の第二部ですが、今平城宮址での野外劇の認可が下りるよう、あれこれ動いているところなんです。もし実現したら野外本来の良さというか、今までやったことないような感じの芝居がやれると思います。やっぱりね、なんとしてでもお客さんには、あの風景を体験してもらいたい……もう、ホンマにええ場所やらねえ。

松本雄吉



まつもとゆうきち◎46年生まれ、熊本県出身。70年に劇団日本維新派(現維新派)を結成。74年以降、全作品の作・演出を務める。90年代に「喋らない台詞、歌わない音楽、踊らない踊り」と評される「チャンチャン☆オペラ」のスタイルを確立。近年は海外でも公演を実現させ、いずれの国でも高い評価を得ている。

次回予定◇「nostalgia」(彼)と旅をする20世紀三部作#1 11/2~4◎彩の国さいたま芸術劇場大ホール、08/2/2~3◎京都芸術劇場 春秋座



全方向から見えます!

THE BEE

NODA・MAP番外公演
世田谷パブリックシアター提携公演

原作・筒井康隆『竜りあい』 脚本・野田秀樹
コリン・ティーパーン 演出・野田秀樹 出演・(日
本版)野田秀樹 秋山菜津子 近藤良平 浅野和
之 (ロンドン版)キャサリン・ハンター 野田秀樹
クリン・プリチャード トニー・ペル
6/22~7/29 シアターラム

昨年ロンドンで初演され、絶賛された『THE BEE』。

今回は新たに日本語版が書き下ろされ、
日本版とロンドン版との連続上演が敢行された。

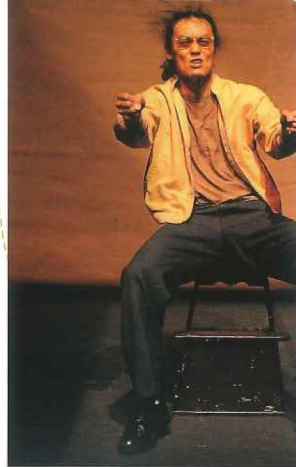
作品に込められたテーマは、暴力の連鎖。

1時間10分という短い時間のなかに、様々な演劇的仕掛けを施し、
想像を喚起すると同時に、目を背けたくなるほどの強烈な衝撃を与えた。



「役になるということ」
 今回 近藤さんは演技が初めてだったそうですが、実際にやられていかがでしたか？
 僕はこの前に野田さんの芝居は観たことがなかったんですが、人から聞いた映像で観たりして、なんとなく野田さんの芝居は動くだろう、というのがあって。たぶん伝統的な台詞劇とかをやられて言われたらやらなかったと思う。あと個人的にはダンスで誘われてるわけじゃなくて、完全にストレートプレイで演技をするっていうシチュエーションだったから、すごく気持ちよく簡単に言えはまたさらな状態で向かうことができましたね。
 小古呂、小古呂の息子、安直、リポーターなどの複数の役を演じましたが、工夫した部分はありますか？
 まあ工夫というレベルじゃないかな(笑)。否定的にそうだったという感じ。本読みの段階までは、僕と浅野さんの配役について野田さんも悩んでたらしくて。僕の役を浅野さんが、浅野さんの役を僕がやる、ということも少し考えてたみたいです。僕は個人的には小古呂役があるほうがどもりがあるほうがいいなと思ってたんですが、最終的には小古呂、小古呂の息子、安直、リポーター、警官の5役をやりましたが、もし9役になつたらたぶん9役やってますという、ひとつの役を演じ分けると工夫するからというより、それらの役をやる、その役になる、ということのほうが僕にはもっとプリミティブに大変なこと。初めてだから。ひとつの役をできれば別に9役あるうたができてと思う。
 小古呂の息子が井戸に指を切られるシーンが衝

THE BEE
 全方向から見えます！



小古呂の家に着いた井戸は、安直を失神させ、拳銃を手にする。怯えた小古呂の妻(秋山菜津子)とその息子(近藤良平)が逃げ出そうとしているのを見つけ、天井に向かって発砲する

息子への誕生日プレゼントを買って家路についた井戸(野田秀樹)を、突然3人のリポーター(秋山菜津子、浅野和之、近藤良平)が取り囲む。彼らによると、脱獄犯の小古呂が井戸の家に立て籠もり、妻と息子を人質にとったという

まっさらな 状態で向かえた

演技が初めてとは思えないくらい、舞台上で生き生きと存在していた近藤良平。動きの多い野田の芝居のなかで、ダンサーとしての身体を生かしてダイナミックに動いたかと思えば、瞬時に別の役に切り替わったり。今回の挑戦は、主宰するダンスカンパニー「CONDORS」の活動にもかなり参考になったようで――。

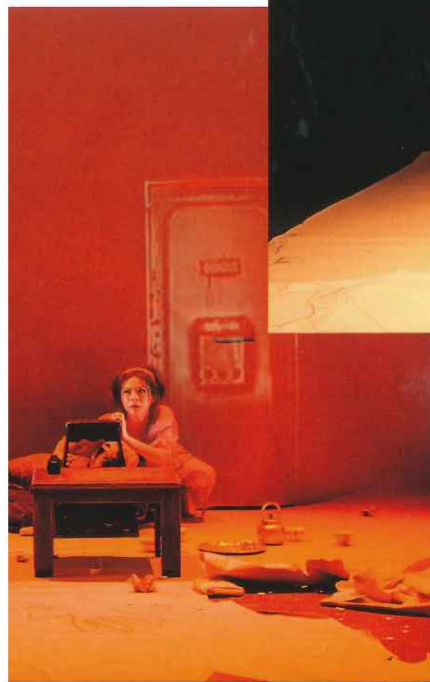
日本人の特性が出た日本版
 野田さんの演出はいかがでしたか？
 素晴らしいです。今回の「筆りあい」という原作はすごく短くて、それを僕が演出家として読んで、どれだけイメージできるかといったら、できないですね。それを紙で舞台を作って、4人でやってみようという、こと自体がすごいというか。舞台ってば、普段はゼロの空間じゃないですか。そういう舞台空間に対して、あれだけ最小限のことで、リアルな表現ではないのにかえてリアルに見せてしまう。演出の妙とかは言いようがないですね。指が切られるという、血が飛び出るような状況があつて、それを音だけで表す。実際に血を飛ばすより、鉛筆が折れる音を聞かせたほうがよっぽど怖いですよね。そこがクリアにわかつてることがすごいなと。

「ちなみにロンドン版はご覧になりましたか？」
 観ました。びっくりしましたね。英語と日本語の違いはあるけど、中身の意味することや感情の移行の仕方は同じにも関わらず、こんなにも違うのか。たとえば指を切られるシーンのことでも、どちらがいいとかいうわけじゃなくて、俳優が違うとこまで表現方法が変わるんだと。日本版の美術の堀尾さんが、「日本版のチームはバサバサして面白かったって言うて。そのときはよく意味がわからなかったんだけど、ロンドン版観て初めてわかった。なんか日本版のほうが結構感情的なんだよね、表現の仕方として、感情をさ、日本人ってグワッと出すんだよ。それは余計な動き

なのかなんのか僕にはわからないんだけど、それで結構バサバサするんですよ。なんかこう、昔のつげ義春の漫画じゃないけど、シャープな感じというより、もつと線がごちゃごちゃしてる感じ。それに比べてロンドン版はスタイリッシュでクールに見えましたね。それは野田さんが意図してそうしたというより、たぶんこの作品がロンドンで初演されたということも含め、その流れでこういう芽が出て、結果的にあの形になったということなんだと思うんだけど。あとイギリス人とか英語という特性とか、そういうものもあるかな。日本版でも、日本人の特性みたいなのが結果的には出ているのかもしれない。



部屋を飛び回っていた蜂を銃で撃った井戸は、歓喜のなかで狂ったように踊る



拳銃をわざとテーブルの上に置き、鏡の前に立つ井戸。小古呂の妻は震えながら拳銃を構えるが、恐怖のあまり撃つことができない



「加害者」と化した井戸は、いつまでも自分の家に立て籠もる小古呂の妻のため、小古呂の息子の指を切る



小古呂の息子も小古呂の妻も死んだ後、井戸は自分の小指を小古呂に送りつけようとする。一匹の蜂の音が聞こえ、次第に何匹もの蜂が群れ飛ぶ音に変わる。井戸はかきむす包丁を振り上げる

オペラ「蝶々夫人」が流れるなか、3人で食事し、小古呂から届く井戸の息子の切り取られた指を確認した井戸が、小古呂の息子の指を切って封筒に入れて百山に渡し、小古呂の妻と性交をして3人で眠りにつく……という日課と化した行為が、儀式のように繰り返される



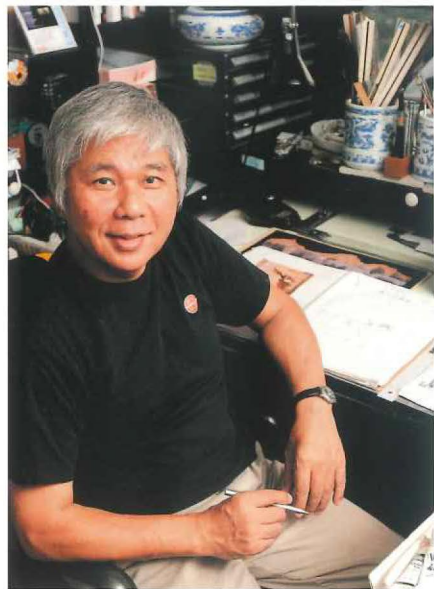
近藤良平

こんどよりへい。東京都出身、南米育ち。96年にダンスカンパニー「CONDORS」を結成。全作品の構成・映像・振付を担当。05年朝日舞台芸術賞山崎賞受賞。NHK教育「からだであそび」、NHK総合「サラリーマンNEO」にて振付、出演するなど、活動の幅を広げている。CONDORS写真集「第2ボタン」を扶桑社より、またレコードプロジェクト「THE CONDORS」の1stアルバム「無条件幸福」(日産自動車「NOTE」)、カルピス「健康王」CMタイアップ曲を収録)をEPICレコードより発売中。http://www.condors.jp

次回予定◇CONDORS日本縦断大舞台ツアー2007「Summer Time Blues〜沈黙の夏〜」9/20〜24◇新宿シアターアプル◇THE CONDORSライブツアー「無条件幸福 tour 2007」11/10◇大阪 Shangri-La、11/15◇仙台 JUNK BOX、11/29◇東京 キネマ倶楽部

紙一枚で すべてを見せる

NODA・MAPや劇団☆新感線、三谷幸喜作品をはじめとした
人気公演で次々に新しい世界を見せている舞台美術家・堀尾幸男。
今回は一枚の巨大な紙が、部屋になったり封筒になったり、様々なものに形を変えた。
演出の野田秀樹とともにアイデアを出し合い、
作り上げた装置は、創意工夫に満ちあふれ、最後まで魅せる。



ほりおきよ 〇46年生まれ、広島県出身。武蔵野大、西
ベルリン国立芸術大学で舞台美術を学ぶ。82年以降、二
期会やオペラや演劇を中心に活躍。96年、99年に読売演
劇大賞最優秀スタッフ賞、99年に紀伊國屋演劇賞を受賞。
NODA・MAPには第一回公演「キル」から参加している。

次回予定◇「恐れを知らぬ川上音二郎一座」(三谷幸喜
作・演出) 11/10~12/30 シアタークリエ◇ホリプロミュージ
カル「ウーマン・イン・ホワイト」11/18~12/2 〇青山劇場
◇東宝ミュージカル「モーツァルト!」11/19~12/25 〇帝国
劇場

堀尾幸男

【右】装置のミニチュア模型
【中央】本書で使用した紙、小古
呂の息子役の近藤良平が劇中、
石膏で落書きした
【左】日本版のラストシーン。紙が
くしゃくしゃに丸まり、そこに無数
の蜂の映像がかぶさった

「今回は一枚の巨大な紙で様々なものを表していま
した。紙を使うというプランはこの段階で固まったの
ですか？」

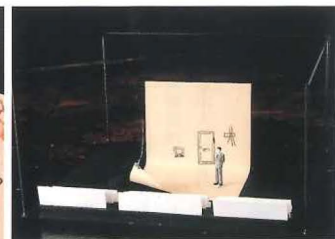
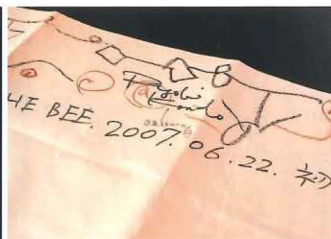
「初めて打ち合わせしたときですね。野田さんから
「紙を使いたい」と言われて、「パンドラの箱」のときに
紙を使ったことがあるので、お互い理解はしやすいか
らなんです。でも今回は「パンドラの箱」で使った紙より少
し硬い、スタジオで撮影のために使う紙を使うことに
しました。色がたくさんあるし、幅が広いので。野田さ
んのなかには「ロンドン版」とは違うものにしたという
思いがあったようで、紙を大きく使おうと。それで野
田さんと、紙でどんなことができるか話してたんです。
目の前のナフキンをくしゃくしゃと丸めたとき、二人で
「これだ!」って。もともと日本版では蜂を映像で見
せるということが決まっていたので、最初は匹だけだ
った蜂が最後にたくさん集まってきた、紙が丸まって蜂
の巣みたいになるようにしようかなと。現実にはでき
るかどうかわからないけれど、演出家とピタッと意
見が合ったときは楽しいですね。」

「野田さんから、紙をどう使うかという
細かい要望はありましたか？」
「いや、野田さんはいつもザックリです。最初にきつちり
決めるのではなく、稽古場で発見して行くんです。たと
えば「紙を持ち上げよう」となったときには、ほかの演
出家だったら「どうやって持ち上げるの?」と僕に聞い
てくる。そこで僕が「紐で引張ればいいんじゃない?」
と言ったとしても「その紐邪魔じゃない?」となる。で
も野田さんはそういうことは言わないんです。紙を持
ち上げる方法を、そうしたときの空間の作り方を見

つけてるんですね。だからそこに紐がきても、「大丈夫
役者が紐で止めるようにすることができたから」とな
る。このように、稽古場で発見してくれるのです。」

「ロンドン版ではまったく違った美術でした。
そうですね。印象的だったのは、床のなかに過去の
物が埋まっていた。ネクタイとかバットとか電卓
とかが埋まっていた、その上で芝居をすることで、同
じことが繰り返される……というテーマがわかりやす
くなりましたね。野田さんは日本版でも、最後に紙
を丸めた後、奥にもうひとつ同じ紙がある……とい
うプランを考えていて、紙をくしゃくしゃにした浅野
(和之)さんが、もうひとつの紙のほうへ行って、そこ
で「百山警部」になり、同じように出来事が繰り返さ
れていくというところで終わろうと。そのプランは、実
際に劇場に入ったときにやってみたら、もうひとつ、
少し小さめの紙装置を作って、でも結局ボツになった。
繰り返しを強調しなくても、ひとつのストーリーだけ
でテーマは充分伝わると思えたし、それだけで強く終
わったほうが観る人がいる想像できるんじゃないか
と。野田さんが自分から取り下げました。」

「堀尾さんはNODA・MAPの第1回公演から
美術を担当されていますが、野田さんとの仕事はいか
がですか？」
「とても面白いんです。お互いにアイデアを楽しんで出
すという感じですね。僕のアアイデアをしたら、野田
さんがそれを五倍にも六倍にも膨らませて作ってくれ
る。僕がちょっと冗談っぽく言ったアイデアでも、それ
を実現してしまうのは、やっぱり演出の力ですね。」



【右】装置のミニチュア模型
【中央】本書で使用した紙、小古
呂の息子役の近藤良平が劇中、
石膏で落書きした
【左】日本版のラストシーン。紙が
くしゃくしゃに丸まり、そこに無数
の蜂の映像がかぶさった

若くして舞台映像のバイオニア。東宝ミュージカル、宝塚歌劇団、大人計画など
多種多様な作品にかかわり、NODA・MAPは「オイル」「走れメルス」など今回で4回目。
セッション感あふれる映像づくりは、今回の公演でも強烈に炸裂した。

“蜂と影”が キーワードでした。

「今回どんな形から始まったのですか？」
「とりあえずお話をいただいて「回目」から、プロジェク
ターや機材を全部持ってバンで乗り付けて。行った
ときにはもう映像を見せて、それで判断してもらいま
しょう。一回目からある程度映像をつくって、野田
さんはやっぱり稽古場で見たもの、実験したものの結
果が番なんですね。そこでつくっていくので、何日までにつ
くりますっていうではなくて、もうつくって持ってい
く。その場で直す、という。それでダメだったらもうク
ビにしてくださいって。その場で即売みたいに値段
をつけてもらおう笑。」

「その前に、イメージのすり合わせのようなことは
しないんですね。」
「一回しました。打ち合わせに行くと、そのときはごく
簡単なもので、もうその次は稽古場です。」
「今回は、装置も変わっていて、紙ですね。照明も
ものすごく色が変わったりしますよね。あいうもの
との兼ね合いというのは当然考えながらつくっていく
ているわけですか？」

「照明の小川(幾雄)さんや、美術の堀尾(幸男)さん
はわりと現場で一緒に過ごしていただくことが多くて、小
川さんとはよく多々いいます。堀尾さんが美術で今
回あんまり感じだつたんですけど、小川さんはこう
だろかなという感じがする。」
「それはもう画をつくるに当たるときからある程度想
像しながらつくっているんですか？」
「台本読んで勝手に、こう、判断して。野田さんのファ
ンなんです、このへん
はきつこうくる
かなと。ただ、まさ
かあの、正直今回
は、タイトルロー
ルをやらせていただ
けるとは思わなかつた
んです。THE BEEの
「BEE」を。蜂を出
すのかな、出さない
のかな、というのは
あったんですけど、
打ち合わせに行くと、
「蜂を出したい」と
いう話で、じゃあこ
ういうことかな、と
思っています。」



「基本的に小川さんがお芝居の照明に関わるとき
はどんな段取りになるんですか？」

「作品にもよりますが、野田さんの場合は、台本を読
んだだけの印象と、役者が演った場合の印象が、だいぶ
違ってくる場合が多くて、僕の読解力が弱いのかもし
れないんですけど(笑)。僕は台本を読んだ段階である
程度の方針みたいなものを作る時もありますけど。基
本的には稽古を見て決めますね。」

「何回か稽古を見てイメージをつくらせてくれるん
ですね。」

「一応僕の中でつくったあと、野田さんと最終的な打
ち合わせをします。」

「今回はスペースが小さいということで、特別なこと
はありませんが。」

「特にはないんですけど、客席が近いので、わりあい細
かいところまで見えますよね。暗くしたりできますの
で、そういう意味では表現の幅が広がって面白いです
ね。大きいところは、それはそれでまた別の表現方法
があるんですけど。」

「最後のシーンがそうですね。印象的で素敵なシー
ンでした。」

「あの明るさとシアター・クーンだと暗くて、「暗い
な」という感じになっちゃうと思うんです。」

「今回は装置が紙で、いろいろな映像も入ったりし
ていましたが、いつもと違うような苦勞はあ
りましたか？」

「最初は心配しました。どうしても照明との兼ね合い
で映像が見えにくくなりますので、そのへんを。」

俳優たちの激しい動きに物語が進行していき、
シーンが変わり照明が思い切りよく変化する。
その様が確信に満ちているように感じた。
その方法が?

真摯さに裏打ちされた経験と嗅覚のなせる技なのか、その方法は?

セッションする 照明

たとえばバックの紙にドアとテレビと窓が映りました
よね。ちよつと薄くなっている部分があったんですけど、
それはそれで面白いというふうには野田さんはとられて
僕なんか逆に心配して、暗くして映像を見やすくした
ほうがいいのか、なんて思っちゃったんですけど。野田
さんのセンスはすごいなと思います。」

「今回照明は楽しく動いていたと思います。小川さ
んがそういう気持ちになつたということですね。」

「大きく変わるところというのは、役者の芝居を観て
いると僕の中で気になってくるというのか、何かをも
らうというのか。そういうのがあって、ちよつと変えたいな
という気持ちになつてきて。変えちゃっていいですかね、
と野田さんに聞きます。大きく変わるところは作品の
見解が違ってくると思います。微妙な変化とかはつ
ちで決めますけど。」

「とても思い切りのよい、変化が確信に満ちている
ように見えたんです。これはかなり一緒に作品をつくら
せているのかなと思いました。」

「そうですね。今回稽古にはたくさん行きました。楽
しいんですよ。野田さんの稽古場。見えて面白いです。
す。時間があつたら行くようにしていました。つくって
いる段階で野田さんがいろいろアイデアを出してくださ
る。考え方の流れっていうのが見えるので、こっちも考え
やすいんですよ。どうしてそうなんだろうってかとい
う、芝居をつくらせていく中でどんどん変わっていく時
は、そのへんの考えの流れがわかると、きちんと本質に
近づきやすいというのがありますね。」

「そうですね。今回稽古にはたくさん行きました。楽
しいんですよ。野田さんの稽古場。見えて面白いです。
す。時間があつたら行くようにしていました。つくって
いる段階で野田さんがいろいろアイデアを出してくださ
る。考え方の流れっていうのが見えるので、こっちも考え
やすいんですよ。どうしてそうなんだろうってかとい
う、芝居をつくらせていく中でどんどん変わっていく時
は、そのへんの考えの流れがわかると、きちんと本質に
近づきやすいというのがありますね。」



おがわいく 〇49年生まれ、東京都出身。照明家。新劇の舞台を経て、コンサートなどを多く手がけた後、また舞台へ。NODA・MAPには第2回公演「罪と罰」より参加。以降「ローリング・ストーン」「オイル」など、ほとんどの作品の照明を担当。他にもシス・カンパニー「ヴァージニア・スウィートな女がこわくない?」、新国立劇場「アジアの女」など多数。

次回予定◇ホリプロ「ウーマン・イン・ホワイト」(照明) 11/17~12/2 〇青山劇場



THE BEE 全方向から見えます!



奥秀太郎

【映像】

おくしゅうたろう 〇75年生まれ、東京都出身。映像プランナー、映画監督。宝塚歌劇団、大人計画、NODA・MAPなど幅広いジャンルの舞台に映像プランナーとして参加。映画監督作品として、中村獅童主演の「赤線」やベルリン国際映画祭正式出品作品「カインの末裔」などがある。

次回予定◇宝塚歌劇団月組「MAHORABA」(映像) 8/3~9/17 〇宝塚大劇場、10/5~11/11 〇東京宝塚劇場◇ブロードウェイミュージカル「蜘蛛女のキス」(映像) 11/2~11/11 〇東京芸術劇場中ホール、11/16~11/18 〇梅田芸術劇場メインホール

「でっかい蜂の映像が出てますよね。あれは最初の
打ち合わせで決めていたこと。」
「蜂をという話があったんです。蜂と影。キーワード
だったんで、一応自分なりにこだわったとすると、蜂に
も影があるということだったんです。それを今回やれ
たのが一番おもしろかったかな。」

「蜂もいろんな位置に変わるじゃないですか、きわ
どくしいポジションにいたりするの演出なんですけど、
もちろんな野田さんが一番にあつて、稽古で一緒につく
っていきます。やつと映像が稽古場でボジションをつくれ
るようになって。こうしよう、あししようって話し合っ
て、その場でどんどん変えていく。たとえば途中の影
も、役者に合わせて叩いてどんどんつくっていく。昔
だと持ってた帰って帰ります。みたいなものが今はわり
と現場でつくれますから。」

「あれがいろんな位置にいたりするのは稽古場で
つくっているわけですか、一緒に。」

「そうですね。稽古場で大体見ながら。もちろん細か
いところはもう「帰って帰って帰って帰って帰って」
——そういう中でも今回苦勞されたことはありまし
たか。」

「どれだけ自然に見えるかということですね。「映像だ
ね」というふうになんにもいわれないように……安定感
というんですか。今回それができたのがすごく良かった
と思います。なかなか説明が難しいんですけど、今まで
みたいに何か映している、映っているという感じだけではな
くて、どれだけお客さんに意識させないかという。将来
的には役者と映像がほとんどわからなくなる、という
かその差がわからなくなるようにしたいかなという
こと、思っています。」

日英のイド役の違い

——衝撃的な内容の75分でした。そして役者の方々が、あえて芝居がウエットになりすぎないよう演じているのが印象的でした。

よく僕は自分の芝居で「感情移入する役がない」とお客さんに怒られたりすることがあるんですけど、今回のネライはまさにそこ。感情移入させやいな作品ですから。それが今回は役者の演技にも反映されてたんじゃないですか。特に日本版では、そういうことを考えて演技してたかな。あと自分自身に関していえば、今回は生まれて初めて、抑制する。ってことをテーマに掲げて演技したんで（笑）。それも新しい試みでしたね。まあそうやって抑制した身体を持って臨まない、後半にかけての暴力へのギアチェンジが際立ってこない作品でしたんでね。

——同じイド役でも、野田さんとキャサリン・ハンターさんでは、その暴力へのギアチェンジが違うタイミングで来ているように思えました。

そうですね。でも実はロンドンで最初に作ったときは、お互いに共通認識があったんですよ。「ここで、この言葉で、イドの暴力性が誘発されるよね」と話し合いをキャサリンとみっちりしましたから。だから僕はそこでの話し合いをもとにイドの暴力性を作り上げていったんですけど、日本でキャサリンのイドを見たあ、意外に彼女はそこをフォロイしてなかった（笑）。まあ、あの女優さんは本当に日々変化していくか。「昨日がこうだったから」ということをまったく考えずに演技を作っていく人なんです。おのずと彼女の演技が変わったんでしょ。単純な話、キャサリンはその日の舞台で何かの拍子に小道具が変な場所にいつちゃっても全然

感情移入させちゃいけない芝居

人間のうちに潜む暴力性のおぞましさについて、これ以上なく直截な表現で斬り込んでみせた『THE BEE』。ただひとり日本バージョンとロンドンバージョンの両方に出演した役者であり、本作の作・演出家である野田秀樹に作品の成果について大いに語ってもらった。

平気なんです。おかまいなしに、そのまま演技しつづける。だけど僕はそれをいったん元の場所に戻して、事を進めようと思っすんで。キャサリンのほうも役者として臆病じゃないだろうね。

——でも、野田さんのイドも初日から徐々に変化していったと聞きました。

そうそう、本番の途中から、取引っていう言葉が急に気になり始めたんです。僕のイドの解釈は、怒ることによって暴力のギアが入るという作り方だったんですけど、ある日オゴロに「おまえ取引が下手だな。ビジネスの癖について言われたときに、なんか怒りがまた違うレベルにいったのか。たとえば俺が学生演劇の人に野田さん、芝居下手ですね」と言われるような（笑）。え、おまえに芝居について言われたくないよっていう。そんなふうなイドのプライドが傷つけられた気がした。だから実は後半から、オゴロに言い返す台詞を変えたんです。台本には「それが取引だ」としか書かれてないんですけど、途中から「それが取引だ」。それが取引つてもなんだよ」と言葉を繰り返すようにした。

ロンドンと日本での新しい試み

——原作者の筒井康隆さんはご覧になったのでしょうか？

両バージョンご覧になりました。日本版を観たあとに「意外にロマンチックな話でしたね」と感想を言っていました。多分、後半にかけての『蝶々夫人』が流れるあたりがそう見えたんじゃないかな。原作ではあそこまで、被害者と加害者が接近していく感じに描かれてないですからね。あとそうそう、演出家のサイモン・マフバーに観に来ました。彼はロンドンでも観てくれた

野田秀樹



のだひでき○55年生まれ、長崎県出身。東大在学中の76年に劇団夢の遊眠社を結成。若手演劇の旗手として80～90年代の小劇場シーンを牽引する。92年に劇団解散後は、英国留学を経て93年にNODA-MAPを設立。プロデュース公演や海外公演、歌舞伎演出など、精力的に演劇活動を行っている。

次回予定◇NODA-MAP「キル」12/7～08/01/31◎Bunkamuraシアターコクーン

れで、面白かったんですよ。若い頃の唐沢（寿明）みたいな調子の良さがあってね。それに意欲的だし。広末（涼子）さんも、表現者の勝手な憶測かもしれないけど「こんな人かも」とって興味を持ってたんだよね。まあ、実際には本読みしてみないとどうなるか分からないけどね。競馬でいうと「馬なり」というか、その役者さんなりにどう走るかということを考えて手綱を取つていかなければ絶対にダメだから。まあ、それが武豊になる方法ってことですよ（笑）。

ロンドン版『THE BEE』

【上】マジックミラーを用い、二重写しになっていく様子を効果的に表現
【右中央】長いゴムがマイクになったり食べ物になったり境界線になったり、自由自在
【右下】ツルツルした質感の赤い床の中に、バットや銃、電話、電卓などが埋め込まれている
【左】日本版で井戸を演じた野田が、ロンドン版では小古呂の妻の役を



大顔助佐衛門助介(橋本じゅん)の最終を
看取ろうとみんなが
集まっているのだが
当の本人は暴れまくりで……



犬顔家の陰謀

劇団☆新感線
2007年夏休み
チャンピオン祭り

「金田真一耕助之介の事件です。ノート」

「しまった!!」と叫び、袴姿で突っ走るのは、皆さんご存じ名探偵・金田真一耕助之介! えっ? 名前が変!? いえいえ、良いんです。何たって、これは、チャンピオン祭りですから!! 07年、猛暑。劇団☆新感線が贈る『犬顔家の一族の陰謀』金田真一耕助之介の事件です。ノート(タイトル、長つ、はじまり、はじまり)

作・演出 〇いのうえひでのり
出演 〇古田新太 宮藤官九郎 勝地涼 橋本じゅん 高田聖子
小松和重 栗原まこと 逆木圭一郎 右近健一 河野まこと
村木よし子 インディ高橋 山本カナコ 磯野慎吾 吉田メタル
中谷さとみ 保坂エマ 村木仁 川原正嗣 前田悟 池田成志 木野花
7/17~8/4 〇シアターBRAVA! 8/11~9/9 〇サンシャイン劇場

食堂「御中井等(おなかいい)」の間を間借りし、探偵事務所を営む金田真一耕助之介(宮藤官九郎)の元にある日、件の依頼が舞い込んだ。それは、大顔助の遺産相続に絡み、大きなトラブルが起こらないよう力を貸して欲しいというもの。早速、大顔家の族の二へ赴いた金田だが、到着早々、依頼主に当たる弁護士助手・藤橋(インテ高橋)とぐちゃぐちゃな関係。大顔家の顧問弁護士・要説(要説まこと)から、改めて依頼経緯を受けた金田だが、藤橋の死は大顔家に巻き起こる連続殺人事件の序章に過ぎなかった……

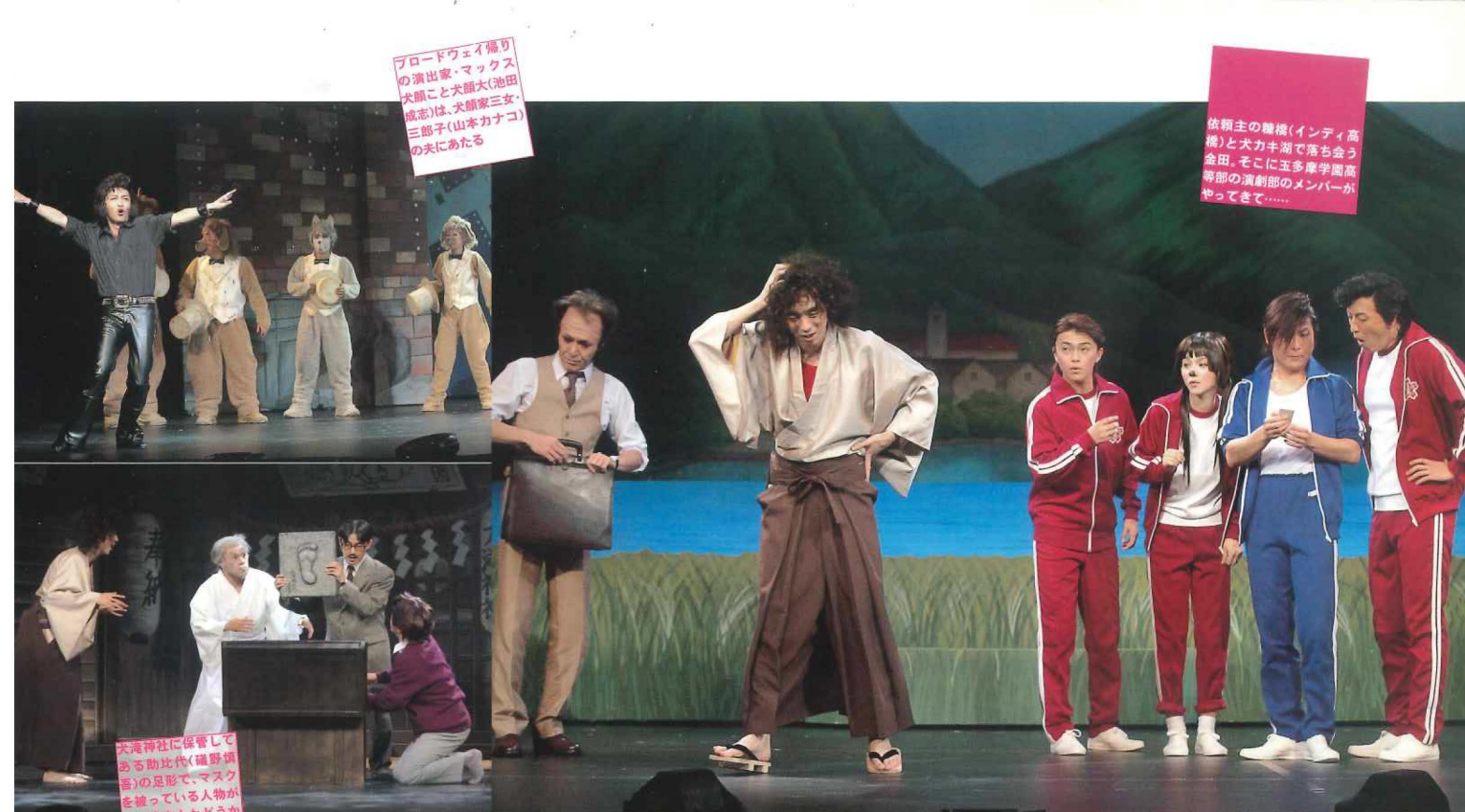
見立て殺人に気付く金田真一耕助之介(宮藤官九郎)。「門だ! ほら、あの足の影、門という字に見えませんか!?!」



森林の奥にある大熊家のプライベート・スパ。遺産を狙い、玉男(藤地涼)との結婚を目論むエマニエル(保坂エマ)だが、そこでは色んなヒトヒトが、彼女の行動を監視していた!!



大熊家のルーツは、なんと「桃太郎」にある!?



ブロードウェイ編りの演出家・マックス・大熊こと大熊大(池田成志)は、大熊家三女・三郎子(山本カナコ)の夫にあたる

依頼主の舞妓(インディ高橋)と大カキ湖で落ち合う金田。そこに玉多摩学園高等部の演劇部のメンバーがやってきて……



大熊神社に保管してある助比代(織野傾)の足形で、マスクを被っている人物が助比代本人かどうかを確かめてみることに

どうせ即けは埃の出る俵だろーかと小松進(小松和重)が金田の肩を叩くと……小松進(小松和重)が金田の肩を叩くと……小松進(小松和重)が金田の肩を叩くと……

弁護士・栗館(栗根まこと)が託された遺言状を公開すると、大熊家の面々は大混乱に



3日前から招き猫に化けて様子を探っていた、もう1人の名探偵(?)・敗地大五郎(津本圭一郎)

ん?? このキャラはもしや……あの漫画の??

楽しくなければ、 ネマものじゃない!?

大袈裟かつ底抜けにバカでありながら、細部まで丁寧に作り込まれた今作。これはもう、好きでなければ聞かない、楽しめなければ成立し得ない、オトナの、オトナによる夏の夜の夢なのでしょう！ 実際に舞台に立った俳優達も、色々な楽しみ方でネタものとの距離を楽しんでいたようです。この夏、ふざけるコトと真剣に向き合った、この3名のお話をどうぞ！

こんなに喋ってる宮藤君は初めて見た

「この3名で同じ舞台に立たれるのは初めてでしょうか。」
古田 そうですね。しかし、舞台上でこんなに喋ってる宮藤君は初めて見た笑。
宮藤 ここまで喋るの、僕も初めてです。
古田 大人計画でもなかなか見れないからねえ。
宮藤 役者って、台詞を喋るのが仕事だなとつくづく思いますよ。
古田 思い知れて感じ。
（笑）『ウーマンリブ先生』作・演出◇宮藤 官九郎 06年11月では、古田さんはこの立場で……
古田 ホントですよ。べらべら喋らされて（笑）。
「ところで、宮藤さんと勝地さんは、新感線」

ら、この座組はみんなすごく仲がいい。

宮藤 最近、プロデュース公演が多いじゃないですか。それはそれで二期会があるんじゃないかと、劇団は歴史を感じるっていうか。劇団内の人間関係を俯瞰で見たり、劇団でしか通じない共通言語で、作品が出来上がっていく過程を見たりすることがすごく面白かった。大人計画もすごく特殊な集団ですけど、宮藤さんにはどういう風に見られているのかなあ？ と思ったり。
なるほど。大人計画との違いも感じますか？
宮藤 違いますね。大人計画より楽しいかもしれない（笑）。
一同（笑）。
宮藤 いやいや、嘘ですけど（笑）。
古田 オイラも大人計画に出てる方が楽しいかも（笑）。
「今作には色々なキャラクターが登場しますが、お気に入りのキャラ等ありますか？」
古田（勝地さん扮する）玉男とか好きですけどね。
勝地 台本読んだ時に、初見で面白いキャラクターだと思っ。爽やかだけが取り柄。古田 狂ってるしね。
勝地 何やってんだ、あいつって（笑）。
宮藤 結構難しいと思っただけで、初見の時から掴める感じありましたよ。
古田 何が面白いかわからないことばかりだから、「面白いですよー」みたいな、やつやった、感も全然ないし。ただ、やってくるキャラ自身はキ〇ガイですけど笑。
勝地 面白い台詞だからこそさり気なく言えれば……。爽やかだけが取り柄という感覚を発見できたんじゃないかと思っただけだね。今は神妙になり過ぎず、爽やかにし過ぎず……。
古田 お前 ホント色んなこと考えてるな笑。
「勝地さんとしては、舞台上でウケをとる気持ちよさを実感されてますか？」
勝地 いやー、全然です。自分が目標になって。「爽やかじゃないことがしたい!!」って台詞を言った後は、シーンって笑。でも、逆にそんなのが楽しいです（笑）。
古田 宮がサッパリ引いた時、コントロールしたって感じするよね。客を手の平に乗せたぜ！ みたいな（笑）。



初出演となりますよ。
勝地 初日に舞台に立った時、あつあつぶしちゃう。そこから、昨日やったことが頭の中をグルグル回っちゃったり、台詞の言い方や声のトーンが気になりだしたり……。
古田 ちょと気にし過ぎますね（笑）。
宮藤 毎日楽屋で練習してるんですけど、出番終わって楽屋に戻ってきた途端、今やったシーンの台詞を練習してるから……これからのシーンの台詞を練習した方がいいんじゃないかなって（笑）。
勝地（笑）。
「勝地さんは普段、楽屋で頻りに返す（台詞を練習する）方ですか？」
勝地 そうですね。でも、今回は特にどういう言い方をしたいんだろう？ っていう意識しちゃうんですよ。
新感線つばいな！
宮藤 宮藤さんの感想はいかがですか？
宮藤 客観的に見れてないので分かんないんですけど、「舞台」抽で、桃太郎のシーンを観ていると、「新感線」ばいばい！ っていう感じがします。古田 あそこは新感線つばい。今回、ネタものとはいえ、最近の新感線パターンにあまりなかったパターンなんです。でも、むしろ劇団員的にはそれが懐かしいんだよね。昔、学園ものとかホラーものとかを、ホントに小さな劇場でやってた頃って、お客さんを置いてけぼりにして、役者同士が笑かあつて内輪だけで楽しんでたっていう感じがあつたんですよ。今回はそれに近いんです。だから、この座組はみんなすごく仲がいい。



宮藤 官九郎



くどうかんくろう〇70年生まれ、宮城県出身。91年より大人計画に参加。脚本家、演出家、ミュージシャン、俳優etc……として多才に活躍中。脚本を担当した映画『舞妓Haaaaan!!!』の大ヒットは記憶に新しい。俳優として劇団☆新感線へ参加するのは今作が初。
次回予定◇映画『クワイエットルームにようこそ』（出演）10月公開予定 ◇映画『龍虎の匣』（出演）07年公開予定 ◇テレビ朝日『ガングロ河でバタフライ』（脚本）今秋放送予定 ◇TOKYO FM『カンクロード・ヴァンダム』毎週日曜23:00～23:30 O.A.

やって楽しいから

宮藤 それで大概のことが説明できちゃう。
古田 あ、弁護士がいるか。要領弁護士（要根まこと）と本土刑事（村木仁）と小松巡査（小松和重）で……。これでやろうと思えば出来るはず。
でも、今作の台本は笑いのシーンはしつかり笑わせつつ、原作を忠実に再現していたり、原作のサスペンス感が出ているシーンもありますよね。
古田 実はコアなファンの人には、そこら辺を指摘して欲しい。色んなことにオタクであればあるほど楽しいと思います。でも、初見で台本読んだ時は、みんな「大丈夫かこれ？」って話したんですよ。「これ（犬神家）」まんまじゃねーかよ！」「これじゃ一幕で客いなくなるぜ。一幕はせ口だよ」って。
「初校の段階では、もっと原作寄りだったんですが？」
宮藤 物語に必要なキャラが平然としているのがすごい。面白くないやいけなわけですからね。すごいなーと思いますよ。
「確かに笑。逆に、ストーリーに外せないキャラという誰でしょうか？」
古田 金田はいりますよね、犬顔家の人がいりますよね、玉男がいりますよね、……。それで……いいんじゃないかな？
一同（笑）。



爽やかだけが取り柄の玉男が、エマニエルと混浴？



かつぢりょう〇86年生まれ、東京都出身。04年に蜷川幸雄演出『シブヤから遠く離れて』で初舞台を踏み、『KITCHEN キッチン』でも蜷川演出を経験。映画『亡国のイージス』では第29回日本アカデミー賞新人賞を受賞した。今作出演が自身にとってメディア初挑戦となる。
次回予定◇Bunkamura『カリギュラ』11/7～30
©Bunkamuraシアターコクーン



インディ高橋の

Patchy 小道具研究所[®]

第29回 | 『あほう祭と私』

↑タイトル:演け物桶と私

ひさびさのネタモノ芝居です。『レッツゴー!忍法帖』以来でございます。音モノや歌舞伎系も小道具的には大変なのですが、ネタモノはさらに大変でございます。マンガやアニメを舞台でやるようなものです。ライブコミックでございます、いってみれば。

いのうえ演出の場合、どんな芝居でも小道具の追加は、まあ、あたりまえに普通にあります。ネタモノの場合、小道具の点数も多いし、追加やネタ変えも、さらに有りです。『レッツゴー!忍法帖』の時は本当に殺されるかと思いました。いやマジで。で、もって、毎回、毎回のコトではありませんが、どんどん演出家の望むモノのハードルが高くなっております。ホント高い、高い。

「出来ません」と言うのがイヤなので、血と汗と涙とゲロをたらしながら日々を過ごしております。

ちなみにネタもの芝居を私は「あほう祭」と呼んでます。命がけて真剣に身体使って、頭使って、アホなコトの為に突き進む。大好きです。あほう祭り。

で、今回の「犬顔」です。小道具の量としては、普通。いつも通りといいますが、多い時よりも少ないかになって感じでございます。が、しかし、ものすごーく、考えては、作り。作っては考え。考えながら、作りながら、コレ、どーしょなモノが多々ございました。

露天風呂といいますが、温泉。そこには沢山のキープ系でおかつトランスホームな感じのかぶりもの達。

さりげなく、セツになじみつつ、かぶりものと悟られない様に飼い殺しになるかぶりものを僕は「キープ系かぶりもの」とかってに呼んでます。

1.水を瓶から出す女神。瓶を持つ両腕はついたまま。キープしている時の本人の両腕の位置。そして、両腕を出す位置。快適なキープのための椅子とその座り方。ポンプ、そして安全かつ、笑える。水の出力、量。動きだしてからの安全。そして、早替え対応である。さらに60ステージに対応できるコト。



2.一番トランスフォームしてる、洗い場。洗い場が1個だけだと不自然なのでもう1個ダミーをこさえました。キープ時の椅子の高さと膝の高さの関係になおかつ、スムーズな立ち上がり。すわっている時の足パーツと立って動き回る時の足パーツの長さの関係が苦労しました。ひざの高さギリにしとかないと、歩く時に危ないのです。これも早替え対応。右手はみかんのネットに入れた石鹸という、てい。勿論、作り物。やわらかいです。至る所に強力マグネットを使用。



3.チャームポイントは股間部分な風呂桶。股間にシャンプー。下半身の桶をスカートの様にたくし上げれば、階段の上り下りなど、おちゃのこさいさい。これも早替え対応。意外に快適です。コレ。



4.内側でヒモをひっぱると鳥の巣箱が上にスライドし、顔が見える、大木。上部分は美術のパネル。ちなみにカブトムシ付き。誰も気づいてないと思うけど。



5.石灯笼はですね、出来るだけ小さくしたかった。あと、足をどう隠すかでかなり悩みました。椅子に草つけたりとか、足パーツにも草つけました。上下、上からの見切れも結構考えました。

○美術セットの中にどう、溶込ますか、を考えましてですね、たどりついた結論としては、「ポップな違和感」となりました。本番をご覧になられました貴方、なんかちょっと怪しいぞとか思っていたいただければ、これ幸いです。

○作り方と進め方

で、まずは演出家、美術家、舞台監督と色々相談しつつ、進んでいきましょう。作り方はといえば、稽古用に仮のモノとして割り切って作る場合と、もしくは本番用として原型を作り、本人に合わせ、改造。改造しては合わせ。稽古していく内に、動きが変われば、その動きが出来る様にまた改造。ちなみに洗い場は一度作ってみたいと見えてこない部分がありましたので。かなり、本気で実験用といいますが、稽古用をこさえました。

基本素材はサンベルカの1400番か2500番。顔の出る部分と腕が出る部分、肩にあたる部分は大切です。キチンと合わせましょう。なんだかんだで、かぶりものは身体に負荷がかかります。若いうちは平気でも、おっさんになっていくとね、大変なのです。なるたけ身体に優しいかぶりもの。でも負荷がかかっているほうが面白かったりするコトもありやす。

で、表面は合皮もしくは、薄いストレッチ生地をはりこんであります。本体にGボンドで生地はZ-3で接着です。生地のはしっこはGボンド同士ではりこみます。

あと、当たり前のコトなんです、人の体型はホント人それぞれです。身体のやわらかい人、かたい人。身長は高くないけどコンパクトにならない人や、肩幅は普通だけど、二の腕がたくましい人とか。思わぬ落とし穴があったりなんかしてー。今回も色々思い知らされました。

と、いうわけで、作らないと解らないことだらけなんで、とにかく作る。作れば色々発見がありますぜ。

というわけで、犬顔終わりで少し時間がとれそうなので、ちょいと、patchy系のモノとかそういうモノと、作りたいモノをつくりまー。でわでわ、次回「作りたいものと私」でお会いいたしませう。たぶん。

で、私indieやpatchyが大変お世話になっております、「るいす」その「るいす」がですね、大阪の近鉄百貨店阿部野店7F手芸、趣味用品売場に「LA LUICE & ALICEコーナー」がオープンしました。(代表06-6624-1111)詳しくはリスネットまで。http://laluce.com/アリス好きな貴方、ぜひのぞいてみてちょー。あつしも行きやすぜー。

| 本日のPatchyと私 |

「犬顔」のロビーでも販売しておりました、「アリスボーチ」を3名様にプレゼントっす。
かわいいいぞおおーっ。
●Patchy商品取扱店●
PUTUMAYO ラフォーレ原宿BF1.5
PUTUMAYO 原宿路面店
VISIBLE 大阪市中央区西心斎橋2-8-33 アメ村スクエア2F

patchyHP ▶ <http://www5.ocn.ne.jp/~patchy/ptop.htm>



エマニエルの乗ったボートが沈み、助けようとか力半端に飛び込んだのはいいけれど……

なぞった後に腰を折る、みたいな新感線のネタものは、ドタバタアクション的なものを期待しているファンが多いんですよ、やつぱり。でも今回は、金田耕助もの、ガベリックになるから、お芝居の振りの部分で、意外とリアルに……というと語弊があるんですけど(笑)、映画のパロディにしている所があるんです。出来るだけきつとなぞった後に腰を折る、みたいな感じだから、お客さんはその辺りをどう受けとめてくれるんだろう?という不安はありました。でも、ドタバタとはちょっと違うけど、これはこれで面白いぞという空気になっているんで、正直ホッとしています。今回の元ネタになった映画「犬神家の一族」は、すごく面白いな一冊で思っていたんですよ。とてもよく出来ているし、リリカルな所も好きでした。しかも「犬神家」って、こう、ツッコミ所満載な部分もあるじゃないですか。だから、これはやはり甲斐があるなど(笑)。作り方としては、基本「市川崑監督作品、あの映画のこのシーンをやりたいという所から始めるんです。自分が映画を観て印象的だったシーンは出来るだけ丁寧に作って、そこにオチをつけていくというパターン。だから、割とこまごましています。

警沢な話なんですけど、こういう下らないモノに、時間と知恵と工夫と、お金を、ものすごくかけてますんで(笑)、ある種、究極の警沢な遊びのひとつです。お客さんとみんなで楽しむという、警沢な遊びです。そういう意味では、同じ方向を向いて面白がってくれるスタッフにも恵まれているし、役者さんもね、本当にいい面子に集まって頂いて、無駄にお芝居をやっている(笑)。自分自身、原点に帰るって訳でもない

ですけど、たまにはこういうことをやらないと。ネタものってストーリーないから、「ウケないと終わり」っていうドキドキ感がすごいです。すごくリスクです。今回、久々に初日にドキドキした(笑)。

やはり、究極の警沢ですよ



いのうえひでのり

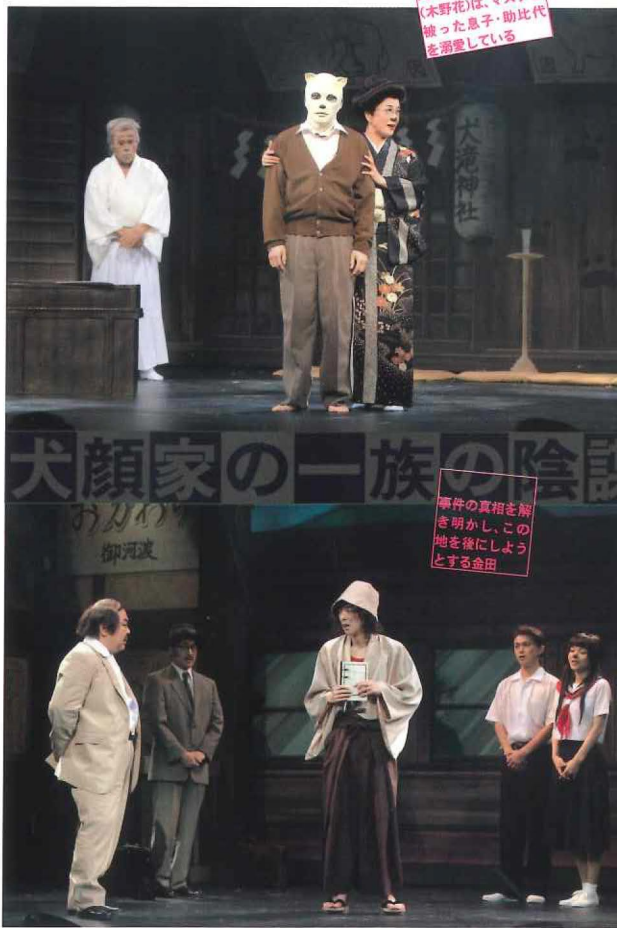
次回予定○劇団☆新感線「IZO」(演出)08年1月○青山劇場、08年2月○シアターBRAVA!

構成・文○園田喬 撮影○青木司(舞台) 成田直虎(人物)

魂おディテールに宿る

3年に1度(?)のチャンピオン祭りについて締めくくられるのは、やはりこの人しかいません!「原作ファンもネタものファンも、みんなまとめてついでにこいつ」と言わんばかりの今作を、元ネタへの深いリスペクトと、徹底したこだわりをもつ構築した作・演出家、いのうえひでのり。面白がれるコトへの、この飽くなき好奇心。劇団☆新感線のネタものは、まだまだ不滅です!

犬顔家長女・太郎子(木野花)は、マスクを被った息子・助比代を溺愛している



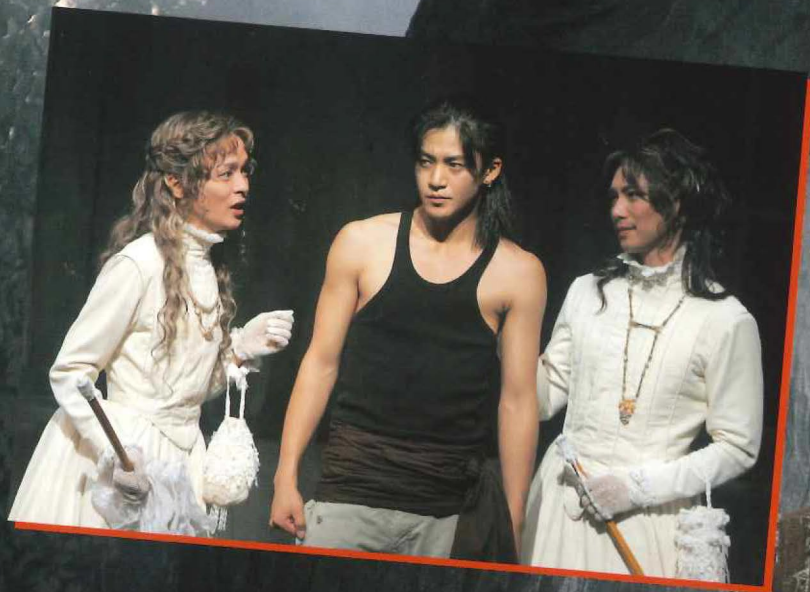
事件の真相を解き明かし、この地を後にしようとする金田

間は、ドタバタやれる。学会会劇団、を続けて行きたいなーとは思っただけで、次のネタものは学園もので、青春アクションをやりたい笑。

シェイクスピアの時代の慣例にならい、男性が女性を演じるオールメール演劇。奇しくも、『お気に召すまま』は、女性が男装して混乱を招く喜劇。男が女、女が男と、何重にも入り組んだ構造が、笑いを増幅していった。

As You お気に

TBS/
ホリプロ



Like It 召すまま

演出◇徳川幸雄 作◇シェイクスピア 出演◇成宮寛貴 小栗旬 吉田鋼太郎 田山涼成 高橋洋 月川悠貴 大石健太 ほか 7/5〜29◎Bunkamuraシアターコクーン、8/3〜12◎シアター・ドラマシティ、8/17〜19◎静岡市民文化会館大ホール、8/24〜26◎イズミシティ21大ホール



不幸な身の上のオーランドーとロザリンドが、ひょんなことから一目惚れ。しかし、思いを告げられないまま、それぞれが身内の非道い仕打ちから逃れるために森へと逃げ込む。2人は偶然再会するが、ロザリンドは身を守るために男装していた。ロザリンドは素性を隠してオーランドーの恋の病を治してあげると約束する。オーランドーとロザリンドだけでなく、2人を取りまくたくさんの人々の思いが森の中でもつれあっていく。この混乱に終止符を打つべく、ロザリンドは女性に戻る決意をする。

『お気に召すまま』を

トリックスターといえば主に道化をさがすが、物語の価値観をひっくり返す役割と考えたら、男性が女性を演じるということもトリックのひとつ。『お気に召すまま』で、様々な常識を鮮やかに覆していった道化と女役の2人に、その秘策(?)を聞いた。

月川 悠貴

女役
シーリア



ロザリンドと常に行動を共にする幼なじみ、ロザリンドが追放になった時、森に行こうと提案する。後にオランダの兄と一目惚れの恋に落ちる。

完結しないからおもしろい

「ロザリンドが公爵に責められている時に、ギョツと彼女の腕を抱くシーリアに深い友情を感じました。が、初演からやっていたんです。初演でやっていなければ、今の自分の中のシーリアがそっくりなかな？」
「三年前の初演が月川さんにとっては初の大役だったんですが、そこから、様々な役をやってきた成長を実感しましたか。」
「この三年間にいろいろなものを吸収してテクニクも身についたと思います。芝居に限らず、人生もそうですが、生きている間は完結することはありえない。完結しないからこそおもしろい。今回の再演も、初演で完結していなかった部分を埋めようという創造しました。」

「テクニクは意識して磨いてきた？」
「たとえば、美しさは日にして成らず。エステなどは一回行っただけでは、あまり効果はありません。継続するから肌が記憶してキレイになるんです。」
「演技も同じですね。」
「男性なのに女性以上に美しい秘訣を教えてください。」

異性だから究極の理想像を演じることが出来る。異性の究極の理想像を演じる宝塚の男役と同じです。」
「『お気に召すまま』は月川さんの出世作であり代表作だと思いますが、再演の可能性は？」
「シーリアはこれで封印したい。非常に高い評価を頂いた役なので、一番美しい時に……。これからいろいろなことに挑戦していきたい。」

つきかわゆうき◎1985年初舞台、『お気に召すまま』シーリア、『間違いの喜劇』ルシアーナ、『恋の骨折リ損』マライアなど娘役に定評がある。その他の出演作に『エレクトラ』『ロミオとジュリエット』『KITCHEN』『タンゴ冬の終わりに』などがある。『タイタス・アンドロニカス』(04年)では劇中歌も担当した。

次回予定◎『カリギュラ』11/7-30
◎Bunkamuraアンターコウ

Like It 彩った2人のトリックスター

田山 涼成

道化
タッチストーン



公爵に仕える身ながら公爵令嬢のシーリアに連れ出され森へ、そこで出会った羊飼いの娘と恋に落ちる。

スマートに笑い飛ばしたい

「道化のタッチストーンは世間を批判する革命家的な人物なのかなと思っていました。」
「人が好くて、お嬢さん(シーリア)に付いていてしましますし、大きな革命は起こしていないんですよ。宮廷の中という小さい範囲での権力批判がタッチストーンの役割ですね。タッチストーンの稽古をしている時、かつて、テレビのワイドショーにオカマの評論家が出始めた時に覚えた違和感を思い出したんです。女言葉で世の中を批判して、たまに政治の批判なんかも盛り込んでいました。彼らの存在は次第に認知されて今では当たり前のようになっただけ、あの日、妙な気分になった記憶を、タッチストーンの存在に置き換えてみたらどうだろう?と発見することになりやすくなりました。」

「田山さんが所属されていた劇団夢の遊眠社の作品は、笑いや寓話の中に社会批判を隠しているように感じられますが、田山さんも何かに対する批判をペトレットには表現されたいかなもありませんか？」

「自分の内部で、おまえは人を批判できるのかもとも思います。状況劇場の人達のように社会と闘ってきませんから。それに遊眠社にはあらゆることをスマートに笑い飛ばしてしまえという感覚がありましたし、可能ならば今でもそういう志向はあります。」
「『おまえは笑い飛ばせるからいい一みたない科白はまさに実感がこもっている』」
「『おまえは笑い飛ばせるからいい一みたない科白はまさに実感がこもっている』」

「本物の羊が出てきて、『メエ、メエ』鳴っている時の『おまえは笑い飛ばせるからいい一みたない科白はまさに実感がこもっている』」
「本物の羊が出てきて、『メエ、メエ』鳴っている時の『おまえは笑い飛ばせるからいい一みたない科白はまさに実感がこもっている』」

「田山さんは、戯曲に書かれた言葉を正確に再現することを大事にされているにも関わらず、初日、科白をしゃべっている時に鳴き続ける羊に対して『アドリブを発してしまっただけです。天下の月川さんとシェイクスピアにほんのちよつとだけ抵抗してみました。なんて言いながら、終演後は、月川さんと翻訳の松岡和子さんに謝りに行きました(笑)。そしたら、そのアドリブは残っているというお許しを頂けたんです。」

難波のど真ん中にある
伝統の劇場「大阪松竹座」で
フレッシュなショーが繰り広げられている。
血を沸かすフラメンコ！
魂を揺さぶる太鼓！
若々しいエンターテインメントの中心には
ソロアーティストとして、
大きくしなやかに
存在感を増した今井翼がいた。

今井翼

tsubasa imai

いまいつばさ◎81年生まれ
神奈川県出身。滝沢秀明
と組んだユニット「タッキー&
翼」で02年いきなりアルバム
デビュー。洗練されたレッ
クスと卓越したダンスの実
力でジャニーズジュニア時
代から、TV、ラジオ、CMなど
で活躍。04年からソロ・コン
サート活動も行っている。

次回予定◎「日生劇場10
月特別公演」10/3～28◎
日生劇場



毎日自分と

じっくり

向き合える

楽しさ

身体表現にこめる気持ち

——翼さんはソロツアーは経験豊富ですが、1カ所での長期公演は初めてだったとか？

そうですね。しかも伝統ある松竹座ということで、やはり責任感をすごく感じました。また、松竹座ならではの見せかたをすごく考えましたね。最終的には1部はパフォーマンズ、2部はコンサートという形にして、まだ見たことのない今井翼と本来の部分と両方楽しんでいたんだこうということになりました。初日が開いてから1週間くらい経ったのですが、客席の反応もふくめ、毎回新鮮な感動を得ている感じです。

1部で印象的なのが初挑戦のフラメンコですが、ソロでかなり長い踊りますね。

4分間弱くらい踊ってます。今回、どうしてもフラメンコを踊りたくて、スペインまで行って見たのですが、ふだんやってくる踊りとはまったく体の使いかたが違ふなと思いました。アンダルシア地方の人たちは、3、4歳から踊り込んでいいるそうで、日本人の僕が1カ月くらいどこまでできるか、自分でもかなり無理難題だと思ったのですが、挑戦することで、また次の何かにつなげるこができるんじゃないかと思って。あえてハードルの高いものに挑戦したということですね。

だから衣装も身体の形ができるだけ見える

ようにジャケットなし、ノーセットでバックダンサーもなし。僕が見せられるのは、ダンスの形と内面から出てくるものだけなんです。孤独とか自分との葛藤とか、愛の情熱とか、そういうものを表現するのがフラメンコですから、今の自分が見せられるなかで、できるだけしつかり見せたいなど。それに踊りかたも本当に難しく、まずカウントの取りかたが違うんですよ。フラメンコは1小節2小節という数えかたではなく、1コンパス2コンパスと数える。1コンパスは12拍で、しかも1からではなく12から数え始めるとか、特殊ですから難しかったです。

ダンスセンスでは定評ある翼さんだから、楽しんで踊っているようにも見えましたが、まだ超えなくてはいけない壁があるし、楽しいということにはなかなかなりませんね。でもフラメンコへの1本目の橋は架かったかなという感じですね。

——それからアフリカンのシーンでは、ドラマ・パフォーマンズというか太鼓も叩いていて、あれも演奏というよりは身体表現ですね。

舞台上にはジャングルジムみたいなセットがあるんですが、それをただ登るのではなく、ある頂点を目指して登って、一番上に登りきったときの心の叫びを表現するという感じなんです。たぶん太鼓って人間の本能の解放でもあり、根源的な何かが呼び起こされるもので

すよね。だから叩くリズムに関しても、基礎はあっても、決まったことをやるというより、その時のマインドが腕に出てリズムになる。そのときの気分が出てくるんです。

——ダンスが好きなんって、言葉以上のものを身体で表現したいという欲求があると思うのですが、翼さんも？

ありますね。踊りてしか出せない気持ちってありますから。言葉がないぶん投げかけるほうがきちんとテーマを持つていないと伝わることも伝わらない。ですから自分のなかで、伝えたい思いを必ず持つようになっています。

深まっていく面白さ

——今回は2部形式で、翼さんのダンスと歌、それぞれのよさをうまく振り分けたなど。

実は、最初のコンセプトでは、歌なしで踊りだけでというのもあったんです。いろいろなダンスシーンで感情を表現するというのをやってみようかなと。ただ、初の長期公演ですから、お客さんがあまり受け取りづらいものになってもいけないので、2部はコンサートにしました。今回用の新しい楽曲もあるんですが、デビュー前に歌わせていただいた先輩の曲も含めて、自分のルーツをこいう機会に振り下げるのも面白いかなと。たくさん歌わせてもらっています。

——聞き慣れた楽曲も、アレンジが違っていたりすると、また印象が違ってきますね。

メロディは一緒でもサウンドアレンジでシーンのイメージが変わるし、表現が変わると楽曲もまたそれにあつた歌い方をしないとけない。音楽ってすごく面白いなと思いました。それに歌はまず言葉ありきだし、そこに心が入ってないといけなから、言葉を発信していくことは大きいことだと思っています。自分で歌っていて不思議なんですけど、毎日同じ歌で言葉でも、違う世界になっていったり、言葉が自分に帰ってきたり、観ている人に届け届けと思ったり、その時々ですごく変わるんですよ。

——それは同じ劇場での長期公演ならではの面白さでしょうね。深めていける感じでしょうか？

たしかにいろいろなもの向き合えるなと思います。いちばん大きいのは自分とじっくり向き合えることでしょうね。毎日公演が終わってからは、こう変えたつもりだけど、そうなっていたかなとか、明日はこうやってみようかなとか、どんないろんな思いが生まれてくるのが楽しいですね。

——それがまた、次の日生劇場での新バージョンにつながるわけですね。

ここで育っていくシーンも見せたいし、新しい何かも見せたいし。松竹座で観てくださったかたの意見をうまく反映させて、よりパワーアップできればいいなと思っています。



TAKARAZUKA
2007
NEW SCENE
vol. 6

柚 希 礼 音

宝塚の新しい動きの中で
若手たちにも次々にスポットが当たっている。
星組はこの秋の日生劇場『Kean』と、
そのあとの本公演『エル・アルコン—鷹—』で
続けて準主役を努める若手男役の柚希礼音が注目的、
これからの彼女の舞台は、ちよつと見逃せない。

Yuzuki Reon
ゆづきれおん○宝塚歌劇団星組。
大阪府出身、双子座、B型。99年
『パパ・ボサ・ノバ』で初舞台、のち
星組に配属。舞台映える容姿と
ダンスの実力で大型新人と期待
される。01年『ベルサイユのばら
2001』の東京新人公演でアンドレ
役。03年バウ・ワークショップ『おー
い春風さん』で初主演。同年『王
家に捧ぐ歌』で新人公演初主演、
以後、新人公演主役やバウホー
ル主演を数タクリアしてきた。今年
は、1月にバウホール『Hallelujah
GO!GO!』に主演、3月からの主演男
役・安蘭けいのお披露目公演『さくら』
で主役として健闘した。これからの
舞台は、日生劇場『Kean』、11月
からの宝塚大劇場公演『エル・アル
コン—鷹—』と『レビュー・オルクス
—蘭の星—』。いっそうの活躍が期
待されている。

次回予定○星組日生劇場公演
『Kean』9/1～23○日生劇場○
星組公演『エル・アルコン—鷹—』
『レビュー・オルクス—蘭の星—』
11/2～12/15○宝塚大劇場、
08/1/2～2/11(予定)○東京宝
塚劇場

理想は高く持ちつつ、その過程も楽しみたい

クラシック・バレエで鍛えたその踊りは、しなやかでダイナミック。
長身で男つばい容姿は宝塚の男役になるために生まれてきたようなものだ。
そのうえ芝居心も歌の技術も努力でめきめきと腕を上げてきた。
初舞台から9年目、注目を浴び続けてきたスター候補が、
いよいよ表舞台でその実力を発揮する時期がやってきた。

苦手意識は捨てて

9月の日生劇場はミュージカルの
『Kean』、シェイクスピア役者の
物語ですね。

私の役はキーンの友人のイギリス皇
太子の役ですが、劇中劇でたくさん
シェイクスピア作品が出てくるので、少
しずつ読んでいこうとします。プリンス
はいろいろな遊びをキーンに教わって
世間を知る。また、キーンに憧れる部
分もあるけれど嫉妬もある。と演出の
谷先生はおっしゃっていました。

キーン役の特科の轟悠さんは大先
輩で、たしか05年に『長崎しぐれ坂』と
いう作品で共演していますね。

あの公演は本当に毎日が刺激的で
した。轟さんは舞台上では、本当に役
で生きていらしたんです。大きな地
震とかハプニングが多かった公演では
が全然動じないし、起きたことにすぐ
対処されて、また対応が役のままなん
です。こういうふうになりたいと思
いながら拝見していました。

その人とかつちりお芝居をするわ
けですが。

当時は新人公演で轟さんの役をさ
せていただいたので、ずいぶん教えてい



『Kean』
プリンス・オブ・ウェールズ扮装写真



『エル・アルコン—鷹—』レッド扮装写真

いただきました。今回は対等にお芝居
をさせて頂くということで緊張してい
ますが、めったにない機会ですので、恐
縮せずに思い切つていこうと思っていま
す。

プリンスは高い身分なのに、キーン
を羨ましがれる部分もありますね。柚希
礼音という人は男役の資質にすごく
恵まれています。でもその部分はあ
りますか？

私は入団前はクラシック・バレエを
習つていて、大好きだったので、やっ
ぱり向いていなくて、宝塚の男役はバレ
エの経験も生かせる、合っている世界だ
と思います。背の高さと肩幅の広さ
とか、これまで気にしていたことが長所
と言つて頂けます。でもそれだけ
に頼らないでいようと思つて。あ
まり条件に恵まれていない人が、すこ
く努力をして掴んだことは、持つ
て生まれたものだけでやってきた人間
はかなわない。ですから人を羨むとい
うよりは、自分に足りないものを知つて
たい。それを研究して研究して、努力
していきたいな。

ある時期から、その努力の成果が
目に見えて出てきてますね。
新人公演で歌と芝居ができないと

ダメだと思ったときから、具体的に目
標を決め、歌のレッスンも始めまし
た。それまで歌は「お願いですから聞
かんといってください」という時期があつ
て笑。でも宝塚の男役を演じるのは
楽しいので、そのために歌もがんばろ
うと。その途中で、自分に苦手意識が
あることにも気づいたんです。そして
苦手意識を持っている自分もいやだ
な。ですから今は、少しずつでも成長
する自分を認めてあげたいと思ってい
るんです。

自分を励ますのも大事ですよな。
最近本当に、次々と高い壁が来るこ
とが多くて、実力と思うとイヤになる
ほどでした。でも苦しんでいるだけで
は成長しませんので、あまり自分を苦
しめないことにしたんです。理想は高
いところに設定するけれども、その成
長過程も大切にしようと思つて。で
たしかに苦しいですが、幸せなうさ
の苦しさという勉強できる苦しみな
ので、その幸せをもっと感じて、いた
い。

陰も繊細さも身につけて
去年からバウホールの主演が続い
たり、星組主演の安蘭けいさんのもと
では「番手のポジション」がきたり、それ
に応えていく精神力もすごいな。
ありがたいことなのですが、まだ精
いっぱいという状態ですね。でも、経
験を積みこでいろいろわかることも
あつて、大変なスケジュールのなかでも
それを乗り切る楽しめかたのようなも
のが少しわかってきたみたいです。苦痛

には感じていないです。
『Kean』の次は、青池保子さ
ん原作の『エル・アルコン—鷹—』
レッドという役で、安蘭けいさんと敵
味方で、最後は2人が戦うところもあ
ります。かっこいい立ち回りもありそ
うです(笑)。

レッドは正統派の二枚目役、と演
出の齋藤吉正さんは言っていました
な。

安蘭けいさんのティリアンが、徹底的
な悪の魅力を出されるといふことで、
私のレッドはその対照的な役だけに、
しかり演らないといけないと思つて
います。安蘭さんは以前『龍星—でも悪
を演じられていたが、なぜ悪になっ
たかを考えて深い役作りをされるん
です。そういう心の部分を私も作りたい
な。レッドは、すくすく育った素直な
青年なのですが、父親をティリアンに
殺されてから復讐心に燃えていく、そ
の変化や内面を見せられたいいなと
思っています。

音楽が『ゲド戦記』の寺嶋民哉さ
んの作曲で、それも話題ですね。
とてもスケールが大きくて、聞してい
ると世界観が見えてくる気がします。
—そしてもう1本が『レビュー・オル
クス—』で、タンゴが満載のショ—。ダン
サー柚希礼音のタンゴを、たっぷり観ら
れるのかなと。

今まで、ショ—の一部で踊ったことは
あるのですが、全編タンゴなので嬉しい
です。今回はアルゼンチンから、有名な
振付家のオスカル・ライズさんがいら
して、踊りかたもから教えていただ
けるのが、すごく楽しみです。
活躍する舞台が目白押しですが、
柚希礼音のこれからの課題があるとし
たら？

今までは、全体的に私は明るく元
気なイメージだったような気がしま
す。それをできるだけ変えてみたい。
『Kean』、そして『エル・アルコン—』
と続くなかで、かなり違う面を出させ



3月星組公演『さくら』 左から遠野あすか・安蘭けい・柚希礼音



3月星組公演『さくら』



3月星組公演『シークレット・ハンター』
安蘭けい・柚希礼音

ていただけで、自分でもそ
ういう面を、どんどん見せていきたい。
陰だったり、繊細だったりという部分と
か、男役の毒みたいなものも出せたら
もつとも、可能性をたくさん広げて
いきたいなと思っています。



フルスペックのPiperは、 限りなく演劇に近い演芸だった——？

腹筋 うん。そういう「楽しくリラックスしておもしろいもの作ろう」とみたいな「おもしろい」感覚は、初めての僕にも流れ込んでくる感じが確かにあったな。

腹筋 (苦笑) ……でも、みんなハイテンションな中で、役的に僕1人だけトップギアになれないでしょ？ だから最初はすごく不安だった。僕の役は「とにかくカッコ良く」ってイメージだったから、出もバーンとカッコ良くしたら思いっきり出オチしたし(笑)。

山内 それがええんやんか！ ああ、この芝居を観に来たG2さんがええこと言ってるんですよ。「これ演劇ちゃうやん、演芸やん。水野さんが入っていることだからうじて演劇になってたけど」って。これ、非常的に射ていると思いたしね。限りなく演劇に近い演芸を、僕は誇りを持ってやっているんです。だから、出オチだっていいんです。

腹筋 (苦笑) ……でも、みんなハイテンションな中で、役的に僕1人だけトップギアになれないでしょ？ だから最初はすごく不安だった。僕の役は「とにかくカッコ良く」ってイメージだったから、出もバーンとカッコ良くしたら思いっきり出オチしたし(笑)。

山内 それがええんやんか！ ああ、この芝居を観に来たG2さんがええこと言ってるんですよ。「これ演劇ちゃうやん、演芸やん。水野さんが入っていることだからうじて演劇になってたけど」って。これ、非常的に射ていると思いたしね。限りなく演劇に近い演芸を、僕は誇りを持ってやっているんです。だから、出オチだっていいんです。

この5人で出来ることを全部やった

結成10年目にして、遂に本公演でメンバー5人が顔を揃えたPiper。フルスペックとなった彼らが満を持して放った『ひーはー』は、今後、Piperらしさの新たなスタンダードとして語られることになるだろう。Piper初出演の怪優・腹筋善之介と、Piperの音楽も担当する才人・山内圭哉。舞台上でたっぶり遊んだ2人がいま、『ひーはー』を語り合う。さあ、場外エクストラマッチ、いざ開幕！

なんで俺の頭で……

山内 「その『スプーキーハウス』から勘違い度もバワアップ。演じる方は大変では？」

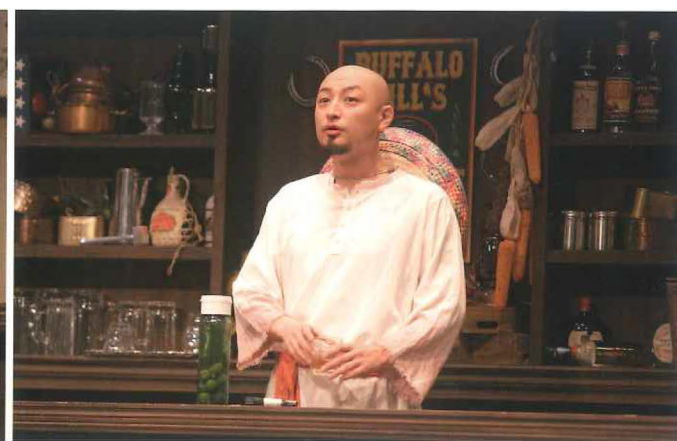
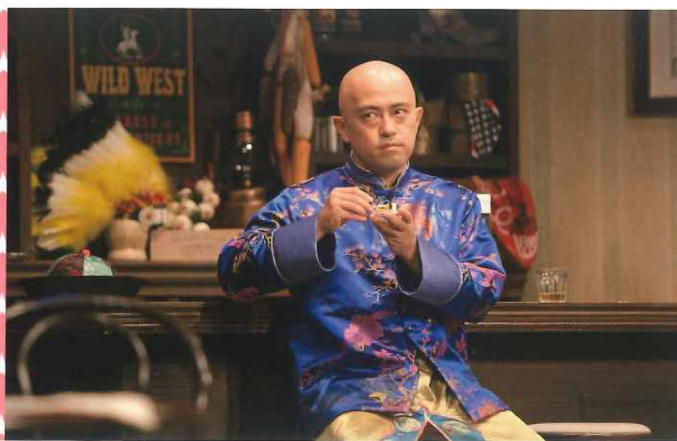
山内 確かに、いかにリアルに、鮮度を損なわずに勘違いするかってところには力使ってますね。竹下宏太郎と水野美紀を(同じ人物だと)間違えなアカンわけですから、ものすごいエネルギーが必要。こういう勘違い物は何より、受け身が上手じゃないと駄目です。

腹筋 でも、メンバーのリアルな関係性も役に反映されていると思うから、やっててすごい楽しいんですよ。自分のやるべきことをやっていけば勝手に立ち上がっていく感じ。

山内 奇跡的にこれまでのところ(注：取材日は東京公演最終「出トチリ」しかも無いしね。トラブルとしては……初日だったかな。僕、平田敦子に3発殴られるところまで。



前作『スプーキーハウス』から3年。あの3人家族が再び帰ってきた！ 今回彼らが勝手に住み着いたのは、濡れたウェスタン調のステキハウス。そこに西部劇マニアやら元傭兵やらイベント会社の面々やら、ちょっと困った連中がまとめて押しつけて来たからさ大変。嘘が嘘を生み、勘違いが勘違いを呼んで、いつしか店は上を下への大騒ぎに……。



Power Push!

好きなモノは誰かに教えたい!
惹かれるモノはどんどん紹介したい!
面白いモノは強くオススメしたい!
“押し”方にもこだわりつつ、こんな感じで“押し”てみました
1ページ内のプレゼン合戦、あれこれ一気に Power Push!



【ヨーロッパ企画】
衛星都市への
サウダージ



【M&Oplays+PPPP
プロデュース】
ワンマン・ショー



【東京タンパリン】
鉄の纏足



【三条会】
秘密の花園



The Last Laugh



【ゲキ×シネ】
朧の森に棲む鬼



【演劇集団キャラメルボックス】
カレッジ・オブ・
ザ・ウィンド



【劇団、本谷有希子】
ファイナルファンタジック
スーパーノーフラット



東京タワー
オカンとボクと、時々、
オトン

山内圭哉

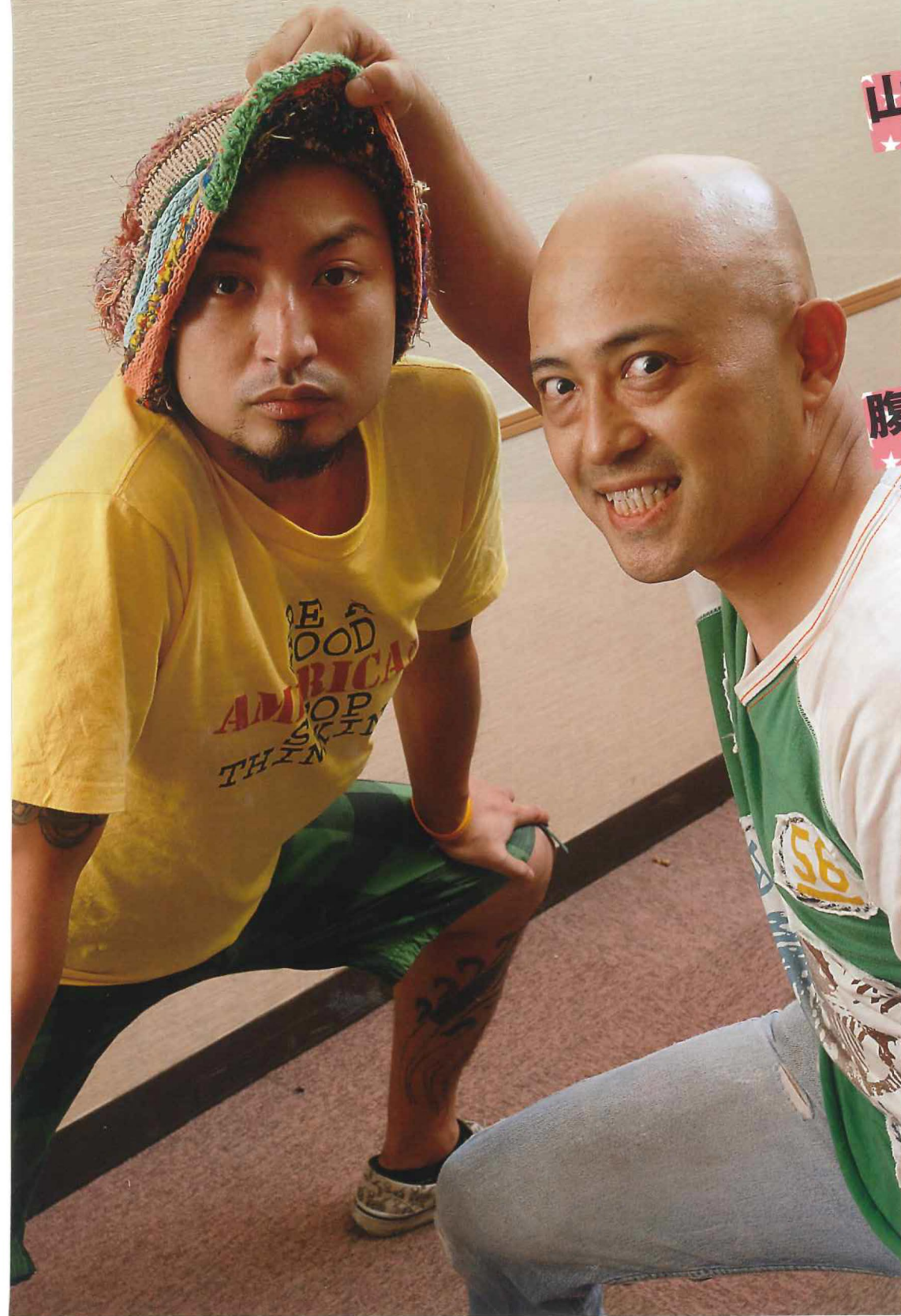
やまうち 圭哉 71年生まれ、大阪府出身。92年に故中島らも率いるリリパットアーミーに参加。99年に同劇団を退団後、01年、当時は山下大洋と後藤ひろひとの2人で活動していたPiperに加入する。客演としての舞台出演は勿論のこと、自身の演劇ユニット wat mayhem (ワットメイヘム) での公演や、音楽活動を並行して行うなど、精力的に活動中。昨年は町田康原作小説の「パンク侍、斬られて候」を舞台化するにあたり、脚本・演出・主演に初挑戦した。

次回予定 〇新国立劇場開場10周年記念フェスティバル公演「三つの悲劇」—ギリシャからVol.2「たとえは野に咲く花のように」—アンドロメダ 10/17~11/4 〇新国立劇場

腹筋善之介

はらきん 善之介 65年生まれ、大阪府出身。89年、西田シャトナー、平和堂ミラノと劇団感星ピスタチオを結成し、座長を務める。「パワーマイム」と呼ばれる演技法を駆使して脚光を浴び、感星ピスタチオは一躍関西の人気劇団に。00年に同劇団解散後も精力的に舞台に出演し、02年に「荒波次郎」(王立劇場)にてPiperメンバーと共演。03年に自身の劇団IO5000を立ち上げたのち、04年に竹下宏太郎とともにPiperに加入。

次回予定 〇IO5000「ColorTrap」9/26~30 〇笹塚ファクトリー 〇腹筋善之介 超本気一人芝居「Big Bell」10/12~14 〇駅前劇場



頭真っ白になって。1発目からバツチンとやられて、3発目が終わった時にはクラっときて次のセリフが言われへんかった。それで「頼むからダメージ少ない叩き方を憶えてくれ」って。
腹筋 妙に優しい口調で頼んでね。それで余計にアッちゃんビビったんやね。僕のところに来て「アタマ貸して下さい」って。……な

水野さんとなら 安心して戦える

——ゲストの片桐仁さん、水野美紀さんは一緒にやってみていかがでしたか?
山内 仁はすごい溶け込んでるんじゃない

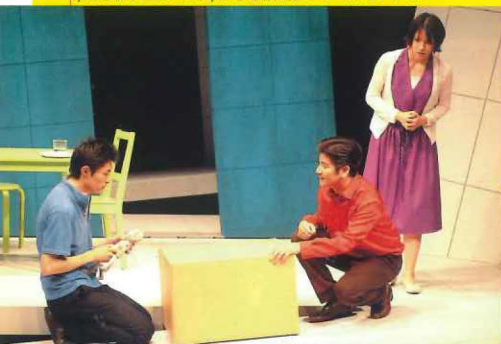
ですかね。楽しむのが上手な奴やから、何の不安も無くやれてる。多分、観てくれた人も違和感は全然なかったんじゃないかな。
腹筋 片桐君は本当に楽しんでいるねえ。水野さんは水野さんで、まず身体能力がすごい。僕との殺陣のシーンがあるけど、水野さんとなら安心して戦えるもん。
山内 安心して戦える、って……(笑)。でも、確かに女優であそこまで出来る人っていないやろな。それと、さっきのG2さんの言葉じゃないけど、芝居全体を彼女が締めてくれている感じがありますね。僕らは笑わしにかかったりするけど、彼女は一切それをやらなくて、そこがまたバランスが良い。彼女が一生懸命やってくれているから、こっちはこっちで安心してやれる。本当に勘のいい人だし、ケミストリーは間違いなくあったと思いますよ。

まだ最高傑作と 言い切るには早い

——前号のインタビューで山内さんは「絶対名作になる」って口にされてましたけど、手応えは?
山内 いや、多分ね、次のBileでも僕と平田敦子と楠見薫さんは同じ役やと思うんですよ。だから、まだ最高傑作と言い切るには早いのかなって今は思います。まだ終わっていない、どんなに広がりが連続していく、みたいな感じなんです。
腹筋 まだ上があるんじゃない? っつて。もっと面白いものを見つけていきそうだね。
山内 うん。ただ、あの家族だけはほんまにしんどいんやけど。楠見さんも「スピーキー」のときはまだ、普通の人やっと思ったんやけどな……(笑)。
腹筋 でも、次もあの家族が出てきて、セットの間取りも一緒なんやろね。
山内 そうそう。で、次は宇宙に行くか、それとも時代劇か……そんな話はしてるんですよ。決めるのは後藤さんやけど、そのチョイスの仕方がもうね、やっぱり演芸ですよな(笑)。

M&Oplays+PPPPプロデュース『ワンマン・ショー』

作・演出◇倉持裕
出演◇小林高鹿 ぼくもとさき 玉置孝匡 内田慈 近藤賢吾 吉川純広 小島聖 水野美紀 長谷川朝晴
6/7〜17◎シアターラム 6/20◎射水市新湊中央文化会館 6/21◎坂井市みなと文化未来館
6/23◎松山IMPホール 6/27◎亀有文化センター カメリアホール



青井あゆむ(小林高鹿)は、俗に言う“感賞マニア”。ぼつりと置かれた机に向い、一心不乱にハガキを書き続けている。彼は一人者ではない。妻の紫(水野美紀)ともコミュニケーションをとるし、義兄の白根赤太(玉置孝匡)とも親しげた。隣人とのちょっとしたいざこざ、街での仕事、趣味の感賞……。彼は生き活きと、この生活を“生きている”ように見えるのだが、何やら不思議で不可解な出来事も巻き起こり始め……。



倉持裕
くらもち ゆたか◎72年生まれ、神奈川県出身。00年、ペンギン・ベル・パイルズの旗揚げ。以降全作品の作・演出を務める。04年、同劇団の公演『ワンマン・ショー』にて、第48回岸田戯曲賞を受賞した。
次回予定◇ペンギン・ベル・パイルズ#12『ゆらめき』10/17〜28◎吉祥寺シアター、11/2〜4◎大阪 芸術創造館



ミステリアル・スパイラルの面白さ

ペンギン・ベル・パイルズの倉持裕が第48回岸田戯曲賞を受賞した『ワンマン・ショー』。複雑で多重的な構造の今作が再演されたとあれば、お話を聞きたいのはやっぱりこの人です。今回は、作・演出を務めた倉持裕に、07年版『ワンマン・ショー』に関する“分析”をお願いします。

「しかけ」をやるうと思っただけです

懸賞マニアをモチーフに選んだ理由は……何だったかな？(笑)。この本を書いたのは4年前なんですけど、最初、机と椅子があつて、そこに座って何か書いてる人間というビジュアルが頭に浮かんで、そういうシーンを作りたいなと思って。それで、その机でまっまっ書いていたとしたら……みたいな連想で作っていたかと思えます。この本では、まず、とあるしかけをやるうと思っただけです。簡単にいけば「あれとあれが繋がった」として何か繋がる物語」みたいな。ある謎が、実は全く別個だと思っていたものと密かに繋がっていた、ということが解明すると、人間はそれを快感と感ずるんですよ。原因と結果があるとしたら、まず先に結果を置いて、後から原因を出す。それだけでミステリーが生まれてくる、というか。それって普遍的なものだと思っんです。そういうミステリーの部分でいえば、「登場人物達がみんな主人公の妄想によって作られた人間達なんだ」というのは始めから構想にあつたし、答えが用意されていたことだから、あえてばかす必要はないなと思ひ解明するつもりで書きました。でも、自分で書いている本なんですけど、自分でも答えを用意していないこともあつて、それを分かってないのに分かったように書くのは嫌なんです。ですから、そ

いう部分は始めから何も提示しないでおくことにしたんです。そういうのは大抵、物語の中における別次元の話だったり、メタファーだったりするんですけど、今回は、客演3人の力が……
今回は、客演3人(小島聖、水野美紀、長谷川朝晴)の力がすごく大きかったです。この3人が稽古場をかなり魅了していた感じがあつて、(役)作っていくのがすごく早いです。他のみんなが必死にそのスピードに合せていく形になって、緊張感のある稽古場になりました。だから結果的に、僕が演出家として「初演と違うことをやろう」と意識する前に、役者からいろいろ提示してもらえたというか。それを受けて、その役者を魅力的に見せなきゃっていうことを、こちらは意識しただけで、そんなに緊張感の中、おのずと初演とは違うものになつていったかと思ひます。
今回は、登場人物のドラマをもつ少し色濃く見えたなと思っんです。初演の時は、複雑な構成の本なので、その構成をちゃんと居けることに腐心し過ぎたかなと。この再演では、物語が分かり易くなつたという感想を實際受けたし、僕自身も見ていてそう感じました。その分、易さが出たこととは、ドラマがはきりしたからさぞかと思ひます。

ヨーロッパ企画 バック・トゥ 2000 シリーズ 『衛星都市へのサウダージ』

作・演出◇上田誠 音楽◇かせきさいだぁ
出演◇石田剛太 酒井雄史 角田貴志 諏訪雅 土佐和成 中川晴樹 永野宗典 西村直子 本多力 松田暢子 山崎雄
5/31〜6/10◎インディペンデントシアター2nd 6/20〜7/2◎THEATER/TOPS



地球の人口爆発により、宇宙移住計画が急ピッチで進められている未来。宇宙船スターライダー号は移住希望者、研究者、作業員などを乗せ、惑星アルカディアへと向かっていた。宇宙に希望を見出そうとする者、“移住”の現実を知っている者、なんにも考えていない者、色んな人達がくりなす束の間の宇宙旅行は、ピクニックのような晴れやかなデンジョンで続いていく。



“らしさ”を体現するコンビ!?

2000年に上演した3作品の再演に挑んだ“バック・トゥ 2000 シリーズ”。その3作目にあたる今作は、何と宇宙移住のハナシ。広大無辺な宇宙で繰り広げられる“宇宙よもやま話”は、ヨーロッパ企画ならではの楽しさが満載! 今回は、劇団を牽引する俳優、石田剛太と諏訪雅の“コンビ”(?)を“Power Push!”

石田剛太

いしだごうた(左)◎79年生まれ、愛媛県出身。98年、同志社大学入学とともに同志社小劇場に入団。00年の退団まで副座長を務める。ヨーロッパ企画には99年から参加し、以降全作品に出演している。

次回予定◇ヨーロッパ企画 第25回公演『火星の倉庫』11/23〜25◎京都府立文化芸術会館、11/30〜12/1◎イムズホール、12/4〜9◎シアターサンモール、12/20〜23◎ワッハホール
◇ABCラジオ『ヨーロッパ企画の試験放送』毎週火曜25:30〜26:00 O.A.

諏訪雅

すわまさ(右)◎76年生まれ、奈良県出身。98年、上田誠・永野宗典と共にヨーロッパ企画を旗揚げし、以降全作品に出演。チラシ等のデザインや、アンオフィシャルパンフレット『ヨーロッパ通信』の編集長を担うなど、多岐に渡り活躍している。

次回予定◇ヨーロッパ企画 第25回公演『火星の倉庫』11/23〜25◎京都府立文化芸術会館、11/30〜12/1◎イムズホール、12/4〜9◎シアターサンモール、12/20〜23◎ワッハホール
◇ABCラジオ『ヨーロッパ企画の試験放送』毎週火曜25:30〜26:00 O.A.



劇団員総出演なのは、ヨーロッパ企画。が、とっても楽しい公演でした!
石田 アンケートに「オールキャストいいですね!」と書いてくれた方が大勢いる!
諏訪 アンケートといえば、僕と石田は「石田諏訪のコンビは……」とか書かれて、2人組に見えるみたいで。設定上は宇宙船で初めて出会った2人なんですけど(笑)。
石田 僕は「コンビ」ばい配役が多いから、諏訪さんとやる時は「こうすれば上手く出来るな」という自信が結構ついてきますね。
諏訪 2人出るシーンも多いから、2人並んでスタンバイして。
石田 諏訪さんを焦らせようとして、わざとスタンバイ遅らせたり(笑)。
何してんですか! (笑)
諏訪 僕、出番の5分前にはもう居たが、抱えている内面を出すというより、笑いつつたりツッコんだり、物語を回していく役でしたよね。オープニングに、「地球ですね」と石田が言っていて、「地球ですね」と僕が返すシーンがあるんですけど、これは2つの台詞だけで笑いをとろう! という気持ちでやっ

て。
石田 客席を見て、笑ってくれ! と思ひながら、こで笑いといったら、今日はイケる! っつて。
石田 3列目くらいを見て、視線は絶対合わせないようにしてるんですけど、やっぱり表情とか見えちゃう。オープニングだし、すごく怖い瞬間ですけど、台詞2つ言っただけでお客様が笑顔になった。よし、もう掴んだ! っつて感じますよ。
今作は、劇団の得意とする。面白さを、目標詰め込んだ作品だと感じました。音楽、アイデア、デジタル的でありながら心地よい空気感、そしてユーモア。全てがヨーロッパ企画らしい、それらがガッチリ組み合わさった印象があります。
石田 僕個人としては「ひとつの完成形を見せていく」という意識はあります。それが逆に置きにくくなる(安定して過ぎていく)感じがすることもありまして……。丁寧にやるうって意識が強いからかな? でも、作品全体でいえば、SFなのに牧歌的雰囲気があつて、結局何も起らない感じとかは、僕らしい気がします。
諏訪 SFはよくやりますけど、ここまでSF全開なのも珍しいかも。SFを追求した作品に仕上がった感がありますね。

How to

三条会『秘密の花園』

作・唐十郎 演出・関美能留 出演・大川潤子 橋口久男 榎原毅 中村岳人 久保田芳之 (reset-N) 舟川晶子 立崎真紀子 山下真樹 鈴木史朗 (A.C.O.A.) 7/20～25◎千葉公園内特設三条会屋外劇場

野外ならではの偶然性を楽しむ

昨年に続く千葉公園における三条会の野外公演第二弾は、唐十郎の名作『秘密の花園』。本番中に雨が降ろうと、飛行機や電車の音が聞こえようと、俳優たちはそんな偶然をも利用して、全公演をパワフルに演じた。難解な戯曲を、三条会ならではのやり方で立体化し、妄想と現実の世界を鮮やかに見せた関美能留は、公演を振り返ってなにを思うのか――。



関美能留

せきみのる◎72年生まれ、埼玉県出身。千葉大学中退後、97年に千葉市を拠点に三条会を旗揚げ。01年に利賀演出家コンクールにて最優秀演出家賞を受賞。以降国内外で活動の場を広げる。05年に千葉市文化芸術新人賞を受賞。

次回予定◎『いやむしろわすれて草』11/9～13◎三条会アトリエ◎『若草物語』11/23～27 ◎三条会アトリエ◎『メディア』08/1/17～20◎下北沢ザズナリ



構成・文◎渡辺敏恵 撮影◎コスガデスガ(舞台) 宮川舞子(人物)

唐さんの戯曲をやるうと思ったのは、難しいから。ずっと千葉で活動しているのだから、なんとか地元の人たちに演劇を観てもらいたいなと思っていて。去年、初めて千葉公園で寺山修司さんの「レミング」をやったんですが、やっぱり寺山さんと唐さんの戯曲は難しそうだなと思われてしまったんですね。「えーアングラ?」とか思われがちです。でもそこを突破しないと私たちの活動もなかなか認めてもらえないので、わかりやすいところにはいかずに、難しいながらも「演劇っていいんだよ」ということを伝えたいなと。

『秘密の花園』という戯曲は、唐さんも「自分でおしゃってたんですが、妄想と現実を二分割してさきにそこから二分割して……」というような作業があるように読めるんです。そもそもアパートの中という設定ですから、それを屋外でやるということ自体が、私にとってはロマンチックなことだったんです。ちょうど森のなかのアパートと書いてあったので、じゃあ千葉公園の森のなかに舞台を建てたらいいなと思って。

戯曲の後半は雨が吹き荒れるという設定なんですが、野外ですから、大がかりな雨セットとか作っても面白くないから10年、千葉を拠点に活動してます

です。よね。本当に降るかもしれないし。実際、公演中も何度か雨が降ったんですけど、降ったら降ったで、降らなければ降らないで面白いうように作っていきまして、ちうと唐さんとの違いの出し方というか、たとえば雨のシーンのパワー勝負みたいになったら敵わないというところはあるので(笑)、私は私で、現代なりのセンスをやっていくのかな、と思います。



古い木造アパートの一室に住む一葉(大川潤子)は、大貴(榎原毅)という夫がありながら、部屋に通って来るアキヨシ(橋口久男)の給料を当てにしている。ある日、アキヨシは、自分に縁談話があり、関西へ転動しなければならないという話を切り出す。それを聞いた一葉は、便所で首を吊る。果たとするアキヨシの元に、姉の双葉(大川潤子)が現れ……。

わざと見えにくくして、みてもらう。

レンタルビデオ店と図書館のような場所での出来事を、疑似バスケットボールゲームのシーンがつないでいく。場面が変わるごとに移動するフェンスに遮られつつ見る舞台は、そこで演じられている、ギクシャクとした人間関係ともクロスして印象的だ。俳優たちのリアルな存在感もあって、人と人との営みがあぶり出されていく。

東京タンバリン『鉄の纏足』

作・演出◎高井浩子 出演◎瓜生和成 斎藤一郎 青山隆之 岡本孝史 坂田奈子 島野温枝 ミキタ明日香 遠藤弘幸 大田崇子 大湯純一 堀川美穂子 島田冴香 6/27～7/2◎下北沢駅前劇場



今回の公演はイヤな人がたくさん出てきますね(笑)。とくに出したというわけではなくて、私もそうなのですが、最近、映画やお芝居を見ている人たちは悪意のほうに興味があるのかなと思って。そんなに100%いい人はいないと思うので、そういう人たちの行動が積み重なって、どうなっていくのかを見せたかったかなと。オープニングとシーンの間に、何度かバスケットボールが入ります。一番最初にバスケットのシーンを入れたと思います。観客を巻き込みたいたいと思っていて。プロセアムではない舞台で、少レドキドキするような、ボールがこつちに飛んでくるんじゃないかなとかで、意識の世界を「貸す、借りる」という、それがバスケットのパスと似てるなと思って、ビデオ屋さんと図書館を選んだんです。なので、なんとなくストーリーは考えてたんですけど、バスケットは第二に。動き先行で笑。

俳優はたいへんです。演技はもとより、バスケットだけでなく、舞台装置のフェンスなども動かさなくてはならない。フェンスはいらないじゃない、という意見もあったんですけど(笑)。美術の「杉山さんとも話して」ネットを張ってわざと見えにくくしたいんだけど」と私が言ったら見づらいという人もいるかもしれないけど、私はその方が見てくれるかな、と思って。ひとつ屈折ができて、僕は見やすいと思いました。普段、俳優にはどんなことを言うてるのですか?

公演は役者の展示会ではないので、みたいなことを言います。面白くやろうとするよりは、台本全体の中で自分のいる位置をどうやって面白く見せられるかを考えて、ということばいます。

で、どうするんですか。みなさん。みんな頑張ってますけど(笑)。できないことはあきらめますので、私。他のやり方で、自分でやりやすくできればいいと思います。

高井浩子

たかいひろこ◎作・演出家、女優。95年「東京タンバリン」を設立。以降の作品の作・演出を担当。外部での活動も多く、映画監督本広克行との舞台づくりでの共同作業も継続中で、広く注目されている。

次回予定◎『Fabrica』(脚本)演出/本広克行 10/4～8◎新宿THEATER TOPS ◎演劇ユニット経済とH『FLOWERS』(出演)10/5～8◎青山円形劇場



構成・文◎坂口真人 撮影◎青木司(舞台)

出演◇市川染五郎 阿部サダヲ 秋山菜津子 真木よう子／古田新太 他



「踊」も観てるけど、観てることがマリアスになるなんて全くない。むしろ、物語の筋を知ってるから安心して観ていられるし、「この時にこの人がこんな表情してたんだ！」っていうのもよく分かる。それがすごく嬉しかった。

田尻 私は舞台を見逃しちゃったんですけど……今、ゲキ×シネを観たからこそ、生で観られなかったことがとても悔しいですね。でも、本当に面白かった！これって映像監督さんがちゃんといるんですね？もう、独立した二本の作品だつて感じました。

坂口 きちんと準備して撮ってるよね。カメラってすごいから、衣装ひとつにしてもボロが出たらお終いじゃない？

田尻 小物も、美術も、あれだけ寄って大丈夫なクオリティで作つてあることが凄いですよね。

坂口 それは俳優の表情も同じで、気のない演技をしたらそこでアウトだし。そういうの一切ないから、ものすごくダイレクトに楽しい。

田尻 あれ観たら、次の舞台を観たくなりますよ！

坂口 両方の、それぞれの面白さがあるよね。サッカーのTV中継とかでも、ゴール後に喜んでる選手の表情がはっきり分かったりするじゃない。でも、スタジアムだとそこまでは分かりにくい。勿論スタジアムにはまた別の興奮があるんだけど、そういう感じが似てると思ったなあ。とにかく、舞台そのものも、映像も、作っている人全員が本気だよな。もうホントのホントに本気だから、その感じはとっても気持ち良いです。こういうものこそ「演劇はちよっとな〜」って尻込めしちゃう人には是非観て欲しいなあ。



構成・文◇園田喬



“演劇の映像を映画館で楽しむ”という新感覚エンターテインメント・ゲームシネ。10月、その第5弾として、あの『魍の森に棲む鬼』が全国一斉上映とれば、それやテンションも上がるつてもんです! 今回は『魍〜』の舞台を観た人代表として、弊誌編集長・坂口、舞台を観ていない人代表として、弊社スタッフ・田尻に取材を依頼。上映時間177分を堪能し、試写会から出てきた2人の感想は……?

information

10/6より全国一斉公開
札幌シネマロフィア(札幌)、T・ジョイ新潟万代(新潟)、新宿バト
ル(東京)、T・ジョイ大泉(東京)、シネマエキスポパリア(千葉)、エクス
ワイザー・シネマス蘇我(千葉)、ミッドランドスクエアシネマ(名古屋)、
MOVIX京都(京都)、柏田プラザ7(大阪)、なんばバース・シネマ(大
阪)、広島パル11(広島)、T・ジョイ大宮(広島)、コイテッドシネ
マ キナラルテ+13(福岡)、T・ジョイリバーウォーク北九州(福岡)、
T・ジョイ久留米(福岡)、T・ジョイパブリックプレイス2000(大分)、鹿児島
ミッド10(鹿児島) ※全国共通観賞料は¥2,000にて発券中

イーオンバイ上映担当:03-5361-3280(平日12:00~17:00)
<http://www.oboro-no-mori.jp/>

笑いを作り出そうとする男と、笑いを削ろうとする男
検閲という制度のなか1冊の台本をめぐる対立する2人
互いの職業にかけた志と強い思いはやがて対決を超え
「笑い」の素晴らしさで結ばれていく



イギリス的な三谷コメディ

「三谷コメディ」のなかでも、もっともポピュラーな作品といえる『笑の大学』。戦前の検閲制度をもとに、94年にラジオドラマとして書き下ろされ、以後、舞台でも映画でも大ヒット。今回、英国の舞台作品となって日本に帰ってきた。国民性や言葉というハンディを超え、作られた当時の新鮮な笑いとヒューマンな感動を呼び起こした『The Last Laugh』その公演中に行われたトークショーのさわりをピックアップ。

The Last Laugh

原作◇三谷幸喜 脚色◇リチャード・ハリス 演出◇ボブ・トムソン
出演◇マーティン・フリーマン ロジャー・ロイド・バック
7/4~5◇シアターBRAVA! 7/11~22◇PARCO劇場

「三谷」「日本の台本だと知っていましたか」

マーティン「作ミタニウキと書いてありましたから」

ロジャー「表紙にね。ただ英語台本のリチャードハリスのものでしたので、英国文化やテレビの人気番組のギャグが入っていて、かなりイギリス的な感じがしました」

三谷「僕は自分の映画を英国で上映したときに、挨拶でオリジナル・ジョークを言って、とてもウケました。僕もイギリス人なんです」

マーティン「日本のコメディというものにも初めて出合ったと思いました」

ロジャー「2人とも、今までイギリスでは日本の古典ばかり観ていましたから」

三谷「日本ではクローズ・ニチガワ、ミタニと言われます。お客様の反応はいかがですか？」

マーティン「まず大阪で公演して、あたりでは毎日スタンディングがありました」

キャストの2人は、初演の西村雅彦と近藤芳正をどこか彷彿とさせる雲は、舞台出身でテレビのシチュエーションコメディで人気者に、ロジャー・ロイド・パックは、王立演劇学校を出た舞台俳優で、映画の『ハリー・ポッター／炎のゴブレット』に出演していた。ともにイギリス演劇界の実力派2人が醸した上質のユーモアは、この作品の緊張感たまたまう会話とあいまって、イギリス的なシニカルな笑いを生み出している。そんな2人を、司会の三谷幸喜が舞台上に呼び出してトークは始まった。

★

三谷「この台本を初めて読んだとき、どんな感想を持ちましたか」

マーティン「自分では珍しい反応で、人々を笑わせるのが喜劇なのに、読みながら自分が笑ってました」

ロジャー「私もです。声を出して笑うなんて少ないのですが、そして、この台本にはコメディを解体していく作業という感じも受けました」

マーティン「あそこでウケているのは僕の演技でしょう？」

三谷「いや、あれはロジャーさんがウケているんです。しかし2人とも間を埋めているのが非常にうまい。最初にマーティンさんが1人でいるところなど本当に面白くて、ロジャーさんが出てこなくてもいいという気さえします」

ロジャー「いや、あのまま彼がやってたら、お客さんはアカアキしますよ」

三谷「ところで楽屋には何時頃に来るんですか？」

ロジャー「朝10時です」

三谷「10時？」

ロジャー「ウソです」

マーティン「1時間半くらい前にきて、発声練習などをします」

ロジャー「20分前にきて、ヨガのストレッチを」

三谷「20分前？ それはスタッフがヒヤヒヤしますのでやめてください」

ロジャー「でも、せっかく日本にいるので

たバルコではまだ1
回もないですが」
三谷「大阪人は笑いに
優しいんです。あま
りやつらを信じては
いけません」
マーティン「観客の
反応は想像していた
よりいいですね。イキ
リス人より笑ってく
れる部分もあるくら
い」
三谷「たとえばどこ
ですか？」
マーティン「……」
三谷「適当に言った
な？」
マーティン「[エース]
ロジャー」聞きたいこ
とがあるのだからと
「考えおくよ」とい
う僕のセリフで皆さ
んがよく笑ってく
れるのはなぜ」

三谷「せめて30分前にしてください」
もちろんロジャーさんの発言はジョークなのだが、そのまま本気かわからない。トークの応酬は、このまま舞台の延長さようだ。そんなイギリス的なブラックさがまぶされて、さらに笑いのヒダが深くなった「笑の大学」。このトークショーの最後は、三谷幸喜のこんな言葉で結ばれた。そこには、今や古典となったこの作品の魅力がもつともよく語られていた。

三谷「戦前の話ですが、菊谷栄という作家がいました。この作品のモデルです。彼が榎本健（エノケン）のために書いた『最後の伝令』というコメディがあり、それは『笑の大学』のものになりました。菊谷栄が書いたコメディが、当時敵国だったイギリス人によって脚色され、演じられ、それを日本人の観客が観る。とても幸せなことだと思います。ここに菊谷栄がいたらどう思うでしょうか。本日はどうもありがとうございます」



構成・文◇榎原和子 撮影◇岩村美佳(人物)

劇団、本谷有希子

『ファイナルファンタジックスーパーノーフラット』

作・演出◇本谷有希子 出演◇高橋一生 笠木泉 ノゾエ征爾 吉本菜穂子 松浦和香子 高山のえみ 青木葉奈 すほりいこ
6/4~24◎吉祥寺シアター



理想の女性である、ユクを神格化し、遊園地にかくまった複数の女たちにユクと同じ髪型・同じ服装をさせ、その一挙一動をユクに近づけようとするトシロー。かくまわれた女たちは、自ら望んでトシローに尽くし、ユクに成りきろうと必死だ。彼女たちは皆、人生に行き詰まっていたところを、トシローからのメールによって助けられたのだった。物凄く奇妙でいびつだが、遊園地での彼らの共依存の生活は、表面的には穏やかだ。献身的にトシローに尽くす縞子が、女たちを管理している。話が進むにつれ、実は縞子こそがユクだったことが明らかになる。ユクとは縞子がネット上で演じていた架空の人物だったのだ。だが縞子にそのことを告白されたトシローは「ユクが汚された」と、縞子に辛く当たるようになる。

一方、遊園地で生活することで現実から逃げていた女たちは、遊園地の維持のため、夜働きに出るようになる。だがそれもまたトシローの理想のユクから外れていた。理想の世界を作り上げていたはずのトシローが、逆にその世界に振り回される。現実には逃げなくなる気持ちと闘いながら、トシローは必死で自分の世界を守るようになる。

しかし、最後に縞子への想いに気付いたトシローは、生身の女である縞子が自分を裏切るかもしれないとわかつていながら、縞子のいる観覧車に乗り込む。トシローの行く先に救いがあるのか絶望があるのか、なにも示されない。ラストで、トシローは自分のレーンデール（存在理由）だと言ったが、縞子に「存在理由」の思いが胸に迫ってきて、痛い。

“現実には逃げる”という逆説

アニメヲタクで二次元しか愛せないトシロー（高橋一生）は、初めて実在の女性・ユクを好きになったが、ユクは死んでしまった。そこでネットで知り合った数人の女性を遊園地にかくまい、ユクとして生活させる。遊園地の従業員・縞子（笠木泉）は、ユク候補の女を選び、遊園地に送り込んでいる。次第にユクが本当に実在したのかあやふやになっていき……。



構成・文◇渡辺敬恵 撮影◇引地信彦



大学生の高梨はしみ（高部あい）が心待ちにしている日。それは、毎年夏休みに家族6人で出かけている、キャンプ旅行の日だった。しかし……不幸なことに、キャンプ地に向かう途中で車は交通事故に遭遇、はしみを除く5人は帰らぬ人となってしまふ。彼女の胸中を察し心配する人達に対し、はしみは意外にも気丈に振る舞う。何故なら、1人残されたはしみを想い、幽霊となった家族5人が彼女の傍にいてくれたからだった。死別を通してひとつの絆で結ばれた高梨家は、奇妙な形で“家族水いらず”の、楽しくも切ない“ひととき”を過ごすことに……。

演劇集団キャラメルボックス 『カレッジ・オブ・ザ・ウィンド』

作・演出◇成井豊
出演◇高部あい 大内厚雄 岡内美喜子 岡田さつき 山田幸伸 畑中智行 温井摩耶 三浦剛 青山千洋 賀川貴美子 阿部文二 渡邊安理 小林千恵 久保田晶子
7/5~8/5◎サンシャイン劇場、8/9~8/16◎イオン化粧品 シアターBRAVA!

その“日常”を乗り越えたいから

キャラメルボックスの『カレッジ・オブ・ザ・ウィンド』は、とても哀しい設定です。自分以外の家族が同時に事故死してしまい、急に独りぼっちになってしまう主人公……。だが、実はこの作品、劇団の代表作と称される一作であり、ファンからの支持はとても厚いのです。想像するにそれは、この作品が哀しい、設定ではあるが、決して哀しい、作品ではないからでしょう。「瞬時に家族を失う主人公・はしみは、自然体で明るく強い女の子。屈強とさえいえる彼女の明るさは、その設定が持つ悲惨さを吹き飛ばしてくれるどころか、観る人を励ましてくれる程に力強い。その、作品を大きく担う。はしみという存在に今回挑戦したのが、舞台初出演の高部あい。彼女の屈託のない笑顔は、それだけで舞台上を明るくし、本気で、表現をしようとするひたむきさは、正にほしみに通

じる部分があります。キャラメルボックスという劇団の魅力のひとつに、その「本気度」があると思うのですが、高部あい扮するはしみを観ながら、彼女のひたむきさが、この劇団が大切にしている、それ、なんじゃないかなと勝手に考えました。

先に、今作は「哀しい作品ではない」と書きましたが、この作品を、哀しくさせないのは、はしみの存在だけではありませぬ。キャラメルボックスの特徴でもある、その小気味よいテンポ、明るい笑い、本気の俳優達、そして、劇中に流れる音楽の数々、etc……、あらゆるモノが、哀しさを乗り越えるために懸命になっているからこそ、ファンからの圧倒的な支持を受けているのでしょう。哀しさを乗り越える、それは僕らが生きていく上で、避けては行けない、大事な大事な、日常、なのだから。



構成・文◇岡田喬 撮影◇伊東和則

演劇モバイルでは毎月「最も良かった公演」「その理由」「最も良かった俳優」の投票を受け付けています!

演劇モバイル

演モチャート

投票の際の注意事項!

- 一 一字を間違えない
- 二 公演名に「『や』」は使用しない
- 三 公演名の前に劇団名、会場名、第何回公演などをつけない
- 四 俳優名に敬称をつけない
- 五 俳優名の姓と名の間をあけない
- 六 ※対象期間外の作品に投票しない

毎月15日は演モチャートの結果発表日!

演モチャートの結果は「えんぶチャート」に反映されます!!

※「最も良かった公演」の「その理由」についてはスタッフが内容を全て確認致しますが、公演と俳優に関しては基本的に自動集計となっております。お気に入りの公演と俳優に貴重な1票を投じることが出来るよう、上記に注意して投票してください!!
※9月であれば対象期間は9月1日から9月30日です。その間公演及びそれらに出演していた俳優以外に投票されましてもカウントされません。

さあ、今すぐ投票しよう!

演劇モバイル

お手持ちの携帯電話から
カンタンアクセス!

iMenu→メニューリスト→音楽/映画/芸能
→タレント/芸能→演劇モバイル

EZトップメニュー→エンターテインメント
→芸能・アイドル→演劇モバイル

Yahoo!ケータイ→メニューリスト→芸能・映画・音楽→芸能・タレント→プロダクション・総合
→演劇モバイル

株式会社 ケイブ
cave <http://www.cave.co.jp>

※サービスのご利用には、利用料が含まれます。サービス利用料の他に別途パケット通信料がかかります。通信料に関しては、契約回線業者にお問い合わせください。口述・情報内容・料金・お申し込み方法は、予告なく変更する場合がございます。口述の広告中に記載された企業・団体・サービス名およびそれらのロゴマークは、関係各社・団体の商標または登録商標です。口述広告掲載の写真、イラストおよび記事・情報内容の無断転載・複製・二次使用を禁止します。

3キャリア対応!
演劇モバイル用QRコード



カメラで読み取るだけで
簡単アクセス!
<http://engeki.cave.co.jp>

東京タワー オカンとボクと、時々、オトン

原作○リリー・フランキー 脚本○逢坂竜太 演出○G2 出演○萩原聖人 加賀まりこ 石田ひかり 千葉雅子 三上市朗 八十勇一 新谷真弓 津村知与支 林隆三
6/29~7/11 北九州芸術劇場 中劇場、7/5~16 天王洲 銀河劇場、7/20~22 梅田芸術劇場 シアタードラマシティ、7/24 愛知厚生年金会館、7/26 新潟市民芸術文化会館(リハーサル)・劇場



ボク(萩原聖人)は北九州の田舎町で、オカン(加賀まりこ)の愛情をたくさん受けて育った。別居するオトン(林隆三)は、時折現れてはひと暴れするが、息子のことを心配している。成長したボクはイラストレーターを夢見て上京するが、仕事はほとんどなく、極貧生活。ある日、オカンが癌に冒されていることを知ったボクは、オカンを上京させ、ともに暮らす……。

親子関係を通して主人公の成長を描く

ボクの幼少時代から現在までを時系列で描いている原作に対し、舞台版は東京にいる。現在のボクの視点から、過去を巧みに織り交ぜて展開していく。冒頭、ボクが東京で極貧生活をしている様子は、かなり切羽詰まっているのに、どこかおかし。食べるものがなく、彼女(石田ひかり)と後輩のマドロス(津村知与支)とともに、腐りかけたハムを食べる場面など、コミカルながらリアルで、生き生きと迫ってくる。夢を追って上京したのになかなか芽が

出ない焦りから、悶々とした日々を怠惰にやり過ごすボク。やがてオカンが癌に冒されていることを知り、オカンに東京に呼び寄せてから、少しずつ生活が変わっていく。ボクの周りの人々ともすぐに打ち解けたオカンは、彼らに手料理を振る舞い、ボクの部屋にはいつも賑やかな笑い声が。仕事も軌道に乗り始めたボクだが、オカンの病状が悪化し、二人の生活にも終わりが訪れる。東京タワーの見える病室で、ベッドに

横たわるオカンと、オカンを見守り励ますボク、お見舞いに来てくるオトンが、それぞれの目に映る東京タワーを眺める場面は、切れることのない親子の絆をしっかりと映し出す。オカンが死んだ夜に原稿の督促を受けたボクは、泣きながら原稿を書き、仕事で二人前になることをオカンに誓う。オカンの死を乗り越え、一歩前に踏み出すこの場面は、一人の人間として強く生きていくという決意がうかがえ、ボクの成長を示している。



不況の波を受け勤務していたホテルをリストラされたベテラン従業員達。彼らは、再雇用先のリゾートホテルに向かうため船に乗って旅立った。再出発への希望と不安が交互に彼らを襲う中、船上では、再雇用を手配したホテルの後継者の結婚パーティーが華やかに行われる。そこへ、海を漂流していた難民が、すくい上げられる。言葉の通じない難民たちとのコミュニケーションに戸惑うリストラ組。彼らへの不安と先行きの不安が入り交じり極限に達した時、悲劇は起こった――。



さいたまゴールド・シアター

船上のピクニック

昨年5月に発足した55歳以上の俳優から成るさいたまゴールド・シアター。蜷川幸雄の指導の元に、二回にわたる中間公演を経てついに本公演を上演した。岩松了、渾身の書き下ろし、44名が登場する大群像劇。岩松が描く人間関係の見えない感情の揺れを、蜷川幸雄が細かく解説し、露わにしていた。

作・岩松了
演出・蜷川幸雄
出演・上杉正子、益田ゆかり、高橋聖子、美坂公子、田村裕子、小林博、加藤幸子、北澤正昭、小川龍也、宇垣玲、東条真津子、小沢光世、神尾美子、寺村謙子、田内子、大串三和子、滝澤多江、宮田代、林田恵子、百々夏輝、倉澤誠、遠山雄一、森下恵一、葛西弘大、神尾健輔、渡辺純一、杜澤充英、吉久留恵子、佐藤孝子、小林充子、中村絹江、中野富吉、宅嶋洋子、高田敬子、竹屋正武、西尾千、高田誠、中島榮、石川佳代、谷川美枝、森安恵、水橋敏子、渡邊吉奴、登壇者
6/22(7/1) 彩の国さいたま芸術劇場本ホール



――稽古を拝見していたら、ト書きに「スライドで20、30年代の写真が映る」と書かれた場面で、当初は、出演者の皆さんの子供時代の思い出写真を集めていたのが、戦後復興の様子写真に変更していただきました。岩松さんの意図もそこにあったのですか？

そこは演出にまかせようと思って書いていますね。船上での結婚パーティーのシーンは、劇中劇やダンスなどを盛り込んだ遊び部分でもあるんです。そこでスライドに映しだされる写真は、子供時代の写真でもいいけれど、戦後復興の日本の風景のほうが作品に沿っているかもしれないですね。ト書きで紡いでいる場面って、演出家に任せている部分なんです。自分が演出をやる場合も、あとで考えようと思って書くことが多いです。

自分が演出する場合と誰かに任せる場合では、戯曲の書き方は違いますか？

――何人かの出演者に実際に会って書いて書いた戯曲だと聞いていましたが、演出家に対する当て書きでもある？

そうともいえますね。蜷川さんの演出として書いた「シブヤから遠く離れて」(04年)での印象もあるし、蜷川さんとも戯曲を書くに当たって打ち合わせをしているから、ある程度は蜷川さんらしい方向に筋道が決まっているところはありますね。「シブヤ」の「廃墟」、「船上」の「船」っていうある種、どこにも帰属しない場所は、蜷川

さんだから浮かんだ場所です。基本的に人がどこに立つかっていう部分で、蜷川さんが受け入れてくれる場所とそうでない場所はあると思います。僕は、人が生活者として否応なくつづけてしまつた被いをおもしろがっているんだけど、蜷川さんは、被いを剥いで荒野に立つた人間に眼を向けている節がありますよね。たとえば「お茶の間」は蜷川さんには受け入れられないでしょう笑。

難民が出てきたり、70年代のよ号事件の話題が劇中出てきたりする部分も、蜷川さんが好みそうな社会と演劇の関係を意識してのことですか？

言ってみれば、リストラされて再雇用先に向かう船に乗っている人々も難民じゃないですか。この話は言ってみれば、難民と難民の闘い。難民とは「立ち往生している人達」と言い換えてもいいでしょう。よ号事件の話を持ち出して、他人事のように「あの人も大変よね」って社会批判をしているけど、自分たちも同じなんですよ。本人達に自覚がないだけで。

「スタビライザー」という船の横揺れを防ぐ装置が出てきますが、劇中ずっと人間の心情も不安に揺れています。船を取材してスタビライザーを知ったと伺いましたが、その時に物語の像が浮かんだのか、偶然に横揺れを防ぐ装置に出会ったのでしょうか？

たとえば「柔らかない」とかいうような言葉を想定して作品を書くことは時にはありますが、今回は特に考えていませんでした。

――リストラされたと思えば、再雇用先を提示してもらって、「善」憂している登場人物達が「あなたたちは事情に

「作家インタビュー」 蜷川幸雄と44人の俳優たちに当てた 壮大な戯曲の創作秘話。

スタビライザー って何？

――これは難民の物語です。

おどらされている」と言われます。この科白って、人間はたいてい自分の意志でなく事情で動いているっていう批判に思えます。

けれど、芝居をするわけですよ。この状況に対応した動きをしているってことです。人は他人に対してどう存在したらいかがを常に選んでいるわけですよ。それが「事情で動く」っていうことなんです。

――いまある話題が「激しく横行しているから」という科白もおもしろいんですが、55歳以上の方に、こういう若者言葉みたいな科白を話させることがおもしろいって。実際劇団員の方はふだん使わないような科白のリズムに戸惑っていたようですよ。後にゴールドシアター劇団員の間で流行語になったらしい。

戯曲を書いている時に、おそらく、劇団員の方は実年齢よりも精神年齢が若いだろうなと思ったんです。だから、たとえば、笠置衆のような淡々と老成した科白は言えないに違いないと、これは作戦でした、若い言葉を与えて、彼らを動かすと言う(笑)。

岩松了

いわまつりょう○劇作家、演出家、俳優。作家として岸田戯曲賞、紀伊國屋演劇賞個人賞、読売文学賞など多くの賞を受賞している。近年の舞台に「ワニを素手でつかまえる方法」「隣の男」「マテリアルママ」などがある。舞台だけでなく、テレビドラマ、映画などにも脚本を提供している。映画監督作も来年公開予定。

次回予定○シアター・ナイン「シェイクスピア・ソナタ」(作)8/30～9/26(丸)コ劇場○「死ぬまでの短い時間」(作・演出)12/4～30(○ベニサン・ピット、08/1/11)○シアター・ドラマシティ



構成・文・木保冬 撮影・宮川舞子(舞台) コスガデスガ(人物)

撮影所の中にある映画の学校

映画製作会社「日活」が運営する
映画・映像スクール

現場実習制度により、在学中から
プロの現場、オーディションに参加!

チャンスは
現場からつかむ!



演技科 ○○○○
観客から表現側へ
俳優・声優養成

映像科 ○○○○
観る側から創る側へ

体験入学実施中!
撮影所見学もあります!

9/15㊥ 9/30㊥ 10/14㊥ 10/28㊥

※平日であれば、いつでも見学できます。
お気軽にご連絡下さい。

地区説明会 大阪 10/13㊥ 名古屋 10/14㊥

2008年度生願書受付中!

資料請求・体験入学のお申込みは

日活芸術学院
NIKKATSU

Free Dial
0120-832-443

Eメール » school@nikkatsu.co.jp
携帯からメールで申込み » nk@am.md

www.nikkatsu.com/school/

〒182-0023
東京都調布市染地2-8-12
日活撮影所内

シバイのミカタでは読者の皆様からの投稿レポートを募集しております。面白い作品を観た感動を色んな人に伝えたい!と思っている演劇好きのアナタ、ご応募お待ちしております! 尚、投稿レポートを採用させて頂いた方には掲載誌を贈呈致します。

※投稿は、①公演名・劇団名、②レポートのタイトル、③レポート本文(200字以内)、④公演クレジット、⑤投稿者のお名前・住所・電話番号をご記入の上、封書またはメールにて受け付けております。本誌掲載の際にはこちらからご連絡を差し上げます。掲載に関するお問い合わせは応じかねますのでご了承下さいませ。

▶▶ 応募先
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F
街演劇ぶっく社 シバイのミカタ投稿レポート係
E-mail: info@enbu.co.jp



『Mrs Mr Japanese』

小指値



撮影○加藤和也

若い感性がきらめく

自由自在で、ポップでオシャレでパワフル。高校時代の同級生だった男女4人が渋谷で再会し、それぞれ社会人になったり結婚したりしている“現在”と高校時代とを行き来する……という大枠のストーリーはあるものの、芝居っぱい作りではない。突然人が踊り出したり、異世界ヘトリップしたり、家具になったり。他者とのコミュニケーションや自身のアイデンティティ、それらすべてをひくくめた“現代”というものを、研ぎ澄まされた感性で描いていると思った。こんな素敵な劇団もあるんだから、やっぱりいろいろ観ないとね、小劇場。(渡辺)

作○小指値 演出○北川龍一 ドラマクスター○篠田千明 出演○山崎結司 天野史朗 中林舞 野上桐代 大迫寺梨乃 NAGY OLGA 篠田千明
7/25〜30㊥王子小劇場
次回予定○小指値第6回番外公演横浜シリーズ「[get] an apple on weatside / R時のななし」バージョン 9/15〜17㊥STスポット、9/22㊥BankART Studio NYK/ギャラリーA HP: www.koyubichi.com

『my life as a punishment-game』

ゴキブリコンビナート



これぞ野外劇! 疲労も汗も心地よい

被差別部落民たちの、悲惨すぎて滑稽な闘争を、鉄パイプとビニールシートで組んだ野外舞台で、火や水や生ゴミ、そして二台のトラックまで出してダイナミックに見せる。発車するトラックに轢かれぬよう、観客たちは逃げ惑う。役者らによってグルグル動かされた小屋の一部が大きく開き、そこからトラックが勢いよく発進する。ラストではトラックがそのまま公園を走り、そこでクライマックスの乱闘シーンが行われた。なんて大胆。公演中に警察が来たりもしたらしく、そんなトラブルもゴキブリならではの。(渡辺)

作・演出・出演・美術・作曲○Dr.エクアドル 作曲○オマンサタバサ 病気マン 出演○小山涼 遠藤留奈 若人あき スガ死蔵 オマンサタバサ ボボジョ貴族 かめこのぶお 病気マン 油絵博士 本間幸子 ワッシャー木村 千鳥格子 スピロ平太(友情出演)
7/20〜22㊥木場公園

『犬目線/握り締めて』

tsumazuki no ishi



ツマヅキー一流の逆光群像劇!

公営住宅の薄暗い玄関ホール。小児性愛者の男は今日も耳を澄ます。大好きな女の子が吹く縦笛の音を求めて。恋の苦悩と喜びに身を焼かれながら……。tsumazuki no ishi が恋——一方通行の情を描いたらこうなった、という今作。前述の男だけでなく腐女子、親の介護を理由に働かない男など様々なタイプの痛い大人たちが入り乱れ、人の世の息(生き)苦しさとおかしみをみっちり描き出す。ツマヅキらしい、“棘”のような一本でした。(足立区/家持美良)

作○スエヒロケイスケ 演出○寺十吾 出演○原千晶 寺十吾 釈八千 宇鉄菊三 猫田直 日暮玩具 吉屋心標 松原正隆 太田晶子 鈴木雄一郎 岡野正一 松嶋亮太 中野麻衣 蒲公仁(個人企画集団キガマ発動期) 中村靖日
7/19〜23㊥下北沢サズナリ

『かもめ』

地点



破壊は再発見のためにある

劇場中央部に棧橋状のステージを設置し、観客は劇場の舞台上に設けた客席から俯瞰する形で芝居を観るという、変則的な形でチュー・ホフの名作を上演。この舞台と客席の位置が狂った空間が、奇妙なアクセントの台詞回しを多用する地点のスタイルを際立たせる。またそれは同時に、原作の持つ理不尽さと不条理感を引き立たせる役割をも果たしていた。劇空間と台詞を奔放に打ち壊したその舞台は、決して単なる破壊行為ではない。それは徹底的に壊しても、なお戯曲の中に強固にあり続ける“何か”を見いだすための、過激な再発見の作業なのだ。(吉永)

原作○アントン・チャーホフ 構成・演出○三浦基 出演○安部聡子 石田大 大庭裕介 窪田史恵 小林洋平 谷弘恵
8/4・5㊥びわ湖ホール 大ホール舞台上舞台
次回予定○地点 チュー・ホフ四大戯曲連続上演「桜の園」11/8〜18
㊥アドレ劇研

毎日毎日どこかの劇場で上演されているたくさんのお芝居たち。
全部観ることはもちろん不可能だけど、時間とお金の許す限り、
面白い芝居をたくさん観たい! このコーナーでは、
本誌編集部員&ライターが観た「面白かった!」芝居をご紹介します!

『はなとゆめ』

はなとゆめ



漫画チックな展開に、垣間見る娘ごころ。

“官能小説家”を育成するスクール(寄宿舎制)の女学生たちはそれぞれにはにかみ屋さんで、自己主張も個性的だ。小さな争いが絶えない。それに輪をかけて、佐伯さち子や森田ガンツ演じる。ギャグ漫画ですら降参の先生たちでは火に油だ。似合わないはずの制服が似合う年齢期の女優(一人は男優)たちに象徴されるパロディクスに、小さな場所から発信する、スクールの大きな世界観が合う、若き作家の豊かな妄想世界を楽しんだ。(坂口)

作・演出○津久井亜以 出演○吉原朱美 丹野晶子 佐伯さち子 吉田麻生 工藤史子 馬場悠理子 福屋吉史 下尾里美 樋口洋志 森田ガンツ
6/29〜7/1㊥阿佐ヶ谷アートスペース・ブロッ

『たいくつな女の日』

蜻蛉玉



撮影○星野麻美

螺旋に乗って、ゆらゆらゆらめく

ブーク人形劇場にて行われた今公演。劇場が持つ、小学校の体育館みたいな独特の雰囲気、そのまま劇中に反映されています。螺旋階段を登るもよし、降りるもよし、ここではない“場所”を求めて、感情的に上往下往するヒトビ。出てくるキャラは、みんなちょっと魅力的で、ちょっと何かが欠けていて……。童話のように幻想的にゆらめく、この不思議オーラは気持ちいいです。想像するのって楽しいし、チクリって刺さるのも楽しい。子供っぽい楽しみだらうけど、オッサンになっても夢中になれます、これ。(園田)

作・演出・出演○島林愛 出演○打田智春 神林裕美 北村延子 安村典久 伊藤幸子 熊堂御堂彰 坂本純 シママモル 墨井幹子 武田力
7/13〜17㊥ブーク人形劇場
次回予定○08年冬 オーディションワークショップ開催

『小泊の長い夏』

渡辺源四郎商店



撮影○田中流

この味が好き

地球温暖化が進んだ未来。とある神社で司宮を務める父親(80歳)の元に、30年ぶりに現れた息子(48歳)。ある思惑のため最後の親孝行をしようと、息子は赤の他人に妻役や孫役を演じてもらい、偽りの“家族団聚の一日”をプロデュースする……。古典落語が現代でも通用するのが「人間を描いているから」ならば、この物語はとても“落語的”だと思います。世相、笑い、親子の情……。この“人間味”は、落語の味わいに非常に近いなあと。今作が未来を描いた物語というコトも踏まえて、ヒトってそんな変わらないものですね。(園田)

作・演出○相澤聖悟 出演○森内美由紀(青年団) 工藤由佳子 佐藤誠(青年団) 高坂明生 室幸由介 工藤静香(劇団夢遊病社) 富崎昭司(劇団雪の会) 藤本美月 三上晴佳 山上由美子 ささきまこと
6/22〜24・6/29〜7/2㊥アドレ1007、7/12〜16㊥サズナリ
次回予定○渡辺源四郎商店共催 青年団プロジェクト公演「闇にいても一人-青森編-」11/16〜18㊥男女共同参加プラザ AN多機能ホール

『歌姫』

東京セレソNDX



撮影○齋木恵太

ただのノスタルジーではない懐古

パンフにも書かれていたが「今やバタバタな昭和30年代」の話で、場所は土佐の古びた映画館とくれば、もろノスタルジー狙い? と思いきや、さすがは「花より男子」のシナリオなどで売れっ子の作者。時代背景やモラル、生活感などを巧みに織り込みつつ、1組の男女のままだらない恋を、鮮やかに浮かび上がらせる。終盤、記憶喪失から甦った主人公と、それに向き合う周囲の人のびとの複雑な想い、そのほろ苦さと優しさに思わず涙。(柊原)

作・演出○サタケミキオ 出演○山間孝行 村川絵梨 宮前利成 阿南敦子 吉成浩一 関香レア 他
7/11〜8/5㊥シアターサンモール
次回予定○タイトル未定 12/26〜31㊥中野ザ・ポケット

シバイのミカタ

『ヒトガタ』

グリング



撮影○鎌田伸幸

醸し出される空気的美しさ

弟の自殺以来、父親を憎み続けていた息子が、祖母の通夜のため帰ってくる。久々に父と再会し、ボツリボツリと言葉を交わすうち、過去の出来事の真相が明らかになり、徐々に息子のわだかまりが溶けていく。その過程を、登場人物たちの会話だけで、繊細に繊細に紡ぐ。様々な背景を持つ登場人物一人一人がとても愛おしく、醸し出される空気が美しい。息子が自分に子供ができたことを父に告げるラストシーンは、さりげないかに親子の情愛を滲ませた。(渡辺)

作・演出○青木豪 出演○中野英樹 弘中麻紀(ラッパ屋) 杉山文雄 萩原利映 高橋理恵子(演劇集団 円) 石井英明(演劇集団 円) 遠藤隆太 辻親八 井出みな子(演劇集団 円) 歌川稚子
6/6〜18㊥THEATER/TOPS
次回予定○グリング「Get Back! (仮)」11/28〜12/9㊥下北沢サズナリ

『おやすみ、枇杷の木』

青年団リンク 青☆組



キミの体温を感じつつ

子供の頃に父親を亡くした三姉妹、そして亡くした母。父との思い出に包まれたこの家で過ごす時間は、気心の知れた空間を上手にシェア出来る。そんな心地よい“日常”だったのだが……。優しい人が優しい視点で日々を観測すると、こんなに温もりのある風景が生まれるんだなあとしみじみしました。隣りの人の体温に触れるような安らぎとドキドキを感じつつ、この家族の生き様に立ちあつた気分。昔「人は悲しみが多いほど人には優しく出来るのだから」と武田鉄矢は歌っていたけれど、それを信じる瞬間が皆無なら、人生はちょっと長過ぎますもの。(園田)

作・演出○吉田小夏 出演○足立誠 天明理子 高橋智子 熊谷祐子 二反田幸平 山口ゆかり 羽場睦子
7/10〜16㊥アドレ青春風車
次回予定○青☆組「うちのだりあ」の暖い日」10/4・5〜13㊥こまばアプロ劇場

演劇を読もう！！
気軽に読めるエンタテインメントな現代戯曲シリーズ

ヨムゲキ100

超有名作からコアな作品まで続々刊行中の「ヨムゲキ100」。
あなたのお気に入りが見つかります。

松尾スズキ、初期作品12冊発売中！

- 001●手塚治虫の生涯
- 002●マイアミにかかる月
- 003●嫌な子供
- 004●ゲームの達人
- 005●猿ヲ放ツ
- 006●溶解口ケンロール
(神のようにだまして:併録)
- 007●冬の皮
- 008●SEX KINGDOM
- 009●鼻と小箱 (洞海湾:併録)
- 010●嘘は罪
- 011●ちょん切りたい
- 012●生きてるし死んでるし



劇団☆新感線の興奮をもう一度！

中島かずき戯曲集

- 003●ヒデマロV (完結編)
- 004●星の忍者
- 005●炎のハイバーステップ
- 006●夢みる無法者
- 007●西遊記1
- 008●西遊記2
- 009●宇宙防衛軍ヒデマロ3



青年団の名作を戯曲で！

平田オリザ戯曲

- 002●カガクするココロ
- 003●北限の猿
- 004●バルカン動物園
- 005●冒険王



宮藤官九郎、●●●4冊発売中！

- 001●ナオミの夢
- 002●ずぶぬれの女
- 003●NICKY IS SEX HUNTER
- 004●ウーマンリブ発射！



●●●好評発売中!!

中島らも

- 001●X線の午後
- 002●セメントラヴァーズ
- 003●レディモルフェウス

西島明

- 001●御大切 ～夏は台所がなつかしい～
- 002●マはマルケスのマ
- 003●オトメチック ルネッサンス

石原美か子

- 001●うちに来るって本気ですか？

ブルースカイ

- 001●MY LITTLE MOLERS

村上大樹

- 001●DX寿姫

etc...

- 購入方法
◎主要大型書店
紀伊國屋書店新宿店・梅田店/リプロ池袋店/
バルコブックセンター渋谷店/他
◎「楽天shop」演劇と映画の本屋さん
<http://www.rakuten.co.jp/enbu/>
■価格:すべて1,000円+消費税50円
■問い合わせ:演劇ぶっく社 (03-5282-1342)

チケットプレゼントを希望される方は巻末ハガキに必要事項を記入の上ご応募下さい。①公演の締切は9/15、②③④公演の締切は9/25、⑤⑥公演の締切は10/10(全日とも消印有効)です。チケットプレゼントは、プレゼント広場に掲載されているプレゼントと併せての応募も可能です。シバイとの出会いは一ヶ月。ぜひとも劇場に足を運んでみて下さい！尚、発表は当選チケットの発送をもってかえさせていただきます。ご応募お待ちしております！



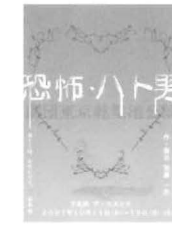
シバイはきっかけがないと
つい観るタイミングを逃しがちになるもの。
「観に行きたいなあ」と思いながらも、
気がついたら公演日を過ぎていた……。
演劇好きのあなたなら1度はこういう経験ありますよね。
そこで「シバイのミカタ」では、その“きっかけ”をご提供！
前から興味のあったあの劇団の公演、
面白いと評判のこの劇団の公演などなど、
色んな公演のチケットをどんと一気にプレゼントします！

シバイのミカタ

チケプレ情報

10/11～15◎下北沢 ザ・スズナリ
作・演出◇加藤一浩 出演◇伊東潤 岡部尚 工藤和馬 嶋田健太 立石智一 田中洋之助 血野滉修 戸辺俊介 西本竜樹 深水俊一郎 牧田侑士 圓若創 山本彦次郎 山地健仁

〈料金〉前売◇¥3000 当日◇¥3500
(全席指定) ハットリックチケット◇
3枚で¥8100(劇団HPでの予約のみ)
(チケット取り扱い) チケットぴあ/ザ・スズナリ/劇団HP
(お問い合わせ)
劇団東京乾電池 080-5455-5687
<http://www.tokyo-kandenchi.com/>



柄本明
(劇団東京乾電池/座長)

カトーは、オモシロイ。

チケプレ情報

10/12(金)19:00、
10/14(日)19:00
各回2名様

4 劇団東京乾電池 『恐怖ハト男』

9/20～24◎赤坂RED/THEATER
原作◇J.M.シング作『西の国のプレイボーイ』 誤訳・演出◇中野成樹
出演◇村上聡一 福田毅 野島真理 石橋志保(以上フランケンズ) ゴウタケヒロ(P00L-5) 松崎史也(エレキ隊) 藤達成 竹田英司 大澤夏美 斎藤淳子
9/20=19:30、9/21=19:30★、9/22=23:14:00/18:00★、9/24=14:00
★ポスト・パフォーマンストークあり。

〈料金〉前売◇¥3500 当日◇¥3800
(全席指定) (チケット取り扱い)コ・フランケンズ TEL:03-3879-8879/
E-mail:ticket@frankens.jp
電子チケットぴあ TEL:0570-02-9999(Pコード:379-172) (お問い合わせ)コ・フランケンズ 03-3879-8879

チケプレ情報

9/23(日)=18:00、9/24(月・祝)
各回2名様



前公演「暖かい氷河期」
撮影◇Kenji IIDA

comment
中野成樹
(中野成樹+フランケンズ/
主宰・演出家)
J・M・シングという作家がいます。
戯曲は6つくらいしか書いてない
んですけど、全部とても素敵で。
100年前のアイランドの人で、
詩的で、寓話的で、でも現実的
で。二種類くらい戯曲集が出てま
すので、読書好きの方は是非。で、
芝居好きの方は、中野成樹+フ
ランケンズへ。きっちり「演劇」を
おみせしたいと思っています。

1 中野成樹+フランケンズ 『遊び半分』

10/17～28◎新宿THEATER/TOPS
作・演出◇飯島早苗
出演◇樋渡真司 岡田正 太田志津香(文学座) 鹿野良太 瀧川英次(七里が浜オールスターズ)
10/17～19=22:24～26=19:00、10/20=27:14:00/19:00、10/21=28=14:00、10/23=休演
※開場は開演30分前、当日券は開演1時間前より発売

〈料金〉オープニング料金◇¥3000
(10/17～19) 通常料金◇¥3800
(10/20～28)
(お問い合わせ)自転車キンクリーツカンパニー 03-5489-4434
<http://www.jitekin.com/>



comment
飯島早苗
(自転車キンクリーツ/脚本家)

舞台は草野球グラウンドの三塁側ベンチ。朝起きたら妻がいなくなった監督、野球と父が大嫌いなその息子、仕事より恋なOL、ボールを投げたことない野球オタク、自称プロ草野球選手。フルカウントでツアアウトな奴らは私です。

チケプレ情報

10/20(土)19:00、
10/22(月)19:00
各回2名様

5 自転車キンクリーツSTORE 『ツアアウト』

10/4～7◎紀伊國屋サザンシアター
作・演出◇西森英行 出演◇狩野和馬 倉方規安 坂根泰士 日高勝郎 足立由夏 四十八願智子 黒川深雪 三浦知之 間野健介 八数勝 ころのゆか 中井出健(AUN) 久野一洋(劇がく杜の会)ほか
10/4=5=19:00、10/6=14:00/19:00、10/7=13:30/18:00

〈料金〉(前売・当日)一般◇¥3500
ペア(前売のみ)◇¥6400 大学・専門学生◇¥2000 中・高校生◇¥1000
(お問い合わせ)
InnocentSphere 090-0801-0715
info@innocentsphere.com
<http://www.innocentsphere.com>

チケプレ情報

各公演(全6回)10名様



comment
西森英行
(InnocentSphere/作家・演出家)
今年で10周年を迎える
InnocentSphereの新作は、記念公演にふさわしい壮大なスケールで描く歴史劇です。メディア論、少年犯罪など社会的なテーマを追求してきた僕たちが今挑戦するのは「歴史VS人間」。エネルギー溢れる重厚な物語を是非体感して下さい。

2 InnocentSphere 10周年記念公演 『獅子吼〜シン・ハナダ〜』

11/2～11◎紀伊國屋サザンシアター
作◇マキノノゾミ 演出◇西川信廣
出演◇加藤武 たかお鷹 浅野雅博 城全能成 星智也 寺田路恵 富沢亜古 松山愛佳

〈料金〉一般◇¥5500 ユースチケット(25歳以下)◇¥3800 中・高校生◇¥2500 (チケット取り扱い)
文学座チケット専用 0120-481-034 (10:00～17:30)/電子チケットぴあ 0570-02-9988/キノチケットカウンター 紀伊國屋書店新宿本店5F(店頭販売のみ10:00～18:30)
(お問い合わせ)文学座 03-3351-7265
<http://www.bungakuza.com>



07年5月公演「ぬけがら」
撮影◇飯田研紀

comment
伊藤正道
(文学座/制作)

創立70年を迎えた文学座が、マキノノゾミの作品に初めて取り組みます。新作書き下ろし作品「殿様と私」。ミュージカル『王様と私』のように、激しい踊りや歌はありませんが、どうぞ、緊密度あふれるセリフのやりとりと、笑いにご期待下さい。

チケプレ情報

11/2(金)18:30、
11/5(月)18:30 各回2名様

6 文学座本公演創立70周年記念 『殿様と私』

10/4～8◎王子小劇場
脚本・演出◇富田泰史 出演◇畑雅之 林弥生 佐々木保 脇坂圭一郎 青木宏幸 しよな 仁志園泰博 志水裕子 井上幸太郎 江原大介 他
10/4=5=19:00、10/6=7=14:00/19:00、10/8=13:00/18:00

〈料金〉前売◇¥2500 当日◇¥2800 学生◇¥1800(前売・当日共・当日要学生証)
(お問い合わせ)
ジョーロ 03-5453-2281
info@jorro.net
<http://www.jorro.net/>

チケプレ情報

10/4(木)19:00、
10/5(金)19:00
各回4名様



前公演「トライアウト」
撮影◇曳野若菜

comment
富田泰史
(jorro/作家・演出家)
今回はストーリーや決められた言葉ではなく「状況」で進行していくミステリーです。台本にはセリフがありません。役者の自由なアイデア、即興性が活かされる舞台です。どうぞ、ご期待ください。

3 jorro 『Mirror』

高校生ブロガー・ 藤田一樹が突撃！ タニノクロウ演出の 『野鴨』に迫る！

イプセンの名作『野鴨』に、庭劇団ペニノのタニノクロウが挑む。
出演は石田えり、手塚とおるをはじめとした豪華キャスト。
庭劇団ペニノで毎回独特な空間を作り上げてきたタニノは、
客席が100席しかないシアター1010のミニシアターに、
一体どんな世界を立ち上げるのか――。

今回、この小劇場界の超話題作取材するにあたって、タニノからインタビューの指名が。白羽の矢が立ったのは、弱冠16歳にして小劇場系から商業演劇、舞踏、オペラなど幅広いジャンルの舞台を観続け、自身のブログに丁寧な観劇レポートを書き続けている藤田樹。当日は出演者の手塚とおるも参加し、タニノと手塚の対談を藤田が仕切る形に。ハードルが高いですよ……」と幾分不安だった藤田だが、始まってみると、高校生とは思えぬほど落ち着いた様子で、鋭い質問を二人に投げかけた――。

藤田 今回、タニノさんは『野鴨』の上演台本も手がけられるそうですが、場合によっては原作を多少変えたりするんですか？
タニノ 原作の話の流れや人物設定は変えず

に、もっとシンプルにしようと思っています。向こうの風習をもとに書かれたような部分や、イプセンの子供の頃のゴシップとかはカットして。そうやってシンプルにしていけないと、肝心な部分が見えてこないと思うので。
手塚 僕は今回のお話をいただいて、初めて『野鴨』を読んだんですが、面白いことは面白いけど、これをどういうふうにするんだろうなと思いましたが。時代も随分前に書かれたものだから、それを今やるんだたら、ちゃんと今やる意味がないといけないし。僕もほかで演出をしたりしてですけど、今回は僕じゃなくてよかったと思いますね(笑)。
藤田 手塚さんは『野鴨』のどのあたりが魅力だと思いますか？
手塚 イプセンの「人形の家や『民衆の敵』を読んだときは、リアリズムとはちょっと違うことを書いている作家なのかなと思ってたんです。



藤田一樹

ふじたかずき○91年生まれ、神奈川県出身。
ウェブログ「藤田一樹の観劇レポート」で幅広いジャンルの芝居を取り上げている。06年は学業の合間をぬって151本を観劇。
<http://white.ap.teacup.com/kazudon/>

『野鴨』

11/1～30◎シアター1010 ミニシアター
演出・上演台本◇タニノクロウ
作◇ヘンリック・イプセン
出演◇石田えり 高沙巴 手塚とおる 保村大和 石橋正次 藤井びん
マ×山田 鎌田沙由美 津嘉山正種
お問い合わせ:総メジャーリーグ 03-5949-4690 (TEL/FAX)
E-mail:ticket-info@majorleague.co.jp

も『野鴨』を読んだら、さらに抽象的な感じで見えてくる。登場人物たちを書くというより、現象を書いているという。話としてはすごくシリアスで悲劇的ではあるんですが、悲劇的な人間を客観視すると非常に喜劇的に見えたりもするので、舞台でもそういう悲劇の喜劇みたいな部分がちやうと出るといいかなと思っています。
藤田 ペニノはいつも美術も見所のひとつですが、今回はどんな空間を見せようかと？
タニノ やっぱり生々しく生活が見える感じで見たいとは思っています。役者たちが舞台上で生活してもらいたい。実は、前回公演『笑顔の若』が、わりと今回のベースになっているところがあつて、しかも今回は一ヶ月のロングラン公演ですから、本番に入ってから、より密度の高いものに変わっていくと思いますね。
藤田 だいぶ構想は固まっていますか？

手塚とおる

てつかとおる○62年生まれ。86年に劇団健康に参加し、92年の解散まで全作品に出演。93年にシリーズワークプロデュース『お茶と同情』で作・演出に初挑戦した。以降、ナイロン100℃、NODA-MAP、大人計画、劇団☆新感線、横光野など、多数の舞台に出演するほか、映画やテレビドラマでも活躍している。



タニノ 固まってきたてはいるんですけど、ルービックキューブみたいな感じで、一面ができたらその隣りの一面が崩れていくというふうな……。ちやうど何が起るかかわからないですね(笑)。
藤田 手塚さんは今回のプロダクションにどんな期待を寄せていますか？
手塚 いやもう、期待だらけですよ。僕は稽古場で作っていくことが本台に楽しいので、なにも考えないでとりあえず稽古をやってみて、という感じですね。共演者の方の年齢層も幅広いですし、みんなが集まってきたという化学反応が起こるの、楽しみです。まるで新学期に学校に行くみたいな気分。新しいクラスメートのなかで、自分とどんなポジションになるのかなとか(笑)。あとはやっぱりタニノさんという、今まで一緒にしたことのない若い方と一緒にやるのが、すごく楽しみです。

タニノさんから逆に藤田さんに聞きたいことはありますか？
タニノ 藤田さんのブログを読んで、すごく作り手に対する尊敬が感じられる書き方をして

いる方だと思って。それで野平(庭劇団ペニノのプロデューサー)に藤田さんの話をしたら、「藤田さんって中学生だよ」って言われて、すごくびっくりして。ぜひお会いしたいなと思ってたんです。中学生の頃からあんなペースで観てるんですか？
藤田 今のペースで観るようになったのはここ2、3年くらいです。最初はちゃんと偏りがあつたんですが、タニノさんの作品をはじめとするいろいろな芝居に触れ、どんどん視野が広がっていったという。タニノさんの作品は、演劇というものの枠を超えた独特の世界観があつて、今、かなりわかりやすい演劇がすごくたくさんありますけど、逆にわからないけど面白い……という作品は少ないですね。

手塚 今あるわかりやすい演劇って、テレビ的というのか、「こういうものですよ」と導かれるものですかね。
藤田 そうですね。でもタニノさんの作品は、人によって解釈が変わってくるような面白さがあつて。正解のない感情のようなものが、具体的

タニノクロウ

たにのくろう○76年生まれ、富山県出身。00年に庭劇団ペニノを旗揚げ。以降全作品の作・演出を手がける。その独特の空間作りには定評がある。04年には「Mrs.P.P.Overeem 中国語バージョン」で台湾の小劇場フェスティバルに参加した。



に舞台で表現されているんじゃないかな。作品によってアプローチの仕方が全然違うのに、タニノさんの世界観は確立されていて、そのなかでどんどん飛躍していくのがすごいなと思います。
タニノ ありがとうございます。僕は普段、芝居に関わっているとき以外はほかの仕事をしているので、こつやつて外からなにかを言ってもらえないと、芝居の感覚を忘れてしまつところがあつて。だから、今後も参考にさせていただきます。

インタビュが終わると、この後稽古があるという手塚とともに、タニノも部屋を出て行った。藤田とともに取材場所のビルを出た我々を待ち構えていたかのように、タニノがバイクに跨ってやって来た。「僕はたいして忙しくないのに、なんか忙しい人みたい先に「出ちゃって」と照れたように笑いながら「藤田さん、せっかくですからお茶でも行きましょう」と。どうやらまだまだ話し足りなかつたよう……。炎天下の街に二人は消えて行った。

さよなら ベターポーズ

14年前の8月末、季節はずれの台風が一過した翌日、荻窪にあるアールコリンという小劇場で『御大切～夏は台所がなつかしい』というベターポーズの旗揚げ公演をみた。えっ、笑っていいの？ へた？ わざと？ お、お洒落？ ポジティブでメランコリックな作品がそこにあった。「癒し」が恥ずかしく、垢まみれになる、以前から。わたしはベターポーズに癒され続けてきた。

旅で見聞を広めようと美容師見習い3人が行き着いた所は東方見聞録。そこではなぜか美容師試験に落ちた女(渡辺)がバリエーションを売るアルバイトをしていた。



美容師見習いの働く店に学生服のやまと称する男たちが来店してきた。真ん中の男が読む雑誌は、女性自身ならぬ男性自身で、女たちはその内容が気に入っている。

ベターポーズ最終公演『4人の美容師見習い』

作・演出◇西島明
8/7～12◎下北沢OFF・OFFシアター

みんなはけっこう泣いてました。

ベターポーズ解散公演が終わったばかりですが、気分は。

うちの女僕が泣きましてね。山崎(和知)くんも。猿飛(佐助)くんもけっこううるんでたらしくて。僕だけ泣かなかったです。

公演中ですか？

最後のカーテンコールで。びっくりしましたね、まさかそんなに泣くとは思ってなかったんで。阿部(光代)さんとか松浦(和香子)さんとかね。けっこう泣いててね。やってよかったなと思いました。

どうして主宰者は泣かないんですか？

なんででしょうね。最後に靴がちよつとね、それどころじゃなくなってたもので。その前に暗転後に出るシーンがあつて、男性はみんな黒い靴を履いてたんですけど、ぼくが右左を間違えて履いて、最後に「ありがとうございました」ってお辞儀をしたときに気がついたんです。左は佐



西島明

にしじまあきら◇65年生まれ、静岡県出身。作家、演出家、俳優。早大在学中に作ったプロデュースユニットを母体に、93年、劇団「ベターポーズ」を旗揚げ。ベターポーズとはよりよい「間(pause)」と「格好(pose)」の意。シンプルにみえて、複雑で豊かな感情を表現する独自のスタイルで、エレガントに観客の心をくすぐり続ける。

泣くどころじゃなかった(笑)。

ベターポーズ14年分の想いをあのダンスに込めて……？

ベターポーズには95年、5回目の公演から参加していますが、入ってみていかがでしたか。その「特性のない男の編物」という公演で自分に合ってる役をもらったんです。タオル地の服を着て、風来坊みたいな感じの役で、すごく楽しかったですね。西島さんからヘンテコリンな演出を受けたりして(笑)。

それからはずっと中心を担う役柄をやってきて、今回解散ということですが。

稽古が始まる前にミーティングをする機会があつて、そのときに西島さんが今回を解散公演にしようと思うと。前日まで迷っていたらしいですけど。ビックリしましたね。みんなも驚いてました。

稽古中になにか変わりましたか？

稽古はいつもと変わらない感じでしたけど、久しぶりで楽しかったかもしれない。公演の話。前半と後半で話が少し変わりますが、後半、猿飛さんは美容師を妻に持つ旅好きの旦那さんの役ですね。どうして旅に出たがるんですか。

ハハ(笑)。それは理由はないと思いますよ。そういう人なんだと思います。旦那さんが最後にダンスを踊るシーンがあまりにもかよかったのです。最初からダンスをやると決まっていた、どこに入るんだらうなとは思ってたんですが、台本が



愛する妻に思いを込めて、アップテンボの「みちのく一人旅」のような曲にのって、赤い丸テーブルの上で踊る猿飛佐助。ジョルジュ・ダンも真っ青な、出色のダンスシーン。バックダンサーの真剣で細やかなポーズが紹介できないのが残念！

全部できた時点でこれがクライマックスなんだというのに気づいたんです。

あのダンスシーンは独立して練習していたんですか。

そうですね。だからあまり考えずに練習してましたね。

とても気迫を感じました、さよなら公演だと思っただけに素敵なシーンに思えたんですが。

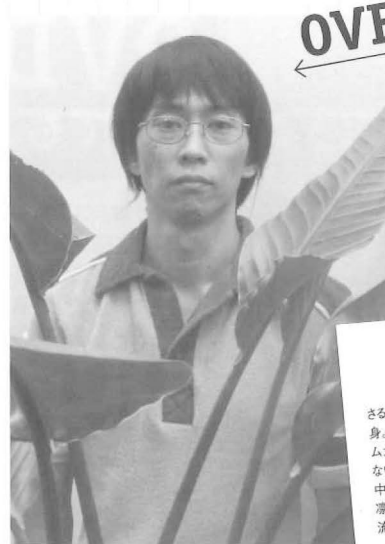
話の流れからいくと、妻のことを想っている感じの踊りなんですよ。それは練習するときからその設定はあったんですか。

それともなかったですね。練習中は、ガタガタする卓袱台から落ちないことばかり考えてました。結局台本ができた後ぐらいかな。西島さんが「チラッ」と言ったのが、自分のために踊るといふより、妻のことを考えて踊る、ということだったんです(笑)。それが言われてないんですけど。



終演後、舞台挨拶をするベターポーズの劇団員。主宰、西島明のトークをそれぞれに心配する様子が微笑ましい(左から吉原朱美、松浦和香子、渡辺道子、阿部光代、猿飛佐助、西島明、山崎和知)。

OVER THE RAINBOW



猿飛佐助

さるとびさすけ◇永禄9年(1566)生まれ、甲賀出身。俳優。早大在学中は演劇倶楽部で活動。力身のムカミミニキナなどにも出演。95年「特性のない編み物」より「ベターポーズ」に参加。以降中心俳優として活躍。シンプルなダンディズムで凛々しい世界を構築する。趣味はらくがきと自己流タップダンスとのこと。

それは唐突に始まった。喫茶店をやっていたはずの男(猿飛佐助)がいつのまにか髪結いの亭主になり、哲学的に？ 旅をしている。が、ある時、美容師の妻から愛情表現を求められいきなり上半身裸で踊り出した(もちろん芝居の話ですよ)。それも赤い丸い卓袱台の上で。曲はアップテンボの「みちのく一人旅」。この始まりは「ボレロ」のパロディーだったかもしれないが、この公演で終焉を向かえるクライマックスと重なって、佐助のダンスはその試みを越え、はるか彼方虹の向こうへと飛んでいった。と思ったのだが……。

明日の夢、応援したい。

歌う。奏でる。演じる。表現することで人々に感動を与える。sarahは、そんな創造性豊かな才能を応援し、活動支援のための助成公募を受け付けています。



平成20年度 助成公募のお知らせ

【音楽・芸能文化活動への支援】

【対象事業】

1. 音楽・芸能創造活動
 - ① 新しい可能性を提案する独創的な創作又は企画を含んでいる公演であって、その鑑賞を奨励することが、広く音楽・芸能の振興、普及および愛好者の増大に寄与するものと認められるもの
 - ② 今後、活躍が期待される若手のアーティストを育成するものと認められる公演

2. 音楽・芸能創造環境整備活動

音楽・芸能分野の講演会、シンポジウム、セミナーなどの音楽・芸能文化の創造を支える環境整備に寄与すると認められるもの
*なお、既に前年度、前々年度と2年連続して助成を受けている事業は除く

【応募資格】

1. 営利を目的としない公益法人(民法34条の規定により設立された法人)
2. 任意団体にあっては、規約、会則等があり、意志の決定および会計処理のための組織を有しているもの

【活動対象期間】

平成20年4月1日から平成21年3月31日までに実施されるもの

【応募日程】

1. 提出期限：平成19年11月16日(当日消印有効)
2. 結果通知：平成20年1月下旬

【助成金額】

一事業あたりの助成金額：100万円以内

本件に関する詳しい資料については、200円切手を同封のうえ、この公募を何によってお知りになったのかを明記(用紙は自由)し、下記の当協会事務局へご請求下さい。なお、ホームページで応募要項をご覧になることも可能です。
URL: <http://www.sarah.or.jp>
*ホームページおよびEメールでの応募は受け付けておりませんのでご注意ください。

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-8-14
麹町YKビル2階
社団法人 私的録音補償金管理協会 事務局
TEL (03) 3261-3444 (代) / FAX (03) 3261-3447

(社)私的録音補償金管理協会
sarah

レポファン 何でも研究

キ、キ、キ、客が少な〜い♪ のは、今だけ!? 脱力系ミュージカルの雄 自己批判ショーの逆襲!

自己批判ショー。……断っておきますが、これは劇団名です!
難解で観念的なイメージがある名前ですが……大丈夫、基本彼らはおバカな集団。元々はナンセンスコメディを基盤とした作風でしたが、近年に上演した作品は「ミュージカル+コント」という構成に!これが予想外に(?)本格的で、お世辞抜きにカッコイイのです。生演奏で歌われる劇中歌は、キャッチーなメロディ・アイロニカルな歌詞・ユーモアに浸したメッセージ性と、サブカル好きには涙モノの名曲揃い。ダメであることを自ら体現し、それを肯定して突き進む自己批判ショー。今、知っておかないと損ですよ!!

リーダー 栗原崇浩に聞く!

消去法で決めたんです

自己批判ショーを結成したのは95年です。この名前、実は消去法で決めたんですよ。他のひどすぎる候補を消していって、残ったのがコレで。他の候補がどれだけひどかったかって話ですが。意味とは無関係に、言葉の響きのみで選んだ感じでした。あのダンス(注:開演前、もしくは終演時に披露される振り)。「自己批判ショーのテーマ」という、恐ろしくヘナヘナかつキャッチーな曲に合わせて、メンバーが歌い踊る。歌詞は「自己批判ショー キ、キ、キ、客が少ない」を繰り返し、一度耳についたら呪いの如く耳にこびりつく。ちなみに右上図の振りが(それ)は10年くらい前からあります。その頃、劇の終わり方に迷って、「そうだ、歌で終わりにしよう!」と。その後、お風呂に入りながら鼻歌を駆使し、10分で作りました。

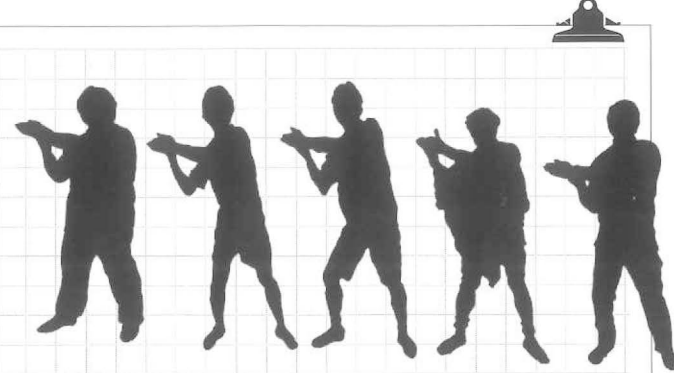
演劇ってミュージカルなんだ!

自己批判ショーのキーワードは……うーん……強いて言えば“軽演劇の現代化”でしょうか。始めた当初は“モンティパイソンやドリフを経由した軽演劇”を目指してたん

ですけど、演劇の勉強をしていくうちに「演劇とはイコール・ミュージカルだ」という答えに辿り着いたんです。昔のアチャラカ喜劇なんかもミュージカル要素が強かったようだし、やっぱりミュージカルに取り組まなきゃ!ってことになったんですよ。それで、実は僕、一度ニューヨークに行ってるんですけど、……いや、勉強というか、知り合いに誘われまして……。え、期間ですか? 1週間です。ええ、旅行ですね。単なる。それで本場のミュージカルを観て、「やっぱ演劇ってミュージカルなんだ!」って感動して。要是……感化されちゃったんですね。それで、たまたまうちは曲が書けるメンバーがいたので、彼が作曲を担当し初めて作ったオリジナルミュージカルが「KOGA・MAP」(06年2月)です。でも、ミュージカルと笑いを融合させるのは結構難しく、その辺はまだまだ試行錯誤しています。

ダメだったりバカだったりすることで

僕ら、どう見てもモテなさそうじゃないですか。実際、全然モテないんですけど。でも、演劇でモテても仕方ないっていう意識があって、モテたくて中途半端な活動をするくらいなら、徹底してバカなことがやりたいなと思ったんです。ダメだったりバカだったりすることで、世の中を



表現していきたいんですよ。でも、お客さんは何故か女性の方が多んですよ。自己批判ショーを観に来てくれる女性のお客さんは菩薩です、菩薩。ホント、選ばれし民ですよ。

自己批判ショーは……お客さん、実際少ないですよ。それは事実です。でも、僕に言わせると、むしろよそが多すぎるんですよ。だから「僕らがスタンダードです!」と、僕らの舞台を観に来てくれるお客さんって、リピーターの方が多んですよ。好きな方はどんなことがあっても観に来てくれたりして……嬉しい限りですよ。たまに放送業界の方が観に来て下さって、面白がってくれたりもするんですが、お仕事の話を頂いたことはないですね。まあ、僕らって、使いにくいタイプではありますけど。劇場関係者の方も、よく「うちでやりなよ」って声をかけて下さるんですが、いかせん僕らが……何せ動員が少ないんで。逆に僕は、どうしてもお客さんが増えるかをお聞きしたいくらいです(笑)。

栗原崇浩



くりはらたかひろ○72年生まれ、茨城県古河市出身。自己批判ショーリーダー。95年に自己批判ショーを旗揚げし、以降全作品の作・演出・出演を担う。06年「KOGA・MAP」より「ミュージカル色の強いナンセンスコメディ」という独自の方向性を見出し、これまでに三作品を上演。観る者を「脱力させつつ笑わせる」そのセンスは、一部の人々に熱狂的に受け入れられている。

自己批判ショー・メンバーによる

“俺のモテ自慢”大公開!

メンバー紹介も兼ねて、自己批判ショーの皆さんに“モテ自慢”をお聞きました。やっぱり俳優って……もてるものですか??

Q.1 名前[担当楽器] Q.2 自己批判ショーに入ったきっかけ Q.3 自己批判ショーをやっている、最も“もてた”瞬間は? Q.4 自己批判ショーをやっている、最も“もてなかった”瞬間は?

Q.1 紺野秀行 [ドラム]
Q.2 もともとファンでした。
Q.3 ……もてたいです。
Q.4 最近よく“嫌い”と言われます。

Q.1 大久保宏章 [キーボード]
Q.2 高校生の頃に初めて自己批判ショーを見て、あまりの面白さにびくびくして入ってしまった。Q.3 制作をやった時はよく女性から電話がかかってきました。あんなことは、今まで生きてきて初めての出来事でした。いやー、自己批判ショーにいるととてもですね。Q.4 特ににもなかったことはありますが、意外と芝居ってもてないんですね。女の子に好かれないですし……。もてるって何なんでしょう。

Q.1 山本治 [ギター・ベース]
Q.2 自衛隊に入隊した兄の勧めで。
Q.3 シャラボワに「北方領土を返すからアタシを抱いて!」と言われました。
Q.4 6人いた女房が4人に減りました。

Q.1 小菅節男 [タンバリン・ヴォーカル]
Q.2 誘われました。
Q.3 (笑の)ムスメが「お父ちゃん大好き!」と言ってくれたとき。
Q.4 打ち上げの席などで、気がつくとい人。

ルーツは大阪ローカル深夜枠!?
僕、ずっと前に大阪のよみうりテレビの深夜枠で4年くらい、コント番組をやってたんです。それに出てたのが生瀬勝久を中心とした劇団そとばこまちの連中であり、劇団☆新感線の古田新太でした。要するに当時の関西の、面白くて腕のある役者をみんな集めてバワフルなもの作りたい、みたいな番組だったんですけど、それが面白かったんで、「いつかまた僕らにしかできへん馬鹿馬鹿しいことやりたいな」って話はすっとして、それがやっとなんか実現したのがこの「ホレスタ」なんです。ただ、こいつ、実験的な番組ってそう簡単に地上波ではやれない。だからとにかく作ってしまっって、「これを放送したい人、おいで!」みたいな形にしました。そうしたら放送してくれる所は増えてきたんだけど、一番ハードルの高いキー局の枠は簡単に取

れないから、それで「ローカルでしか観られない!」みたいな感じになったんです。……でも、東京で観られないイライラ感は逆にオモロイんじゃないかな、とも思ってますよ。そういう、観たいのに観られない感で遊ぶのが僕は昔から好きやったし、もともと大阪ローカルでやってたメンバーが集まったわけですから、ローカルに行くのは自然な流れでもあったんです。久しぶりに顔を合わせたメンバーは? みんな現在では役者として大きな活躍をしていますが、そんないまでも「アホなことしたい!」って常に思ってる奴らなんですよ。「ホレスタ」では生き活きてますよ。古田や生瀬はスイッチひとつ押すだけでんでもない爆発を起こす。でも、それはなかなかテレビでは受け入れられないモノなので、これまで彼らはテレビに出て全部を出しては来なかつ



驚きの豪華ゲスト陣
——その秘密は?——
本当に、ようこんな豪華な人たちが来てくれるなっと思ってますよね、ローカルなのに……。……今から考えたら、普通にプライムタイムでやれちゃうねん(笑)。このゲストの人選は何より、古田と生瀬が知っているかどうかなんです。二人とも、たくさん舞台に出てるんですよ。そこにいるんならちと共演して仲良くなつてますから、普段はバラエティーに出ない人たちが「あの二人とだったら共演したい!」って出てくれるわけです。だから、人選のプライオリティーの一番は、二人が共演したことがあるかどうか。もちろん、共演したことが無くても番組に合うか

これ、今回DVDで改めて観て、とても面白くって再確認できたんですよ。全体のストーリーとかは何も考えないで、「一回に魂込めて作ったんですって、通して観たらちゃんと辻褄が合ってる、もう「ハリウッド」なんの壮大なファンタジー感(笑)。ええもん作る環境でやれた幸せをつくづく感じたんで、全26話で一旦終わるんですけど、できれば、シーズン2もやりたいですね。とにかく、まずは9話分のDVDが遂に出ましたんで、これから観られなかった皆さんにも是非、観て頂きたいです。いま東京で観られるどの番組にも観ない魅力が間違いなくありますから……。……これ観たら「何で東京でやってへんねん!」って腹立つと思うんですよ。そのときは是非、テレビ局に投書して下さい。「オンエアしろ!」って笑。

レポファン 何でも研究

祝『ホレスタ』 DVD発売! ——でも、ホレスタって……なに?

『ホレゆけ! スタア★大作戦 〜まりもみ危機一髪!〜』——略して『ホレスタ』。古田新太や生瀬勝久ら舞台出身の俳優たちと藤木直人が、毎回の豪華ゲストと絡む、いま巷で話題の不思議ローカルドラマだ。ローカル……つまり東京キー局の地上波では観られないのがこのドラマのみぞ。ゆえに番組の存在は知っているけど観たこと無い、なんて人も多かったはず。そんな『ホレスタ』の魅力に触れるべく、企画・原案の倉本美津留さんに直撃しました!



◇ DVD
『ホレゆけ! スタア★大作戦
〜まりもみ危機一髪!〜
〜SECRET FILE I!〜
発売中 ¥10,395 (税込み)
発売元: キューブ / ポニーキャニオン

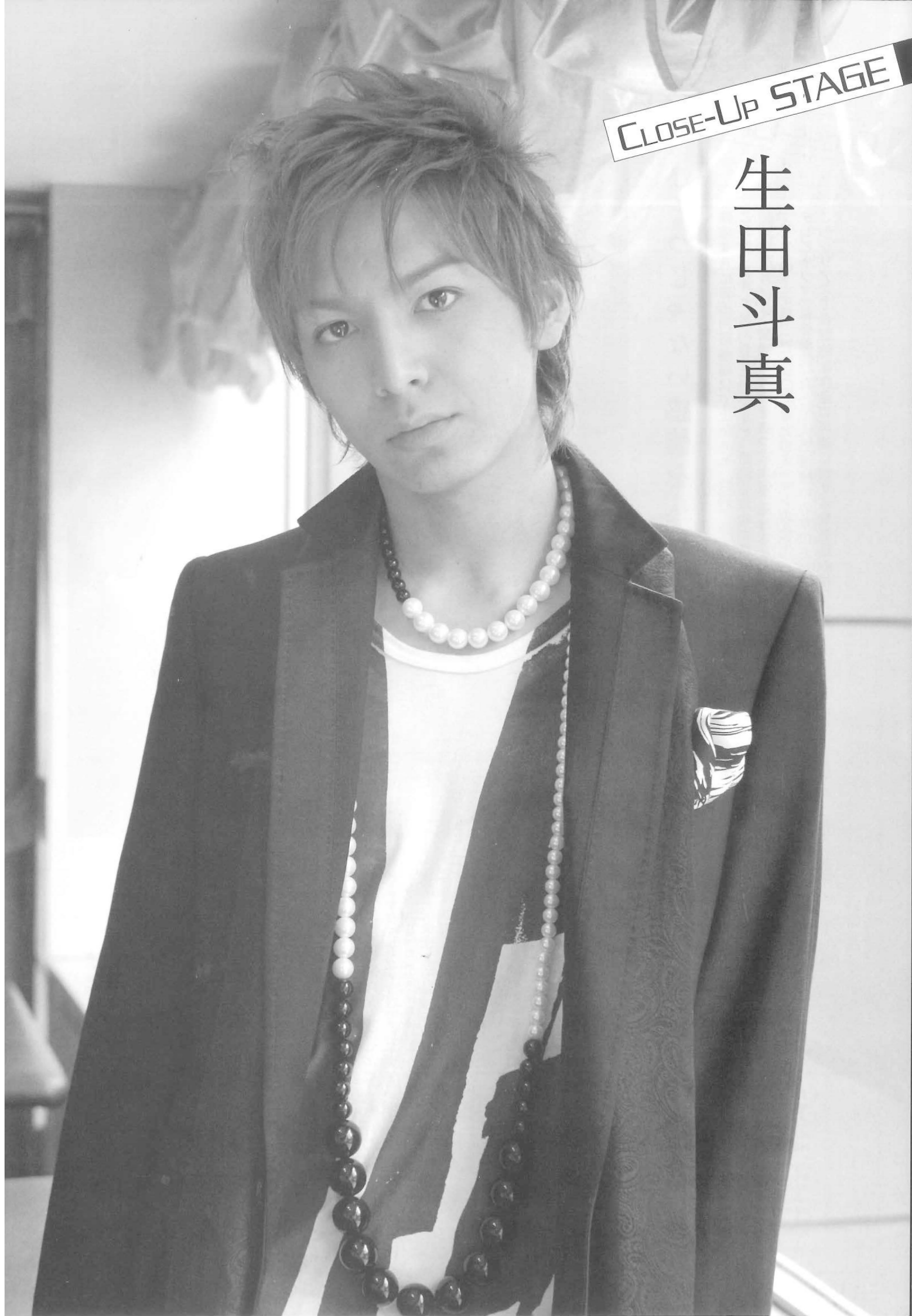
倉本美津留

くらもとみつる○59年生まれ、広島県出身。放送作家・ソングライター。関西で画期的な深夜番組を次々と生み出したのち、90年代半ばに拠点を東京に。以降、『ダウンタウンのゴッツイ感』、『伊東家の食卓』等のヒット番組を手掛ける。『ダウンタウンDX』のトスポ君の声でもお馴染み。

次回予定◇DVD-BOX『ホレゆけ! スタア★大作戦〜まりもみ危機一髪!〜SECRET FILE II』
10/3発売



生田斗真



新感覚のシェイクスピア舞台

映像作品のみならず、数々の舞台経験を通して実力をたくわえ、この夏、連続ドラマで注目度急上昇中の生田斗真。波に乗る彼の次なる作品は、初期シェイクスピアの喜劇『ヴェローナの二紳士』だ。英国人演出家グレン・ウォルフフォードが脚本・演出を手掛ける本作に、生田はどう挑むのか。

✔初めて挑戦する世界

シェイクスピア作品への出演が決まったときの気持ちは。

元々、やってみたいと思っていたので嬉しかったです。これだけ長く作品が残っているというのは、それだけ面白いからだと思うので。あとはセリフが歌を聴いているような感じで、舞台上しか成立しないだろうなところも面白いですね。

実際に原作を読んでみて、どうでしたか？
読んでみたら、シェイクスピアがお客さんを楽しませようと面白く書いたんだなというのが割りと伝わってきて（笑）。ギャグとかも入れて、物語をどんどん展開していくところにそんな気持ちがかいま見えるなって。暗いイメージのシェイクスピア作品が多い中で、本当にフラットな感情で観られる作品ですね。

生田さんが演じるヴァレンティンという青年については。

まず、「いい人過ぎない？」と。素直でまっすぐで勇気がある。でもいい人だからこそ振り回されてしまうというのが、この作品の面白さなんだろかなとも感じましたね。あとは自分なりの若さと誠実さとかを色濃く出せればと思ってます。

✔舞台人・生田斗真として

今回はイギリス人のグレン・ウォルフフォードが演出を手掛けますよね。
グレンさんの演出した舞台は『キャバレー』04年、錦織（清主演）など何本か観ていて、芝居を

絵で表現する人というか、舞台全体がすごく綺麗だなんて印象があるので、楽しみです。特に照明とか、人物の配置とか。

観劇のとき、そういった部分も結構気になるほう？

実はそうなんです。自分でもヤラしいな！と思うんですけど（笑）、つい見ちゃいますね。自分の中でいろいろと考えながら。あの役者さん上手だなと思うたら、一緒にやってみたいとか。

逆に出演する側のときは、楽しいのはどういう部分ですか？

皆でわいわいものを作っていくのが好きなんです。人間関係を大事にしながら、同時に自分自身もステップアップしていけるのが楽しいですね。楽日に向かって声が出るようになったりとか、セリフが上手く言えるようになったりとか。そして終演後に皆で食事に行くこともすごく好き。いい芝居をして、いい仲間たちと、おいしいご飯を食べる、という。

昨年の『Cat in the Red Boots』に続いて主演となりますが、意識の変化などは？

うーん。それはあんまりないです。チケットの売れ行きはやっぱり気になりますけど、やることや志は変わらないんじゃないかって思うので。

連続ドラマ『花ざかりの君たちへ』でも、物語を引っ張るポジション。人芝居のようなミカルのシーンもあって、芝居の筋肉が頼もしいです。

ドラマの中津役は狂言回しのような役ですもんね。話もガングリ引張っていかなくちゃいけないし、ずっとヘラヘラしゃべってるし。結局いいと

ころは佐野役の小栗旬君にもついていけるんですけど（笑）。でもやって楽しいですよ。

舞台と映像との違いというのは感じますか？

連続ドラマは、舞台と違って、助走が短い。感覚、少しの助走でどれだけ遠くまで飛べるかっていう瞬発力を常に感じています。だから「もっ」とあるだろ、探せ」という自問自答は日々繰り返してますね。中途半端だけはイヤなので、舞台の稽古中も本番までひたすら探ってます。舞台は稽古した分だけ自分の結果につながると思うし、稽古自体が好きだから、苦でもなんでもありませんけどね。

✔舞台は誰もが楽しめる娯楽

『ヴェローナ』の、恋愛と友情のどちらを取るか？というテーマについて、生田さんご自身の感想は。

自分自身、男友達というほうが気を遣わないでラクっていうのは確かにあります。ヴァレンティンのように親友と同じ人を好きになっちゃうのも、現代でもよくある話だし、そこはやっぱりシェイクスピアってすごいなって思っんです。ただ、彼女を親友に捧げようとするヴァレンティンの行動には、さすがに「どんだけいい人なんだよー」って感じましたけど。

この舞台をこんな人に観てもらいたいっていうのはありますか？
せっかくなので、若い人にもたくさん観に来てほしいですね。シェイクスピアをよく知らない人も多いと思うんですけど、今回はそういう

人にもすんなりと入り込める作品になりそうなので。

ドラマの生田さんを見て、面白そうだなと観に来る人も多いかもしれないですね。

舞台って、シェイクスピアにしても、日本では歌舞伎にしても、昔からある大衆が楽しめる娯楽ですね。僕自身はそういうのを提示していきたいなって思ってるんです。今回もそれにのっかっていければと思っているので、観てくださったお客さんにも、帰り道とかで楽しかった、よかったなって思ってもらえる作品に出来ればいいですね。

公演情報

『ヴェローナの二紳士
~Two Gentlemen of Verona~』

10/5~14◎東京グローブ座、
10/27~28◎シアターBRAVA!
脚本・演出◎グレン・ウォルフフォード
原作◎ウィリアム・シェイクスピア
出演◎生田斗真 西原亜希 柏原収史
垣内彩未 貴城けい 他
お問い合わせ：テレドーム
0180-993-046（24時間テープ案内）



✓敬虔な思い

「三文オペラ」をどう捉えていたか、まず聞かせてください。

白井 僕はフレイトには敬虔な思いがあるんです。学生時代に、彼の「今日の世界は演劇によって再現できるか」という評論を読んで演劇を始めた人間ですから。それから黒テントが上演したものを観て、ヴァイルの音楽のセンスにも驚嘆した。脱オペラという形は、音楽は好きだけどミュージカルには抵抗があった僕に、これならできるといふ示唆を与えてくれました。ですからいつか「三文オペラ」をやりたいと思いながら、逆の手が出せずについて。それが世田谷パブリックシアターの10周年ということで実現することになり嬉しかったですね。初演当時も、資本主義社会への批判を打ち出していた作品なんです。今はあの時代よりもさらに社会の矛盾が膨らみ、人々の欲望にも社会的カオスにも拍車がかかっている。だからこそやる意味があるのではないかと。

ROLLY 僕は白井さんに比べると作品の理解度は100分の1くらいなんです。初めて観たのは宝塚の「PEAK EASY」(98年でした。すごく面白かった。音楽の素晴らしさやエンディングの展開に「なんだこりゃ」と思ってた。それからは映画や黒テント版も観たりして。特に「マック・ザ・ナイフ」は自分のコンサートでいつも歌っていたので、今回の話を聞いたとき、なるべくしてなるもんだなと思いました。

今回 歌詞は全部、ROLLYさんが書かれたそうですね。

ROLLY 酒寄進さんが翻訳された詞を、僕が実際の音楽に合わせて書き直しました。全曲あててみて改めて感じたのは、そのメロディの異常さというか、かなり怪奇な感じですね(笑)。非常にロックな感じ。それも、普通、ロックな感じと言われるものの2段階くらい深い意味で、一般の人にはロックな感じには聞こえないという(笑)。そのひねくれ感が全編に溢れていると思います。さらに今回は、白井さんとの話の中で、今の時代にカウンターパナチをくらわすために、新たな解釈を加えていくと話していました。

白井 僕が今回イメージしたのは、現代なのかもう少し先なのかわからない混沌とした街、主義主張もはっきりしないような社会で、それはまさに現代そのものといえるような世界なのですが。登場人物たちもそれぞれ裏があつて、どこからが善人で、どこからが悪人かわからない。誰が娼婦か、いや全員が娼婦であるかもしれないような、あるいは男か女かわからないような、すべての境界が溶けてしまっているような感覚を描きたかったんです。それがROLLYさんの音楽性にちょうど合つたなと思いました。

✓演じるROLLY

ROLLYさんは情婦ジニーとしても出演されますが。

白井 この作品で、ジニーの役はポイントだと思っていて、音楽だけでなくROLLYさんに出てもらったらどうだろうと、ふと思っただけです。そしてそこから逆に僕のやりたい「三文オペラ」が見えてきた。つまり男でも女でもどちらでもいいんです。メッキーを愛していればいい。そこが大きな軸になりました。

ROLLY 嬉しかったです。僕は作品に出る場合は特殊な位置にいたので、ジニーだったら意味があると思った。そうとろどろが利いてないといけない役だと思うので、むしろ男がやるほうがいいかもしれない。白井 そのくせメッキーには人一倍深い愛を持っている。愛を持って死刑台に送る。のですから。娼婦たちにも二ハーフあり、男娼あり、普通の娼婦ありと、現実にあるようなことも取り入れて。今や現実のほう

が先に行つてゐるような世の中ですから。

そういう共同作業のなかで、フレイトとヴァイルに対する思いが、また深くなつたりしませんか？

ROLLY どうだろう？ 僕ははいかげんな人間なので、白井さんみたいに完全にわかつてないから……。知ったかぶりはできないんです。

白井 でもROLLYさんは、ラウルジュリアの主演で、ザフィーのロジャー・タルトリが大道芸人を出ている映画版も教えてくれたりして、十分マニアですよ。あれも面白かったけど、もう少し社会的に突っ込んだ感じにしたいと話したりしましたね。

ROLLY 白井さんの頭の中の世界より僕のほうが甘いところもあつて、歌詞についてももっと過激にと、ずいぶん追いつめました(笑)。

白井 でもROLLYさん自身の人間性というか、人生観が言葉の運び方にそのまま出ていて、それがすなわち「三文オペラ」の世界そのものなんです。僕が書いたら逆にこだわりがあるだけに、その世界観にはまり込みすぎていたかもしれない。ROLLYさんの言葉だからこそ、この作品の歌詞としてリアリティを持っているものになっていると思います。

そして、まもなく本番を迎えるわけですが、ROLLY 舞台はいつも恐怖ですね。人前で何か発表するのは恐怖です。白井さんの演出は二度目です。すし、恐くはないですが。しついですよね、稽古が(笑)。

白井 でもROLLYさんもしつこいですよ。僕はみんながもう終わりにかと思つてから「もう一回」と稽古するの、「エー」と言われるのが笑。ROLLYさんは僕が本出し「こまど」と思ったあとに「もう一回お願いします」と(笑)。でも僕はワエルカムですからね。

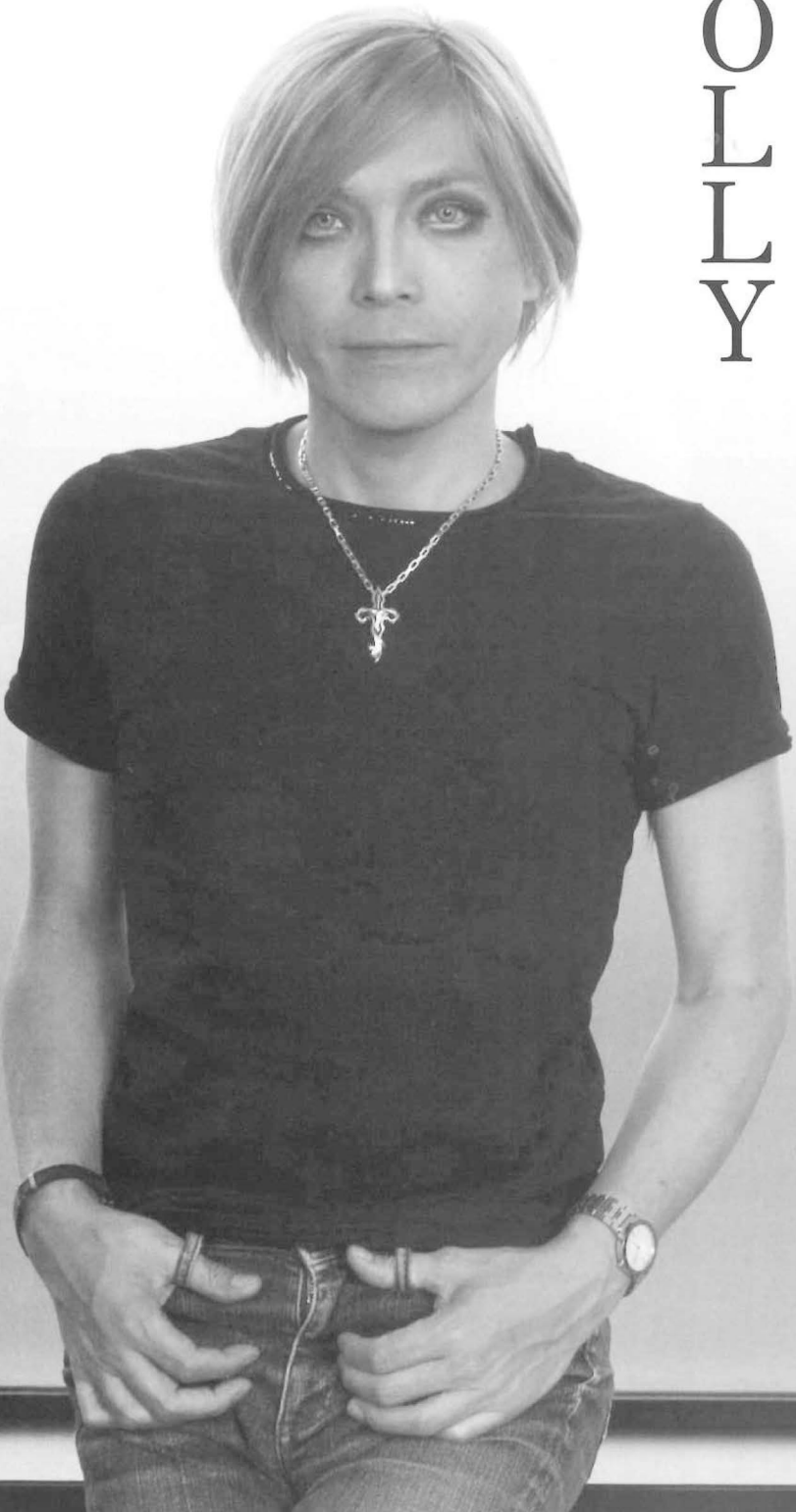
CLOSE-UP STAGE



しらいあきら〇57年京都生まれ、大阪府出身。演出家・俳優。遊機機軸／全自動シアター(83〜02年)での活動を経て、現在は遊機機軸オフィスのプロデュース作品や外部の演出・出演などで活躍中。音楽劇から硬質なストリートプレイまで、緻密で美意識の高い舞台演出で定評がある。01、02年には読売演劇大賞優秀演出家賞、05年に湯浅芳子賞を受賞。

作品そのものがロック
1928年、「三文オペラ」は初演された。貧民街を舞台に描かれる世界の不条理と混沌脱オペラという形の音楽と演劇の斬新な出会い。その全てが既成概念を破るものとして演劇界を震撼させた。それから約80年、現実世界はより混乱をきわめ、状況はより救いようのない迷路へと向かっている。この時代を映しとるために白井晃とROLLYが作り出すまだ見たことのない「三文オペラ」とは？

白井晃 × ROLLY



ろーりー〇大阪府出身。ロックアーティスト。90年「すかんち」のヴォーカル&ギターとしてデビュー。96年のバンド解散後ソロ活動。天性のキャラクターとエンターティナー性でロックスターとして活躍。舞台は「THE ROCKY HORROR SHOW」「アラ・カルト」「ローリー博士の異常すぎる愛情とその影と光」「TOMMY」など。白井演出は「星の王子さま」について2作目。

公演情報

音楽劇『三文オペラ』



作◇ベルトルト・ブレヒト 音楽◇クルト・ヴァイル
翻訳◇酒寄進一 演出◇白井晃
出演◇吉田栄作 篠原ともえ 大谷亮介 銀粉蝶 佐藤正宏 猫背椿 ROLLY 他
10/9〜28〇世田谷パブリックシアター
11/9〜11〇兵庫県立芸術文化センター
お問合せ:世田谷パブリックシアター
03-5432-1526

【あらすじ】盗賊団のボス、メッキー・メッサーは街で出会ったポリーを見そめ、結婚式をあげてしまう。だがポリーはメッキーと対立する貧民街の総元締めピーチャムの娘だった。腹を立てたピーチャムは娼婦たちをそののかし、メッキーは昔の情婦ジェニーの密告で警察に捕まってしまう。しかしまんまと脱獄してしまうメッキーに、さらにピーチャムの怒りは爆発して…。

辻修

小林健一

つじおきむ 74年生まれ、岐阜県出身。93年の旗揚げより動物電気に参加。徹底すぎる体と狂気の存在感がヤマトわい、同劇団の看板俳優。

CLOSE-UP STAGE

「いつもと同じ」な安心感
93年の旗揚げから気がつけば14年、おとしし初めて本多劇場に進出して、今回は2回目の本多公演に挑む動物電気。新喜劇のように安定した笑いの舞台を、時には社会派な切り口で、時には家族の関係をベースにして、ちよつとシニールな風味も加わりつつ魅せてきた彼ら。その揺るぎなさは、実家のようなほつと息つける暖かさを感じる存在でもある。

こはやしけんいち 72年生まれ、長野県出身。93年の旗揚げより動物電気に参加。「痛みに強い」という特性を生かしたヤラ役が喜劇とベースを感じさせる看板俳優。

まさおかたいし 71年生まれ、広島県出身。92年の旗揚げから02年の解散までHIGHLIGHT JESUSに参加。と同時に93年に明治大のサークル「活動工房」のメンバーと共に動物電気を旗揚げ。以降、ほぼ全作品の作・演出を手がける。俳優としての次回公演は、真心一座身も心も第二章が10月にある。

政岡泰志

伊藤美穂



いとうみほ 71年生まれ、埼玉県出身。01として働いていた頃に動物電気を観て、96年より参加。落も落いたトーンの声を持ち、母親的な役割も多い。

公演情報

動物電気 『先輩へのあこがれ』



9/12~16◎本多劇場
作・演出◎政岡泰志 出演◎小林健一 辻修 森戸宏明 高橋拓自 伊藤美穂 鬼頭真也 松下幸史 石崎和也 森山夕子 姫野洋志 田中あつこ(バジリコ・F・バジコ) 政岡泰志
お問合せ:動物電気 090-1734-4403

——2回目の本多劇場公演というんですが、今度はこういうことをやってみたいという意気込みはありますか？

小林 前回の本多では舞台上でバイクに轢かれたんですけど、せっかく大きいところだからもっと大きいものに轢かれランクアップしたいかな(笑)。

伊藤 意気込みというかい、いつも通り頑張るのは変わらないですけど……。今回は、劇団員の女性が2人になったところに、客演で田中あつこちゃんってかなりおもしろいコが出てくれるので、そこで何かおもしろいのができたというかな。

辻 僕は、前の本多公演ではのどをつぶしてしまっただけで、これからは、楽屋から舞台までが距離があるから、歩く距離とかも考えて体力アップしたい。

伊藤 そんなに遠くないよね(笑)。

辻 あとは、最近NHKの番組で尾崎豊が19歳の時に歌ってる映像を観て、やたら感銘を受けたので、できれば尾崎豊を熱唱したいです。

——それは個人的な希望ですね(笑)。尾崎になりたいってことですか？

辻 尾崎は大阪球場だったけど、僕はそれを本多劇場に見立ててやればいいんじゃないですか？

——自分のなくしてしまっただけのもう1回もてたかなあ。

——作演出としては、思うところはありますか？

政岡 ない、ない。今回は、普段の駅前劇場でやってるようなことを本多でやろうと思う、舞台のサイズも駅前と同じものを持っていったんです。舞台が近くに見えるほうが好きなので、本多っていうことで仰々しくしちゃうと遠くに見えるやつりするから、本多はこれからもやっていきたいところだし、別にここで燃え尽きる必要はない(笑)。

要はないから無理にライオンとか別に考えないし(笑)。07年の動物電気の公演ってことでの緊張はありますけどね。

——今回、タイトルだけ見ると硬派な感じがしますが、ポストクラブが舞台の話だということですが……これは動物電気としては珍しいですね。

政岡 今までは食へ物屋が畳の部屋しか出てこなかったから(笑)。場所がただポストクラブなだけで、主人公は女子校の先生で、夏休みに失踪した女子高生を捜すために先生がしつこく来るっていう、そこから始まる話。そういう「ドン・キホーテ」みたいな話に、ポストクラブっていう設定が合ってるかもしれないというくらいで、ポストには何の思い入れもないです。それに電気と絶対にあわないのわかってるし、行ったこともないし(笑)。

伊藤 知らないで想像してるほうがおもしろいかなって思いますね。お客さんからすれば、電気の男性がポストっていうのはちよつとおもしろいかな？

——タイトルにある「先輩」というのは？

政岡 出てくるか出てこないかわからない(笑)。前回は、どこに(三女の食欲)があった？って親にも言われたくらいだし(笑)。だから先輩っていうのは、多分、団塊の世代の人たちのさらに上とか。ちゃんとした日本人ですよ。へたすれば小林 大先輩だ(笑)。

——自分にとっての憧れの先輩像ってありますか？

小林 やっぱ先輩とかではと評判ぶのは、中学時代の先輩で、吹奏楽部の部長ですね。中1から見た中3だから、相当大人にも見えるし。伊藤 私は……憧れる人っていうか、前に働いてた先にした50代の女性なんですけど、おもしろくて元気で楽しく生きてる感じで、人としてすごいなあっていう人はいます。

辻 うちの劇団で、若い松下(幸史)くんとかから見れば僕は先輩じゃないですか。最初は先輩先輩って慕ってたのに、時がたつにつれて、だんだん僕のダメなところを知ってくると先輩として扱ってもらえなくなつた。だから、僕が憧れられるような人間になりたいです。松下幸史くんあたりから「オサムさんにはかなわないなあ」と言われるような関係を築きたい。

——すごい狭い範囲ですね(笑)。

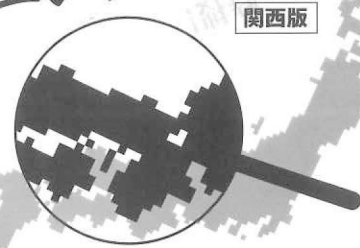
政岡 俺はいいじゃないですか、河原雅彦さんとか先輩つちや先輩だし、もちろん憧れてるし、理想はこれと飲んとして、俺、これから行くところから「って言う人、そんな先輩になりたい(笑)」。ずいぶん上の先輩だ、池波正太郎さんみたいな人。ああいう偉人になりたい。やはりちゃんと帰る人(笑)。

依頼

あまりにも仕掛けが凝りまくっていた
in-dependent theatreのプロデュース公演。
その舞台裏を知りたいです！

特捜！エンブスクープ！

関西版



In-dependent theatre

PRODUCE#10

「ボーカフェイスアパートメント」
「ファイティングブロードキャスト」
作○山内直哉(阪神少年トースター)
演出○横山拓也(売込隊ビーム) 出演
○「アパートメント」西田政彦 真心 大林
剛士 上島洋子 片山誠子 鈴木洋平 関
敬 緒方晋 宮部謙次「ブロードキャ
スト」石原正一 とまきかへ 佐藤あい 山
口いづみ 永津真奈 山本英樹 中西邦
子 谷屋俊輔 松田ジョニー 西田和輝 宇
野伸茂 林祐介 寿寿 島田忠士 千歳晶
子 満理恵子 田中英輔 松枝巧 田淵
法明 濱本直樹 笠江遼子
7/13~22◎In-dependent theatre
1st(「アパートメント」).In-dependent
theatre 2nd(「ブロードキャスト」)
http://i-theatre.jp/pro10/index.
html



「ボーカフェイスアパートメント」



「ファイティングブロードキャスト」

を新たに設ける方が、2つの劇場を使うというス
キ問題が多い方が多い。この手の話は、解決すべ
いですが(横山)。

というわけで、日本

橋の再開発をもうるむ

不動産屋が、ケイブル

TV局とアパートをつ

ぶしにかかっているとい

う背景を設定。TV局

は存続をかけた生放送

を敢行し、アパート住

人たちは住居を死守す

るため番組に登場す

る...という仕掛けが

整ったしかし小屋入

り後初の通し稽古をし



山内直哉

やまうちなおや○78年生まれ、大阪
府出身。大学卒業後に東京のシナ
リオスクールに通い、04年に大阪に
戻って「阪神少年トースター」を旗揚
げ。ちょっと笑えてほっこりできる「ピ
クニック・コメディ」を提唱し、じわじ
わと人気を高めている。

次回予定◎Kiss-FMのラジオドラマ
「STORY FOR TWO」にレギュラー
作家として参加。阪神少年トース
ターの予定は公式HPで確認を。
http://www.inseki.jp/

横山拓也

よこやまたくや○77年生まれ、大阪
府出身。95年、大学の同級生ら
とともに「売込隊ビーム」を旗揚げ。
秘密な構成＆ライトな笑いをうい
て、ブラックな題材を見せる劇世界
で根強い人気を誇っている。近年
は劇場外の書き下ろし、演出も多
数。

次回予定◎ボヴェ太郎ダンス公演(仮)「余白の辺線」他1作品 12/8
◎セルリアンタワー能楽堂(渋谷) http://www.taroove.com/

た時、関係者には自分たちがやっていると
いる芝居の難しさを改めて知ること
になった。2つの芝居を同時に始めると
5分以上のラグが発生すると判明し
まして、アドリブで時間をかせようが可
能なシーンを加えたりして、タイミングが
極力ずれなくなるよう現場で調整しまし
た。横山さんにも本番中は相手が2つの
舞台の様子をモニター等で同時に確認
なんと劇中で役者が使用するソノカムや
携帯には、片方の劇場の進行状況がリアル
タイムで報告されていたのだとか！台
風で実況中継場所の変更を余儀なくされ
た回以外、大きなトラブルなしで幕を閉じられたの
もこの一念、準備と緻密な舞台進行があつてこ
そだつ。1年間悩み続けたプロジェクトが実現
できた気持ちは、今も言葉にできない(横山)。
「役者間の結束の強さは助けられた。特にアパ
ートメント」は、あのメンバーでまた何かするのでは
というぐらいの団結力でしな(横山)。

依頼

ダンス公演が盛んな
アイホールに、ちょっと変わった
雰囲気ダンサーが
登場したそうですが？

それは関西で活動するダンサーを作品
作りに通じて育成する「Take a chance
project」に、今年から加わったボヴェ太
郎さんと本名と氏名(仮)の2人。端
正な容姿とインプロヴィゼーション即
興テクニックを使ったダンスで注目を
集めるダンサーです。

「何がムーブメントを演出させ、ムーブ
メントを何を出させるか」というシンプ
ルな問いが、創作の一番の動機というボ
ヴェさんのダンスはテクニックをいたすら
に誇示するわけでも、ダンスを通して何
かを主張するわけでもない。ただ自分が置
かれた空間の質感の変化(仮本人はゆるぎ
と呼ぶ)を繊細に感じ取り、そ
れに身をゆだねるようにつく
るのなんだ。

「ムーブメントを身体の外か
ら作るのではなく、変わって
く空間の構造に身をまかせ
てくるのが狙い(ボヴェ太
郎)今回の作品は、コンテン
ポラリーなモノクロームの空間が
舞台、荘厳な曲が流れ、時に神
秘的な照明も降り注ぐが、基本
的にギミックはほとんどない。
しかしそんなミニマムな空間
でも、彼の身体は様々なゆら
ぎを微妙に感知。能のすり足を思わせる
動きを多用した優雅な動きは、終始観る者
を引きつけて放さない。それは本当に美
しい自然の風景と対峙した時、雲の变化とか
木々のざわめきとか、そういう些細な動き
でも時を忘れて見れば、もうとっくに同じよ
うな感覚だった。

この作品を通して、場所をしつらえてダン
スの訪れを待つという手法は、多様な可能
性を秘めていると感じたボヴェさん。もし自
己主張の強い舞台に疲れたら、彼がこれか
ら作り出していくであろう大自然のような
世界に抱かれて、癒されてみるのも悪く
ない。

アイホールダンスコレクション Take a chance project017
Taro BOVE Dance Work
「Implication-風景として響きあう空間と身体-」
構成・振付・演出◎ボヴェ太郎 7/14・15◎アイホール
次回予定◎ボヴェ太郎ダンス公演(仮)「余白の辺線」他1作品 12/8
◎セルリアンタワー能楽堂(渋谷) http://www.taroove.com/

[NEWS!]

「特捜! エンブスクープ-関西版」では、皆さまからの依頼をお
待ちしています。「あの公演が見えなかったでレポートして欲しい
!」というものから「役者の**さんの素顔が知りたい!」「▲
劇場の近所にある○○という店が気になるので調べて下さい」
というもので、ミスターなネタ、くだらないネタでもOKです。ただ
し、関西地方限定! 巻末ハガキにて「エンブスクープ」係、まで。

束から1枚!

—チラシ束の、気になる1枚—

0 1 2

久住昌之

くすみまさゆき◎泉 昌之(泉
昌之との合作ペンネーム)。
Q.B.B.(泉・赤・也との合作)で
知られる漫画家。「新・中学生日
記 7」(青林舎)、久住昌之
とBLUE HIP「自由の客」(Giant
Robot Record)が好評発売中
です。ライブ情報◎9/29◎西武
Bin Sparkにて Q&Wのワンマン
ライブ。9月後半には横浜区熱帯
植物園内でライブをします! 詳
細はHPにて。
http://www.qusumi.com/



富士山アネット
『在処/Sugar』
8/3~5◎アサヒ・アートスクエア
宣伝美術◎太田創(01 Ga graphics)
イラストレーション◎時松はるな

今月は「珍しいキノコ舞踊団」の公演で配られ
たチラシ束から。しかし、晶屑するわけじゃないけ
ど、そのキノコ舞踊団の「あなたの寝顔をなでてみ
る」のチラシは、すくなくよかったです。タイトル同様、感
覚的で、でも明るくてデザインがすてきに踊って。
2年4カ月ぶりの首都圏新作公演だそう。満
を持して「演出家のエネルギー」がデザイナーにも波
動を伝えているかのよう。

でもあえてそれを外せば「富士山アネット」の
『在処/Sugar』のチラシがアイデアとデザインが
秀逸で、嬉しき断片一冊。

なんと二つ折りした白い「ビール袋の表裏に印刷
されている。書店でくれる袋のよう、持つとス
の穴が開いてくる。これは手渡された分厚いチラシ
束を入れて持つて帰るのに、非常に便利だ! そこ
まで考えてるんだたら素晴らしいアイデア。他の
全劇団を束にして飲み込む」という人を見た。し
かし親切なチラシ。やられました。助かる。

でも「束」の束をめぐっていた人ひとりひとりに、そ
れを気付かせる。というところまで計算してたらス
ゴいぞう!

両面緑一色でチラシっぽくなくて、持っていてさ
りげない。美しい。イラストもクセがなく楽しい。ア
イデア倒れでなく、媚びていない風通しの良さがある
。ただ残念なのは、このチラシでこの芝居が観た
くなかったか、というところまでの感情をかき立てな
い。

そこにいくと、維新派「の「nostalgia」。「二つ折り
になったデザイン」をひとりで見ただけで、劇団の
築いた歴史と、それを打ち壊して進もうとい
う、巨大船舶のような集団意志を感じ、「これ、観
なければ!」と決意。こんなことはチラシを何百枚
見て一枚あるかないかです。ボクの場合。余計なコ
ピーは何も書いてないのに、写真とデザインに、彼ら
の血のじむような努力の末の、新しい「演劇」が
胎動している。チラシは正直だ。

今号のチラシ **束**

もらった場所◎
珍しいキノコ舞踊団
「あなたの寝顔をなでてみる。」
7月12日(木)
20:00の回
◎吉祥寺シアター

チラシ枚数◎83枚
(内訳、本チラシ55枚、
仮チラシ11枚、
公演外チラシ17枚)

重さ◎660g

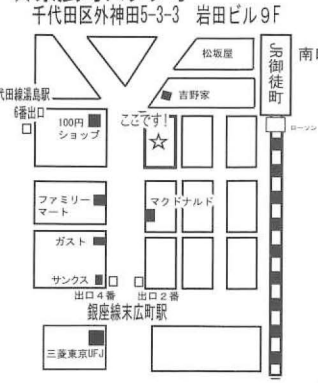
お芝居を眺めたい!もっとうまくなりた!

楽屋 ワークショップ

◎受講期間:即日~3月まで◎場所:末広町スタジオ(歌舞伎)
◎料金:1ヶ月 ¥15,000 ◎公演実習費 ¥15,000

無料体験有!!

★末広町スタジオ
千代田区外神田5-3-3 岩田ビル9F



お問い合わせ・お申込み 受付時間:平日11時~17時
TEL 03-3780-3882
株式会社キャビネット
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-13-2 萬全ビル2F

人気劇団の実力のある演出家がそれぞれの特徴をいかしたカリキュラムであなたの
個性、実力を引き出します。初心者大歓迎。無料体験も開催中!

表現力・対話力向上!
台詞のマスター
西森 英行 クラス
(InnocentSphere 主宰)
毎週木曜日
19:00~

役者は声が大事!
ボイスマスター
玉井 聡 クラス
(元劇団四季)
毎週土曜日
18:00~
ボーカルレッスン10月開始!

キャラクターを活かす!
キャラクターの王様
笹木 彰人 クラス
(絶対王様 主宰)
毎週日曜日
18:00~

間と表情と雰囲気を読む
雰囲気と自然な演技の匠
川口 俊和 クラス
(音速かたつむり 主宰)
毎週土曜日
13:00~

●パソコンや携帯からも情報をご覧頂けます!

http://gakuya.ws/



蠅男

第五章 蠅男、現る

赤堀雅秋

あかほりまさあき○71年生まれ、千葉県出身。作・演出家、俳優。96年劇団THE SHAMPOO HATを旗揚げし、以降全ての作品の作・演出を担当。今もっとも注目を集める演出家の一人。

次回予定○THE SHAMPOO HAT「その夜の侍」(作・演出・出演) 9/29～10/8◎下北沢ザ・スズナリ

二週間前。正確にいうと十二日前。

信子は二階の自分の部屋でテレビを見ていた。正確にいうと眺めていた。何か自分の琴線に触れる画面はないものかと三秒間隔でザッピングするが、各局のワイドショーはどれも似たような話題ばかりで、何やら大物演歌歌手Nの飼犬であるポメラニアンが盗まれたらしい。Nが一連のヒット曲を歌う映像——はつぴ姿で力強い握りこぶしのN、目を細め遠くを眺める着流しのN、紫色の下派手なジャケットで軽快にリズムをとる白い歯のN——を背景に神妙なナレーション。おどろおどろしい効果音。ポメラニアン。

信子は床のコーヒー牛乳のパックを手に取り、ストローで一口すする。

事の発端はアイスクャンディーらしい。テレビ東京の歌番組に出演後、付き人の運転するメルセデスベンツは世田谷区の某コンビニエンスストアに立ち寄る。お決まりのコースらしい。Nはそこで蜜柑のアイスクャンディーを購入するのだ。付き人がエンジンをつけたまま店内へ。後部座席のNは青いリボンのポメラニアンと戯れる。一分後、付き人が戻ってきてNに伝える。「すみません。あの蜜柑のヤツがないです」「何、蜜柑のヤツがない?」「はい、蜜柑のヤツは売り切れみたいです」「俺はい

つもここで買ってるんだぞ。いつもだぞ。店員だって知ってるだろ、それぐらいの事」「あ、はい」——Nは腕組みをしたまま宙を睨む。付き人のアゴの先から玉のような汗が滴り落ちる。ポメラニアンがけたたましく鳴き続ける。「俺はいつもここで買ってるんだぞ」「あ、はい」「いつもだぞ」「絞り出すようにそう言うたや否やNは車から飛び出し、大股で店内に消える。「すみません、すみません」と頭を下げながら付き人も追う。ポメラニアンの足の爪がカチャカチャとせわしなく車窓にあたると。

「五分ですよ。ものの五分ですよ」と泣き叫ぶN。Nに突きつけられた十本以上のマイクは

所在無さげにただ次のNの言葉を待つしかないでいる。

「目的は何なのでしょいか」前髪を紫色に染めたの中年リポーターが重々しく問う。

「わかりません……わかりません……」と目を細めるN。

「Nさん、コンビニとか行くんですね」と化粧の濃い女がNにマイクを向ける。

「伊勢丹にはね、売ってないんですよ。あの……蜜柑のヤツ」

信子は、天井を眺める。

男と目が合う。男とは、天井の染みがたまたま人間の顔のように見えるだけの偶像だが、信子にとってはもう何年も前からその染みは中年の男で、特に具体的な対象の男なわけでは

の物体を口内に押し入れる。テレビを背にしているからか無音にしたままだという事に気付かない。ニチャネチャと物体を食みながら、「壁が白いな」と信子は思う。特別な意味はない。ただそう思っただけの事。

最初は地震かと思った。ドスンという地響きにも似た衝撃が信子を襲う。が、どうやら地震ではないらしい。電気の傘は揺れていない。無数の油蟬が遠くで鳴いている。次の瞬間、真下の台所で何やら食器の割れる音がする。ふと立ち上がった信子は扉の下に行き、二年前に自分で取り付けた鍵を掛ける。無意識だった。やがて母が階段を上がってくる。走りたくても走れない母は、鉛のように重たい足を一歩ずつ一歩ずつ踏みしめるようにして上に。信子はそこでようやくテレビを無音にしたままの事に気付くが金縛りのように身体が動かない。テレビ画面にすでにNの姿はなく、若い女がひたすら巨大なカレイライスを流し込むかの

ように食べ続けている。やがて信子の部屋の扉がガチャガチャと回される。母はノックをするでもなく、信子を呼ぶわけでもなく、ただひたすらに動物的に扉のノブをガチャガチャと弄ぶ。そして別の音が聞こえる。先程母が階段を下りていった時と同じ音。顔のない音——とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん——男が来る。男が、来る。

「お母さんお母さんお母さんお母さんお母さんお母さん」と下半身は叫ぼうと躍りになっているのだが、実際には声にならず、むしろ肝心の上半身はいたって冷静で、とにかく、贖罪にも似た想いに駆られ、音を欲した信子が呟く。

「壁が白いな」

信子は、ここから二十秒待つことにしている。別に母を怖れているわけではない。むしろ信子にとってそれは礼儀だと思っている。「話せばわかる」などと人はいう。しかし信子にとってそんな言葉は「人の命は地球より重い」くらいナンセンスで失笑せざるを得ないのだが、とにかく、

とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん——。

信子は、ここから二十秒待つことにしている。別に母を怖れているわけではない。むしろ信子にとってそれは礼儀だと思っている。「話せばわかる」などと人はいう。しかし信子にとってそんな言葉は「人の命は地球より重い」くらいナンセンスで失笑せざるを得ないのだが、とにかく、

とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん——。信子は、ここから二十秒待つことにしている。別に母を怖れているわけではない。むしろ信子にとってそれは礼儀だと思っている。「話せばわかる」などと人はいう。しかし信子にとってそんな言葉は「人の命は地球より重い」くらいナンセンスで失笑せざるを得ないのだが、とにかく、

とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん、とん——。信子は、ここから二十秒待つことにしている。別に母を怖れているわけではない。むしろ信子にとってそれは礼儀だと思っている。「話せばわかる」などと人はいう。しかし信子にとってそんな言葉は「人の命は地球より重い」くらいナンセンスで失笑せざるを得ないのだが、とにかく、

静かに扉を開け、床に置かれた遅い昼食を手取る。花柄のトレイに載せられたナポリタン、目玉焼き、ケチャップのかかったウィンナーソーセージ。テーブルの上はお菓子の空き袋や空き缶、漫画、雑誌、CDなどで散乱しているので、トレイをベッドに置き、そこで食事をする。

タバスコを必要以上に振りかける。その酸っぱい匂いで軽く咳き込む。目玉焼きにはマヨネーズをかける。無数の油蟬が遠くで鳴いている。オレンジ色



撮影○スギノユキコ

演劇ぶっく 広告料金表

演劇ぶっくでは、各種広告スペースをご用意させて頂いております。

これまでも「演劇公演のご案内」、「劇団員の募集広告」、「学校・スクールの生徒募集広告」、「稽古スペースのご案内」など効果的な宣伝媒体としてご利用いただいております。

広告料金表(税込)

掲載面	スペース	色数	料金	サイズ
表4	1P	4	577,500	275×195
表2	1P	4	420,000	276×187
本文	1P	4	315,000	276×187
本文	1P	1	210,000	276×187
本文	タテ1/3P	4	105,000	276×55
本文	タテ1/3P	1	84,000	276×55
本文	タテ1/6P	1	52,500	130×61

etc……

この他にも用途・目的等に合わせた各種スペースがございます。広告掲載のご検討や詳しい入稿方法など、お気軽にお問い合わせ下さいませ。

演劇ぶっく

- 創刊／1986年4月25日
- 発行形態／隔月刊／奇数月9日発売
- 定価／750円(税込み)
- 判型／A4判・平綴じ

演劇ぶっくは、小劇場や新しい演劇の流れを中心に幅広く舞台をとりあげるエンタテインメント・フォト・マガジンです。

■お問合せ

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-3
DH2001Bldg.4F
演劇ぶっく編集部

tel:03-5282-1340
fax:03-5282-0170



88

栗根まことの

人物 ウォッチング

小松和重

あわねまこと○劇団☆新感線の理数系知性派役者。
演劇ぶっく協力携帯サイト「演劇モバイル」でもコラムを好評連載中。
近況○「デジタル製品が増えすぎて部屋が暑くて困る」
次回予定○「Abbey-アビー」11/14～18 ◎青山円形劇場

【勢】

舞台上で普通に笑う役者がいる。つまり、演技ではなく素に戻っているワケだ。役者にあるまじき行為だが、それが許される状況はある。そしてそれが常に許されている人もいる。いるんだ？それは池田成志さんと小松和重さんだ。

小松さんは舞台上でよく笑う。「まはははは」と笑う。そしてナチュラルに「ッッッむ。そんなフラットな小松さんがうやまいし。

若い頃、劇場の大道芸部に入り、大物俳優の衣裳を踏んで怒られて退社、小劇場劇団に入り、ひんなことからサモアリナズと結成。座長となり学園番長モノと話題を呼ぶ。

近頃は数々の舞台に出演してその細い体を見せびらかしている。もちろん、笑っていない時の演技は

的確かつ脱力、その飄飄然とした雰囲気と、ちゃんと

見せる毒舌が観客を惹きつける。だが、その性格は

超ーカゲンだ。適当に返事をする。「それ、イッスね」とか。

高校の時に電車でたまに同い年面に乗りあわせたというだけで原田知世と結婚すると思ひこんだり、

中学生にカリアゲされたりよくからまれたり、何だかとてもテキーな感じの男です。



小松和重

次号予告

演劇ぶっく

12月号

no. 130

11月9日発売！

※内容は変更になることがあります、ご了承ください。

【連載】

インディ高橋の小道具研究所／栗根まことの人物ウォッチング／西川浩幸『素晴らしきギャグ人生』／久住昌之「東から一枚」／赤堀雅秋・小説「蠅男」 ほか

公演

埼玉県芸術文化振興財団／ホリプロ

『エレンディア』

こまつ座&シス・カンパニー公演

『ロマンス』

遊園地再生事業団

『ニュータウン入口』

THE SHAMPOO HAT

『その夜の侍』

演劇集団キャラメルボックス

『猫と針』

TEAM NACS

SOLO PROJECT

『GH00000ST!!』 ほか

西川浩幸の

素晴らしき2007年ギャグ人生

第49回

『休みの日』

「サボテンの花」稽古休み前の過ごし方。
1月25日(木)お友達のお見舞い。19時から「えっと、おいらは誰だっけ?」観劇。出演者の岡田達也、青川貴美子と飲み会。28日(日)キャラメルボックス新人オーディション二次審査。夜はスパーで買ったアンコウ鍋。29日(月)領収書の整理。午後、親戚の法事で高層ビルの中華料理。
2月4日(日)キャラメルボックス新人オーディション二次審査。夜は居酒屋。5日(月)午前はコントラバスのレッスン。16時半から歌舞伎座「仮名手本忠臣蔵」観劇。ご飯は劇場内で和食。11日(日)14時から畑中智行出演の「デンキ島」観劇。その後ホルモン屋さん。15日(木)11時半から新橋演舞場「殿様のちよんまげを切った女」観劇。夜は銭湯&焼き鳥屋さん。18日(日)新月。12時半から三つの物件を内覧。夜は銭湯。25日(日)午前中に病院へ、26日待ち。午後から荷造り、16時発の新幹線で大阪へ移動。なるほど、お休みの日の半分くらいはお芝居を観てますね。しかも、そういう日は大抵外食なんです(飲み屋が多い)。

「サボテンの花」大阪公演と東京公演の合間の過ごし方。
3月7日(水)11時大阪出発。東京へ帰郷。その足で倉庫で荷降ろし。夜は銭湯。8日(木)14時グッドラックハリウッド「観劇。夜は沖縄料理。9日(金)確定申告で税務署へ。19時僕たちの好きだった革命「観劇。夜は台湾料理。10日(土)伊勢丹で「ジャガール展」鑑賞。11日(日)午前中に倉庫で荷積み。タワスポッククラブで運動。
ほほう、5日間の合間があったので、いろいろ入れてますね。確定申告は、このタイミングを逃したらやばいし、お芝居は休演日と同じだったりするので、結構ラッキーなお休みだった気がします。
「サボテンの花」東京公演の休演日の過ごし方。
3月19日(月)新月。15時からヒールのCMのオーディション。20時から「錦織の写真撮影。その後は近所の銭湯へ。26日(月)半月。13時から加藤健事務所「特急20世紀号」、19時からラックシステム「おたのしみ」を観劇。両方下北沢だったので、合間はリフレクソロジーで65分間の休憩。夜は飲み会。休演日に撮影だったのは、本当に偶然でした。スタジオが、まだオープンしていない東京ミッドタウンの近所だったので、なんだから都会にきたようで気分転換になりました。
「錦織」稽古休みの過ごし方。
6月24日(日)録画したドラマを観て、その後はサンシャイン劇場二階への階段シアターの原稿書き。夜は、デリバリーのピザなど。7月1日(日)お昼はカレーライス。夜は串揚げ。8日(日)「カレッジ・オブザ・ウィンド」観劇。その後、出演者など中華料理。15日(日)ほぼ新月。13時原宿でヘアカット。ネット「素晴らしき俳句などの世界」原稿書き。夜はホルモン焼き屋さん。



にしきひろゆき○64年生まれ、埼玉県出身。85年に演劇集団キャラメルボックスに入団。以来看板俳優として活躍。

次回予定○「郵便配達夫の恋」9/27～30◎東京グループ座、10/3◎水戸芸術館、10/6◎名鉄ホール、10/7、8◎新神戸オリエンタル劇場、10/9◎広島アステールプラザ、10/10◎大野城まどかぴあ大ホール

映画・舞台・テレビ……本物の俳優をフューチャーするインタビュー&情報誌

acteur

【アクチュアル】最新刊 No.8



発売中

表紙・巻頭特集
内野聖陽
激しさを込めた静謐

特集:「レ・ミゼラブル」20周年 山口祐一郎インタビュー/ロングルボ 成宮寛貴/インタビュー&トーク 上川隆也、岡田義徳、神木隆之介、福士誠治/新連載:三宅健/連載:小栗旬、井上芳雄、長塚圭史対談ゲスト:浅野忠信 etc.,

バックナンバー好評発売中

- No.1 巻頭特集 豊川悦司
- No.2 巻頭特集 妻夫木聡
- No.3 巻頭特集 阿部 寛
- No.4 巻頭特集 木村拓哉
- No.5 巻頭特集 オダギリジョー
- No.6 巻頭特集 浅野忠信
- No.7 巻頭特集 小栗 旬

各巻ともA4判変型／定価980円(税込)

*** 編集部ブログ更新中! ***
<http://www.kinejun.com/acteur/blog.html>

華麗なる ミュージカル・ガイド



この1冊で、気になるミュージカル・シーンとミュージカル・アクターがまるわりの永久保存版! アクターズ・インタビュー 鹿賀丈史/市村正親/山口祐一郎/井上芳雄/中川晃教/森山未来/川平慈英/別所哲也「レ・ミゼラブル」舞台ポほか作品ガイド30選 etc.,

A4判変型／オールカラー 130頁/定価2100円(税込)

長塚圭史対談集 COFFEE SHOP2



長塚圭史がコーヒー店主となって、ゲストを迎えるトーク集。登場ゲスト:岸部一徳/武田真治/塚本晋也/小日向文世/八嶋智人/松田龍平/加瀬亮/竹中直人/風間杜夫/山本浩司x山下敦弘 A5判/172頁/定価1680円(税込)

第1弾
「COFFEE SHOP」も発売中

キネマ旬報社
東京都港区赤坂4-9-17 TEL 03-6439-6462
<http://www.kinejun.com>

演劇ぶっく社が運営するエンタテインメントスクール **ENBUゼミナール**

2007年10月生 募集中!

夜間部

俳優になる!

映像俳優コース

映画界で活躍中の監督が作るオリジナル作品に出演し、その作品を映画館で公開します!

▼上映作品制作

3人の実践的なカリキュラムと、映画界で活躍中の監督達が作るオリジナル作品への出演を通じ、映像俳優に必要とされる演技を学びます。



06年度映像俳優コース撮影風景

授業内容

各講師、最初の約1ヶ月で基礎的な演技指導を行います。上映作品の脚本が決定した後、残りの1ヶ月でキャストイング〜リハーサルを経て、撮影を行います。1年間で3人の監督講師により、3本の作品を制作します。

基礎講座

自分の理想とする表現ができる身体づくりと豊かな発想力を養います。

■ヴォイストレーニング&ストレッチ
身体づくり、発声、またそれを生かした芝居づくりを目指します。

■演技基礎
演技をする上での基礎的なノウハウを学びます。

■アクション
時代劇に必須の基本的な所作から演技のきれの鋭さ、立ち振る舞いを学びます。

映画監督系コースとの合同授業

■演出入門
映像制作という流れの中で俳優がはたす役割を学びます。

■コラボレート講座
監督が求める演技をいかにして自分の演技に反映させてゆかかを学びます。

特別講義

様々な角度から映像制作や俳優に対する知識を深めます。

■オーディション講座
芸能プロダクションの担当者による講義。ENBUゼミ生を対象としたオーディションを行います。



担当講師

萩生田宏治

(映画監督)

2007年4月に全国ロードショー公開された、さそうあきらの漫画を映画化した「神童」(出演:成海璃子、松山ケンイチ、手塚理美ほか)の監督を手がける。



担当講師

中村義洋

(映画監督)

映像化不可能と言われ続けた伊坂幸太郎の傑作長編小説「アヒルと鴨のコインロッカー」(出演:濱田岳、瑛太、松田龍平ほか)を見事に映画化し、原作者をもうならせる名作に仕上げた。



担当講師

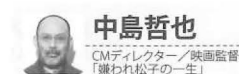
高柳元気

(映画監督)

8週間のロングランとなった最新作「日が暮れても彼女と歩いてた」(出演:高橋まなみ、吉川れみ、アンガールズ、板尾創路ほか)で、ほろ苦い青春の1ページを繊細に描き、若者の心をわし掴み。

■教養講座

それぞれの分野のプロを招いた1コマ2時間の講義



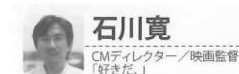
中島哲也

CMディレクター/映画監督
「誰も知らない」



大谷健太郎

映画監督
「NANA2」



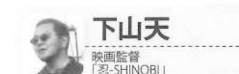
石川寛

CMディレクター/映画監督
「好きだ」



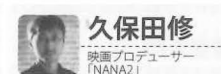
山下敦弘

映画監督
「天然コケッコー」



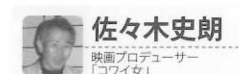
下山天

映画監督
「忍-SHINOBI」



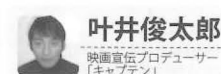
久保田修

映画プロデューサー
「NANA2」



佐々木史朗

映画プロデューサー
「コワイ女」



叶井俊太郎

映画宣伝プロデューサー
「キャプテン」

■プロフィール写真撮影

入学時、プロのカメラマンによるプロフィール写真の撮影をおこないます。撮影してもらおうというスタンスではなく、自己プロデュースの訓練の場となります。ここで撮影した写真は、データとして今後の活動に活用します。

今、本気で演劇や映画作りに取り組んでいる

演出家や映画監督とともに、

基礎から様々な表現スタイルを体験し、作品作りを行い、劇場公演や映画館での上映をします!

受付締切迫る!

10月13日 (土) 日

まで申込書受け付け中!!

夜間部

舞台に立つ!

演劇コース

基礎を学んだ後、様々なジャンルの表現方法を実践し、一年後にはプロの演出家とともに作品をつくり劇場で公演を行います。

▼劇場公演

一年間学んできたことの集大成として、劇場で作品を上演します。



05年度演劇コース 高井浩子クラス公演「ハレルヤ」

授業内容

まず、ゲームや即興劇を通して、演技の基本である言葉と身体動きが同時に進行すること、相手の話に反応して演技を繋げることの訓練を行います。そのあと、実際の台本を用いて舞台作品の稽古をしていきます。



担当講師

高井浩子

(東京タンパリン)

劇作家、演出家。他劇団への執筆・演出活動も多く、昨年は「踊る大捜査線」監督の本広克行初舞台作品「F abrica10.1.1」の台本を手がけたことで話題となった。この二人のコンビによる続編は今年公演を予定し進行中。

劇場公演関連講師



今井朋彦

(俳優/文学座)



志賀廣太郎

(俳優/青年団)



杉山至

(舞台美術家/青年団)

スタジオ実習

様々なジャンルの演劇に挑戦! 実際に作品としてスタジオで発表することで自分の魅力を探っていきます。

■ウェルメイド

最も基本的で大切な演劇表現について学びます。



青木豪 (グリーン)

「グリーン」の作・演出をつとめる。05年、嵐の松本潤主演「エデンの東」の脚本を担当。また、舞台にとどまらずNHK「中学生日記」の脚本なども手掛ける。

■コメディ

実践的な指導によって、笑いを呼び起こすためのポイントを学びます。



松村武 (カムカムミニキーナ)

八崎智人、山崎樹茂を輩出した劇団カムカムミニキーナ主宰。俳優としてもNODA・MAP!に出演するなど幅広く活躍している。

■ミュージカル

歌、ダンス、演技など様々な方向性の表現を「魅せる」ことについて学びます。



田辺茂範 (ロリータ男爵)

柔軟な発想と寛容さをもって、小さな劇場に居ることを忘れてしまうほど、見る者に広大なイメージーションを与えるミュージカルを展開中。

表現講座

表現の基本的な理解の仕方を学びます。

■台本の読み解き方

色々な角度から脚本を読み解く方法を学びます。



板垣恭一

第三舞台を経て演出家に。今年6月、バルコ劇場にて星野真里、辺見えみり、山崎樹茂ら出演の舞台「サムシング・スイート」を演出。

■リーディング

言葉の立て方など、セリフを言う際の具体的なポイントを学びます。



明神慈

「ボカリン」記念会会長。97年より公演活動開始。「地上3cmに浮かぶ楽園」を機に、リーディング、音楽劇、パフォーマンスなど多岐にわたり活動中。

基礎講座

自分の理想とする表現ができる身体づくりと豊かな発想力を養います。

■ヴォイストレーニング&ストレッチ
身体づくり、発声、またそれを生かした芝居づくりを目指します

■演技基礎
演技をする上での基礎的なノウハウを学びます。

■ダンス
身体表現の可能性を広げる試みを行います。

特別講座

それぞれの分野のプロを招いた講義。様々な角度から演劇・俳優に対する知識を深めます。

■俳優講座

活躍中の俳優をお招きしてお話をうかがいます。

■演劇制作講座

劇団運営のためのノウハウを、現役制作者たちのリアルな視点で伝授する、特別講義。

■オーディション講座

芸能プロダクションの担当者による講義。ENBUゼミ生を対象としたオーディションを行います。

■演劇史概々論

「演劇ぶっく」編集長による、演劇史に登場する人々に関する体感講義。

■教養講座

それぞれの分野のプロを招いた1コマ2時間の講義



成井豊

劇作家、演出家
演劇集団キャラメルボックス



ケラリーノ・サンドロヴィッチ

劇作家、演出家
Nylon1000



宮沢章夫

劇作家、演出家
遠藤地再生事業団



松尾貴史

タレント
AGAPE store主幹



柳家花緑

落語家



細川展裕

プロデューサー
ヴィレッジ代表

演劇ぶっく社が運営するエンタテインメントスクール **ENBUゼミナール** 2007年10月生 募集中!

募集要項

■募集対象

経験不問。年齢16～35才くらい

■申込方法

所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、下の申込先へ郵送してください。

■コース定員

演劇コース	夜間部	30名
映像俳優コース	夜間部	30名
映画監督コース	夜間部	25名
映画監督&映像ディレクター専攻		25名

■募集日程

	申込受付期間(必着)	学費納入締切
第5回募集	2007年9月1日(水)～9月14日(金)	2007年9月28日(金)
第6回募集	2007年9月18日(火)～9月28日(金)	2007年10月13日(土)
第7回募集	2007年10月1日(月)～10月13日(土)	2007年10月27日(土)

※募集期間内であっても定員に達したコースは、その時点で申込書の受付を締め切ります。

■申込から入校までの流れ

申込受付期間締切後1週間以内に
全ての方へ郵送にて手続き方法をご連絡します。

手続き書類到着後、納入期限までに諸費用
(入学金、授業料、施設維持費)を一括納入してください。
教育クレジット希望の方は、納入期限までに
教育クレジット申込書を必要事項記入の上、ご返送下さい。

諸費用を一括納入もしくは、教育クレジットの手続きが
完了した時点で入校決定となります。

2007年9月中旬頃に10月から2008年2月までの
授業スケジュールを送付します。

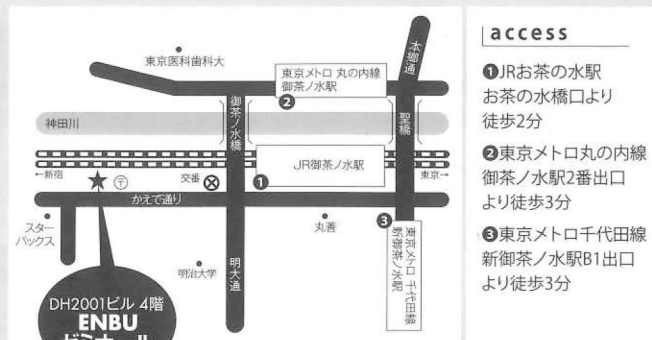
2007年10月下旬にガイダンスを行った後、授業開始です。

説明会 & 体験講座のご案内 (無料)

説明会では授業内容について詳しく説明し、
過去の生徒作品などの上映も行います。
また、体験講座は授業を担当する講師による
初心者を対象とした特別プログラムを体験していただけます。
俳優や映像制作の入門スキルが身につくお得な講座です。

9/16 ★ SUN.	映画監督コース	11:00～13:00
9/30 ★ SUN.	映像俳優コース	13:30～15:00
	演劇コース	13:30～14:30

★9月16日は説明会の後、体験講座を実施します。参加無料です。
ホームページ、またはお電話にてご予約受付中です。



access

- ① JRお茶の水駅
お茶の水橋口より
徒歩2分
- ② 東京メトロ丸の内線
御茶ノ水駅2番出口
より徒歩3分
- ③ 東京メトロ千代田線
新御茶ノ水駅B1出口
より徒歩3分

お問い合わせ・
申込先

ENBUゼミナール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001ビル4F

tel.03-5282-1341

www.enbu.co.jp/zemi/

今、本気で演劇や映画作りに取り組んでいる

演出家や映画監督とともに、

基礎から様々な表現スタイルを体験し、作品作りを行い、
劇場公演や映画館での上映をします!

資料請求 無料!

☎ 03-5282-1341

🏠 www.enbu.co.jp/zemi/

📱 www.enbu.co.jp/mobile/

またはこちらの
QRコードから



夜間部

映画を
作る!

映画監督コース

一年間で、映画・映像作品を制作するための技術と知識を身につけ、
作品を作り映画館で公開!

▼ 個人作品制作

一年間学んできたことの集大成として、劇場で作品を上演します。



授業内容

1人1作品を仕上げるために、企画書の作成から脚本の執筆、撮影準備(ロケハンなど)～撮影～編集までの全工程を経験し、卒業後も作品作りが続けられる技術を身につけます。

05年度映画監督コース「無色の極彩」



担当講師

熊切和嘉
(映画監督)

2006年「青春☆金属バット」(竹原ピストル 安藤政信 坂井真紀 出演)、2007年「フリージア」(玉山鉄二 西島秀俊 出演)と話題作を次々に公開している。

▼ 映画館にて上映!

4月～9月にかけて出演した3本の作品を映画館にて上映します。上映前には舞台挨拶などもおこない、一年間の集大成イベントとして開催しています。



作品上映前の舞台挨拶の様子。

Q-AX CINEMA (会場予定)



渋谷駅ハチ公口より徒歩8分。最新の設備を備え、快適な環境で映画を楽しむことができます。

基礎講座

■機材入門

ビデオカメラ・三脚・録音マイクなどの基本的な使い方を学びます。

■撮影入門

ビデオカメラの特性や操作方法などについて学びます。

■照明入門

照明機材の役割や使用方法について学びます。

■録音入門

録音機材の役割や使用方法について学びます。

■脚本入門

シナリオの書き方などを学び、オリジナル短編脚本を執筆します。

■ノンリニア編集入門

パソコンを使用した映像編集の基本的な操作、編集方法を学びます。

映像俳優コースとの合同授業

■演出入門

俳優コース生とグループ作品制作を行います。

■監督×俳優コラボレート講座

自分のイメージを俳優に伝える訓練を行います。



特別講義

様々な角度から映像制作や俳優に対する知識を深めます。

■教養講座

それぞれの分野のプロを招いた1コマ2時間の講義



中島哲也
CMディレクター/映画監督
「誰も知らない」



大谷健太郎
映画監督
「NANA2」



石川寛
CMディレクター/映画監督
「好きだ。」



山下敦弘
映画監督
「天然コケッコー」



下山天
映画監督
「忍-SHINOBU」



久保田修
映画プロデューサー
「NANA2」



佐々木史朗
映画プロデューサー
「コワイ女」



叶井俊太郎
映画宣伝プロデューサー
「キャプテン」



演劇界の情報のみならず、映画、DVD、本、
などなど、様々な“旬”の情報をご紹介します！
気になるモノは要チェック！



◇DVD『ラバーガールソロライブ ブラッシュバック・スピノネイタリーノ』¥3,150(税込)発売中。お問い合わせ:ピクチャーエンターテインメント株式会社 03-5467-6355

人気急上昇中のラバーガール初の単独DVDが発売に!

新世代の正統派脱力系(?)。思いもよらないところから飛び出す飄々としたボケと、鋭くも淡々としたツッコミ、その独特の間と世界観で、若手ながら確実に実力と人気を伸ばしているラバーガール。なんと初めての単独DVDが発売! 07年3月に恵比寿・エコー劇場にて行われた単独ライブvol.2『ブラッシュバック・スピノネイタリーノ』を完全収録しました。特典映像として、DVDのために撮り下ろした映像ネタ『ピザ屋』も同時収録! 彼らの独特の笑いの世界を堪能しよう。



◇『演劇論集 うたかたの散弾』(角田達朗・著) ¥1800(税抜)発売中。お問い合わせ:クリタ舎 052-705-1309

元・少年王者館の著者による名古屋発の演劇論集

83〜97年に少年王者館に所属していた著者による、名古屋圏を中心とした演劇の事情と批評集。少年王者館を退団した後、愛知淑徳短期大学文芸学科(現在では愛知淑徳大学文化創造学部表現文化専攻に改組)の演劇ゼミを担当することになった著者は、週に1、2本のペースで観劇を続け、劇評を書き続けた。01年には

若干名の学生有志とともに演劇ユニット concept theater Edgeを発足させ、演劇の現場にも関わった。本書は、演劇の批評を中心とした第一部、表現行為や現代芸術に関連する事柄についてまとめた第二部、著者と演劇との個人的な関わりや記録である第三部で構成され、巻末には近年の80劇団・114作品を、劇団名・公演名でまとめた索引もついている。観劇の資料として貴重であると同時に、“演劇”そのものの批評集にもなっており、興味深い。

演劇企画集団 THE・GAZIRA 20年の軌跡 早稲田大学にて企画展開催

87年の成立当初より劇団としての形式を取らず、主宰である鐘下辰男氏を中心に、公演ごとに役者を集めるというスタイルを取ってきた『THE・ガジラ』。早稲田大学坪内博士記念演劇博物館が主催する企画展の＜現代演劇シリーズ＞第30弾となる今回の展示では、結成から現在に至るまでのTHE・ガジラの軌跡を、チラシ、舞台写真、ポスターなどを用いて紹介。会期中には鐘下氏による講演が予定されている。『仮釈放』『死の棘』『ルート64』『ベクター』など、極限状態におかれた人間の心理を鋭く描いたTHE・ガジラの作品群。20年の軌跡を辿ることで、さらなる飛躍を求めて活動するTHE・ガジラの新たなステージの序章となるに違いない。ガジラファンの方は必見!

◇『演劇企画集団THE GAZIRA 20年の軌跡—疾走するガジラ展 10/1〜08/2/4』早稲田大学演劇博物館 3階 現代コーナー 入場無料。お問い合わせ:早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 03-5286-1829

読むゼミ

vol.1

「読むゼミ」とは、演劇ぶっく社が運営するアートスクール「ENBUゼミナール」の、授業の様子やイベント情報、生徒たちの活躍などをご紹介しますコーナーです!

自分に合う演劇って何!?

昨年10月から、演劇界で活躍中の講師たちによる濃密な授業を体感してきた06年度秋期演劇コース生徒たち。一年間に渡る授業も振り返り、地点を過ぎ、いよいよ実践、実践また実践! の日々が始まりました!! なんと今回は「ウェルメイド」「コメディ」「ミュージカル」という、まっ

たく違った個性を持つ演技方法に挑戦! 様々なジャンルの演劇に挑戦し実際に作品として発表することで、自分の苦手な表現、得意な表現を探っていくという授業です。自分に合う演劇って何!? 答えがこっそり見え隠れしてしまうドキドキな発表会でした!

ウェルメイド講座



ウェルメイドとは、構成とストーリー展開のしっかりした作品のこと。内容を正確に読み解き演じるという、演劇をやるうえで最も基本的で大切な表現です。講義を担当するのは、グリングの青木豪さん。作品は、ソートン・ワイルダー「ロング・クリスマス・ディナー」。ある一家の90年もの人生を一幕で描き出すという壮大な作品に挑戦。生徒たちは、人生のひとコマである日常生活の機微を、丁寧に紡いでいくことの難しさを体感したようです。

会話をしたり、道具を使ったという、日常で普通に行われていることも舞台で再現すると意外に難しいものです。今回の授業では、作品をつくるということは簡単ではないということもわかってもらえたかなと思います。

基本的なお芝居が実は一番難しいんだと、実感させられました。

生徒:葉崎允仁

青木豪(グリング) あおきこう ●「グリング」の作・演出をつとめる。05年、嵐の松本潤主演「エデンの東」の脚本を担当。また、舞台にとどまらずNHK「中学生日記」の脚本なども手掛ける。



コメディ講座



観客を笑わせることは、泣かせることよりも難しいと言われます。故林広志さんによるコメディ講座では、生徒たちが海外のコメディに挑戦! 作品は、イギリスの有名な劇作家アラン・エイクボーン「Confusions」。人間の置かれている環境、関係性、人生観などのバックボーンを丁寧に描き出すことで、そこから生み出される勘違いやずれ違いが笑いを生み出します。生徒たちは、粋でウィットな笑いを目指して頑張っていました。

役者に学んでもらいたい作業の一つは「自分と違う人間」を自分に引き寄せ「日常と違う状況」を日常化する作業。その意味で海外のコメディをやるなんて実に面白い作業だ。外人を面白くする。杜絶だ。

笑いは勢いで取るのではなく、作り上げられた芝居や間、お客さんとの空気や距離で面白くなることを知りました。

生徒:鈴木亜衣

故林広志 こばやしひろし ●98年から故林広志prd.として様々な笑いのステージを展開。松尾貴史、NYLON100℃などへの台本提供、日本劇作家協会戯曲セミナー講師も担当。



ミュージカル講座



ウェルメイド→コメディと表現のステップを踏んできた生徒たちがさらに挑戦するのは、ミュージカル。講義を担当するのは、ロリータ男爵の田辺茂範さん。ミュージカルという全ての表現を完璧にこなさなくてはならない! というイメージがありますが、田辺さんによる指導は、表現の上手さだけを求めるものではなく、表現をどれだけ楽しめるかということ。その想いが生徒たちにも伝わり、とても生き生きと挑戦していました。

発表会では4つのグループで4本のミュージカルを上演しました。恐ろしくISミュージカルって作品はひとつもなかったと思いますが(笑) ...どれも素晴らしいミュージカルだったと思います。

ミュージカルの固定概念を、崩してもらえました。芝居は、楽しくってナンボですね。

生徒:佐藤好恵

田辺茂範(ロリータ男爵) たなべしげのり ●95年、多摩美術大学演劇部から「ロリータ男爵」を結成。バカバカしさを誇張したオリジナルミュージカルの手法で描かれる壮大な世界観が人気を呼ぶ。



オーディションニュース

演劇界で活躍したい人の情報ページ

天王洲 銀河劇場 ブロードウェイ・ミュージカル『回転木馬』出演者オーディション募集

【募集内容】
出演者募集
【締切など】
2007年10月22日(月)必着/郵送
【PR】
天王洲 銀河劇場プロデュース公演第一弾、ブロードウェイ・ミュージカル『回転木馬』のオーディションを行います。ブロードウェイで活躍する演出家ロバート・マクイン氏が新たに手がける、傑作ミュージカルの舞台上に立てるチャンス!詳細はホームページをご覧ください。
【応募資格】
2007年現在15歳〜50代までの男女。舞台経験不問。
【応募方法】
希望の役柄を明記したプロフィール(芸歴・身長・

体重含む)、写真2枚(全身・上半身)を郵送。※HPに専用の応募用紙あり。
【選考方法】
書類審査後、2008年1月中旬オーディション(ダンス・歌・課題曲+自由曲+芝居)。詳細は11月15日(木)までに書類審査合格者のみに連絡。
【連絡先】
〒140-0002 東京都品川区東品川2-3-16(株) 銀河劇場『回転木馬』オーディション〇〇役係
※〇〇に希望の役柄を必ず明記のこと
TEL:03-5769-0030
http://www.gingeki.jp/audition/
◆【団体名】『ソーサル・キングダム』
【募集内容】
劇団員(役者・スタッフ)
【締切など】
随時募集(郵送、FAX、電話、メール等)一度E-mailにてご連絡を頂き、その後履歴書をご郵送いただきます。
【PR】

2008年の公演に向けて、役者及びスタッフを募集! 芝居を趣味で終わらせない情熱あふれる仲間を捜しています。性別・経験は不問!東京都内での活動に参加できる強い信念を持った20代の方、是非ご連絡下さい。
【連絡先】
E-mail:A-red@jcom.home.ne.jp
FAX:03-6780-3004(制作担当)
◆【団体名】劇団ハイウェイ
【募集内容】
劇団員募集
【締切など】
10月末締め切り(郵送、FAX、電話、メール等)メールで一度ご連絡下さい。
【PR】
笑いありアクションありの勢い溢れる作品を武器に、演劇界を縦横無尽に駆け巡る! 現在当劇団では12月公演に向け、身長が高い、又はヒーロー役が似合う男女を募集しております。稽古場等詳しくはお問い合わせ下さい。

【連絡先】
E-mail:highway07@gmail.com
◆【団体名】
VARNA-The Another Words-
【募集内容】
女優(ヒロイン)1名
【締め切りなど】
2007年10月末日(郵送、FAX、電話、メール等)FAXもしくはメールにてご連絡ください。
【PR】
現在身長が高い女優を捜しています。2007年12月公演のヒロインとして、また今後の公演でエースになれる女性1名を募集しています。詳しくはWebの募集要項をご覧ください。E-mail・FAXよりご連絡下さい。
【連絡先】
E-mail:info@varna.jp
FAX:03-3590-6771
url: www.varna.jp

ENBUゼミナール 秋のイベント情報

演劇に興味のある方はこちら! ENBU★フェスタ 2006年度秋期演劇コース公演
『トゥモロー・ネバーノウズ』作・演出 高井浩子(東京タンパリン)
■タイムテーブル
10月30日(火)19:00/10月31日(水)19:00/11月1日(木)18:00
■チケット
前売1,000円/当日1,200円 全席自由
下記の方法で発売中です。
●ホームページ予約フォーマット...www.enbu.co.jp/zemi/
●ENBUゼミナール電話予約...tel.03-5282-1341
●ENBUゼミナール事務局...窓口にて販売
■会場:笹塚ファクトリー 東京都渋谷区笹塚1-56-7 京王世田ビル2F tel.03-5371-4655
●会場:渋谷Q-AXシネマ 東京都渋谷区円山町1-5 Q-AXビル tel.03-3464-6277
●Q-AXシネマ...劇場窓口にて販売
●チケットが



上記レポートに登場している06年度秋期演劇コース生徒たちによる卒業公演「ENBU★フェスタ」、同時期に入学した映像科の生徒たちの出演作品・監督作品を一挙に上映する「ドロップ・シネマ・パーティー」が10月に開催されます!!

映像に興味のある方はこちら! ドロップ・シネマ・パーティー 2007 AUTUMN

■日程:10月20日(土)〜26日(金)
連日21:15よりレイトショー
■会場:渋谷Q-AXシネマ 東京都渋谷区円山町1-5 Q-AXビル tel.03-3464-6277
●Q-AXシネマ...劇場窓口にて販売
●チケットが



ENBUゼミナール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3 DH2001Bldg.4F tel.03-5282-1341/fax.03-5282-0171
mail:zemi_info@enbu.co.jp HP:http://www.enbu.co.jp/zemi/

演劇ぶっく社の本

楽天ショップ「演劇と映画の本屋さん」にて好評発売中!

Line up

俳優になる '06-07



意外と知らない。
あの人が俳優になった理由。

大倉孝二 (ナイロン100℃)
小林高鹿 (ペンギンブルベイル/バイルズ)
永野宗典 (ヨーロッパ企画)
池田成志
音尾琢真 (TEAM NACS)
他

映画監督になる '06-07



「映画監督になる」って、なんだろう?
……と、こんな人たちに聞きました。↓

三木聡 (構成作家・脚本・監督)
久保田修 (映画プロデューサー)
津田寛治 (俳優・監督)
箭内道彦 (クリエイティブディレクター)
ケラリーノ・サンドロヴィッチ (劇作家・演出家・監督) 他

河原官九郎



宮藤官九郎
河原雅彦 著

98年9月号から、演劇ぶっくに連載された「クドカン・まちゅびこ」シリーズ。丸三年にわたる二人の軌跡を完全収録＆撮り下ろし写真、ロングインタビューなど盛りだくさんの一冊。

あわボンDX



栗根まこと 著

『演劇ぶっく』の長寿人気連載・栗根まことの「人物ウォッチング」に本人からのコメント&プロフィールも収録! 前作の『あわボン』より1.5倍のボリュームになって復刻しました。

えんぶコラム×アーカイブ



『演劇ぶっく』に掲載された本音コラムが1冊に! 昔のレア原稿から最新の連載までがぎっしりです。執筆陣は犬山犬子、いのうえひでのり、古田新太、後藤九郎ひと、山内圭哉、宮藤官九郎、鳥肌実、河原雅彦、長塚圭史など30人以上!

ヤマムラアニメーション図鑑 改訂版
定価1,575円

成井豊のワークショップ――感情解放のためのレッスン――
成井 豊 著
定価2,100円

俳優になる'05

定価1,575円

映画監督になるになる'05

定価1,575円

gikyoku-workshop
平田オリザ×山岡徳貴子 著
定価1,475円

詳細・ご購入はコチラから↓
http://www.rakuten.co.jp/enbu/

お問い合わせ 演劇ぶっく社:03-5282-1340

の熱い花」/コズミック・フェスティバル『宙 FANTASISTA!!』
出演:大和悠河/陽月華/他
(料) S席¥6,500、A席 ¥5,000
B席 ¥3,000
(電)梅田芸術劇場0663773800

心斎橋・難波

定期公演館以外

10/2(火)～10/4(木)
黒田有(メッセンジャー)×石井正則 舞台公演『味噌SOUP』
●フッハ上方フッハホール(大阪府大阪市中央区難波千日前12-7)06-6631-0884
作:上田信彦 演出:永峰明 出演:黒田有(メッセンジャー)/平田敦子/篠塚茜(シベリヤ少女鉄道)/石井正則
(料) 全席指定 ¥4,000
(電)吉興美楽(株)066346777

大阪市内

シアターBRAVA!

大阪市中央区城見1-3-2
06-6946-2260
大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線大坂ビジネスパーク駅1番出口すぐ

9/14(金)～9/17(月)
『エレンディア』
原作:ガルパン・マルケス 脚本:坂手洋二 演出:越川幸雄 音楽:マイケル・ナイマン 出演:川|見敦/美波/品川|徹/石井唯一/あがた森魚/他
(料) 全席指定 ¥12,600
(電)イオン化粧品 シアター BRAVA! 0669462260

9/22(土)～9/24(月)
KKP#5
『TAKEOFF～ライト三兄弟～』
脚本・演出:小林賢太郎 出演:久ヶ沢徹/オレンヂ/小林賢太郎
(料) 全席指定 ¥5,000
(電)サンケイチケットセンター 0570055062

10/6(土)～10/8(月)
『レインマン』
出演:椎名桔平/橋爪功/紺野まひる/佐藤智
(料) S席 ¥8,500
学生席 ¥4,000
(電)イオン化粧品 シアター BRAVA!0669462260

11/2(金)～11/4(日)
劇団スーパー・エキセントリックシアター 第45回公演 教育再生シリアスゲーム
『昭和クエスト』
作:木和 語 演出:三宅裕司 出演:三宅裕司/小倉久寛/劇団スーパー・エキセントリックシアター
(料) 一般指定席 ¥6,500
学生席 ¥3,000
(電)サウンドクリエイター 0663574400

11/7(水)
カムカミミニキーナ『軍団』
作・演出:出演:松村武 出演:八嶋智人/藤田記子/吉田晋一/山崎みちる/佐藤恭子/他
(料) 全席指定 ¥4,500
(電)イオン化粧品 シアター BRAVA! 0669462260

11/8(木)・11/9(金)
『COASTER』
脚本:金子茂樹 演出:大江洋彦 出演:濱西村雅彦/金子貴俊/東根作寿英/保田圭(元モーニング娘。)/高嶺ふぶき/他
(料) 全席指定 ¥7,000
学生席 ¥3,500
(電)イオン化粧品 シアター BRAVA! 0669462260

(電)キョードーチケットセンター 0662338888

シアター・ドラマシティ

北区茶屋町19-1 06-6397-3800
阪急梅田駅茶屋町口3分
地下鉄千津駅4番出口 5分

9/12(水)
O.N.アベックホームラン 4
『セプテンバー・ホール～9月の散らかった穴～』
作:細川|徹(男子はだまってなさいよ)/O.N. 演出:細川|徹(男子はだまってなさいよ) アイディア提供:大竹まこと/五月女ケイ子/シンコ(スチャダラパー)/三木聡 出演:大堀こういち(O)/温水洋一(N)
(料) S席 ¥6,000、A席 ¥5,000
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

9/14(金)
『The Guys 消防士たち』
脚本:アン・ネルソン 翻訳:高橋由紀子、田中宏明 出演:津嘉山正種、三田和代
(料) 全席指定 ¥7,000
(電)梅田芸術劇場0663773888

9/28(金)
『ラスト・ファイヴ・イヤーズ』
台本・作詞・作曲:ジェイン・ロバート・ブラウン 演出:鈴木勝秀 出演:山本耕史/井手麻理子
(料) 全席指定 ¥7,800
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773888

9/29(土)・9/30(日)
戸田恵子 live show
『ACTRESS –happy? half century!–』
構成・演出:三ツ矢雄二 出演:戸田恵子/他
(料) 全席指定 ¥7,500
(電)キョードーチケットセンター 0662338888

10/31(水)～11/4(日)
『犯さん哉』
作・演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演:古田新太/中絶典子/犬山イヌコ/姜暢雄/大倉孝二/他
(料) 全席指定 ¥8,500
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773888

10/5(金)～10/17(水)
宝塚歌劇 雪組
『シルバー・ローズ・クロニクル』
作・演出:小柳孝穂子 出演:彩吹真央/他
(料) 全席指定 ¥7,000
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773888

11/2(金)～11/4(日)
劇団スーパー・エキセントリックシアター 第45回公演 教育再生シリアスゲーム
『昭和クエスト』
作:木和 語 演出:三宅裕司 出演:三宅裕司/小倉久寛/劇団スーパー・エキセントリックシアター
(料) 一般指定席 ¥6,500
学生席 ¥3,000
(電)サウンドクリエイター 0663574400

9/15(土)～9/17(月)
宝塚歌劇 雪組
『星影の人』Joyful!!!!!!
『星影の人』作・演出:柴田侑宏 演出:振付:尾上菊之丞
『Joyful!!!』作・演出:藤井大介
(料) S席 ¥6,500、A席 ¥5,000
B席 ¥3,000
(電)梅田芸術劇場0663773888

10/1(月)～10/25(木)
喜劇『売らいでか!～亭主売ります!～』
原作:岸宏子『ある開花』より 脚本:花登寛 演出:山田孝行 潤色:野田昌志 出演:浜木綿子/左とん平/赤木春恵/田村亮/光本幸子/他
(料) S席 ¥12,000、A席 ¥8,000
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773800

10/30(火)・10/31(水)
宝塚歌劇 宙組
ミュージカル・ロマン『バレンシア

●習志野文化ホール(習志野市 谷津1-16-1)0474-79-1212 JR津田沼駅南口3分
原作:藤原佑好 脚本:山|川|啓介 演出:振付:村田大 出演:島田歌穂/月影瞳/樹里咲穂/下條アトム/他
(料) S指定席 ¥7,000
(電)アイエス0352695356

9/14(金)
中村勘太郎 中村七之助『錦秋特別公演』
●和光市民文化センター サンアゼリア大ホール(神奈川|県横浜市中区住吉町4～42-1)
045-662-1221 地下鉄鶴岡駅徒歩3分・東京急行桜木町駅徒歩7分
出演:椎名桔平/橋爪功/紺野まひる/佐藤智
(料) S席 ¥6,000、A席 ¥5,000
(電)財団法人和光市文化振興公社0484687771

9/15(土)・9/16(日)
桑島法子
『一人語り SORA TO KAZE』
●熊谷文化創造館さくらめいと風の劇場
(料) S席 ¥4,200
(電)Zen-A 0335836766

9/19(水)
中村勘太郎 中村七之助『錦秋特別公演』
●鎌倉芸術館 大ホール(鎌倉市 大船6-1-2)0467-48-5500 JR大船駅10分
(料) S席 ¥6,800、A席 ¥5,500
(電)Zen-A 0335836766

9/22(土)・9/23(日)
劇団扉座 第38'回公演
『ドリル魂ーガ・ガ・ガー』
●千葉市美浜文化ホール(美浜区 真砂5ー15ー2)043ー270ー5619
作・演出:横内謙介 出演:栗沢/鈴木利典/岩本達郎/上原健太/鈴木里沙/他
(料) 全席指定 ¥4,200
(電)劇団扉座0332210530

9/24(月)
松竹大歌舞伎
『二代目中村錦之助襲名披露』
●森のホール21大ホール(松戸市 千駄堀646-4)047-384-5050 JR武蔵野線 新八柱駅or新京成線 八柱駅 15分
出演:中村信二郎改め中村錦之助/中村梅玉/中村東蔵/中村時蔵/尾上松緑/他
(料) 一階席 ¥6,000、二階席 ¥5,000
(電)松戸・森のホール21チケットセンター047-3843331

10/6(土)
こまつ座
『円生と志ん生』
●市|川|市文化会館大ホール(市|川|市大和田1-1-5)0473-79-5111 JR本八幡駅10分・地下鉄本八幡駅5分
作:井上ひさし 演出:鶴山仁 出演:辻萬長/角野卓造/塩田朋子/森奈みはる/池田有希子/他
(料) S席 ¥4,500、A席 ¥3,500
(電)財団法人市|川|市文化振興財団0473795111

10/6(土)
宝塚歌劇 雪組
『星影の人』作・演出:柴田侑宏 演出:振付:尾上菊之丞
『Joyful!!!』作・演出:藤井大介
(料) S席 ¥6,500、A席 ¥5,000
B席 ¥3,000
(電)梅田芸術劇場0663773888

9/15(土)～9/17(月)
宝塚歌劇 雪組
『星影の人』Joyful!!!!!!
『星影の人』作・演出:柴田侑宏 演出:振付:尾上菊之丞
『Joyful!!!』作・演出:藤井大介
(料) S席 ¥6,500、A席 ¥5,000
B席 ¥3,000
(電)梅田芸術劇場0663773888

10/1(月)～10/25(木)
喜劇『売らいでか!～亭主売ります!～』
原作:岸宏子『ある開花』より 脚本:花登寛 演出:山田孝行 潤色:野田昌志 出演:浜木綿子/左とん平/赤木春恵/田村亮/光本幸子/他
(料) S席 ¥12,000、A席 ¥8,000
(電)株式会社 梅田芸術劇場 0663773800

10/30(火)・10/31(水)
宝塚歌劇 宙組
ミュージカル・ロマン『バレンシア

11/3(土)・11/4(日)
劇団鳥獣戯画
『春でもないのに』
作・演出:振付:知念正文 音楽:雨宮賢明
(料) 指定席 ¥3,500
(電)劇団鳥獣戯画0429606000

定期公演館以外

10/18(木)・10/19(金)
『レインマン』
●横浜市民文化会館関内ホール 大ホール(神奈川|県横浜市中区住吉町4～42-1)
045-662-1221 地下鉄鶴岡駅徒歩3分・東京急行桜木町駅徒歩7分
出演:椎名桔平/橋爪功/紺野まひる/佐藤智
(料) S席 ¥6,500、A席 ¥7,500
(電)lvkチケットカウンター 0456639999

関東その他

グリーンホール相模大野

相模原市相模原4-4-1
0427-49-2200 小田急相模大野駅3分

大 ホ ー ル

9/25(火)
江利チエミ物語
『テネシー・ワルツ』
原作:藤原佑好 脚本:山|川|啓介 演出:振付:村田大 出演:島田歌穂/月影瞳/樹里咲穂/下條アトム/他
(料) S指定席 ¥7,000
(電)アイエス0352695356

多 目 的 ホ ー ル

9/22(土)
白石加代子
『百物語シリーズ 第二十四夜』
演出:鴨下信一
(料) 全席指定 ¥4,200
(電)チケットMove0427429999

よこすか芸術劇場

横須賀市本町3-27 0468-28-1600
京浜急行横線入駅1分

10/21(日)
大蔵流茂山家
『お豆腐狂言～ヨコスカ・コレクション～』
出演:茂山千之丞/茂山千五郎/茂山七五三/茂山あきら/茂山宗彦/他
(料) S席 ¥4,500
(電)横須賀芸術劇場0468239999

彩の国さいたま芸術劇場

与野市上峰3-15-1 048-858-5500
JR与野本町駅10分

大 ホ ー ル

10/4(木)～10/21(日)
彩の国シェイクスピア・シリーズ第18弾
『オセロ』
作:W.シェイクスピア 演出:越川|幸雄 出演:吉田鋼太郎/蒼井優/高橋洋/馬淵英俣可/山口馬木也/壇晴彦/鈴木豊/他
(料) S席 ¥9,000、A席 ¥7,000
B席 ¥5,000
(電)彩の国さいたま芸術劇場 0488585511

11/2(金)～11/4(日)
維新派
『nostalgia』
作・演出:松本雄吉 音楽:内橋和久 出演:井田学/若村吉純/藤木太郎/石本由美/平野舞/他
(料) S席 ¥5,000、A席 ¥4,500
(電)財|埼|玉県芸術文化振興財団 0488585503

11/2(金)～9/24(月)
イクイム
『散歩する侵略者』
作・演出:前川|知大 出演:若本幸子/浜田信也/盛隆二|園直也/宇井タカノ/他
(料) 全席指定 ¥3,200

定期公演館以外

9/11(火)
江利チエミ物語
『テネシー・ワルツ』

(料) 全席指定(一般) ¥3,200
(学生) ¥2,800
(電)プリログ0334101816

10/4(木)～10/14(日)
演劇企画集団THE・ガジラ『へル』
作:スエヒロケイスケ 演出:鍾下辰男 出演:千葉哲也/ノゾエ征爾(はえぎわ)/寺十吾/久保耐吉/古部房子/他
(料) 全席指定 ¥4,500
(電)オフィスコットーネ 0334114081

10/17(水)～10/28(日)
ペンギンブルベイルパイルズ
『ゆらめき』
作・演出:倉持裕 出演:小林高鹿/ぼくもとさきこ/玉置孝臣/内田慈/近藤智行/他
(料) 全席指定 ¥3,800
(電)ペンギンブルベイル/バイルズ 0354992739

三鷹市芸術文化センター

三鷹市下連雀9-11-7教育センター2F 0422-47-5122
JR三鷹駅南口15分/南口5・6番バス5分
八幡前・芸術文化センター下車すぐ
http://www.mitaka.jpn.org

星のホー ル
MITAKA"Next" Selection 8th.

9/14(金)～9/24(月)
サンプル:02
『カロリーの消費』
作・演出:松井周 出演:辻美奈子/古舘寛治/古屋暲太/米村亮太郎(ポントドー)/山中隆次郎(スロウライダー)/他
(料) 全席指定(一般) ¥2,500
(高校生以下) ¥1,000
(電)三鷹市芸術文化センター 0422475122

10/5(金)～10/8(月)
モダンスイマーズ
『楽園』
作・演出:蓬萊竜太 出演:古山憲太郎/津村和与支/川|棉紗/西條義将/種子
(料) 全席指定(一般) ¥3,000
(高校生以下) ¥1,000
(電)三鷹市芸術文化センター 0422475122

10/5(金)～10/8(月)
モダンスイマーズ
『楽園』
作・演出:蓬萊竜太 出演:古山憲太郎/津村和与支/川|棉紗/西條義将/種子
(料) 全席指定(一般) ¥3,000
(高校生以下) ¥1,000
(電)三鷹市芸術文化センター 0422475122

10/18(木)～10/21(日)
MITAKA"Next" Selection 8th.

10/12(金)～9/17(月)
『暗くなるまで待って』
作:フレデリック・ノット 訳・演出:青井陽治 出演:彩輝なほ/浦井健治/他
(料) 全席指定 ¥7,500
(電)キョードー東京0334989999

9/19(水)～9/24(月)
『愛、時をこえて 関ヶ原異聞』
作・演出:岡本さとる 音楽:加藤和彦 出演:貴城大|ノ市|川|段治郎/吉野圭吾/華城季帆/市|川|笑也
(料) S席 ¥9,000、A席 ¥7,000
(電)アーティストジャパン 0368203500

9/27(木)～9/30(日)
百物語シアグラフィティ 第6回公演
『～昭和歌謡シアター ～ Faraway～』
出演:安倍なつみ/アヤカ(コナツツ娘。)/前田有紀/つつみかよこ/坂本あきら/他
(料) 全席指定 ¥4,800
(電)オデッセー-0335603930

10/3(水)～10/5(金)
『風凰伝説』
演出:振付:田上通 出演:東儀秀樹/館形比呂 一 語り:三田和代/宮|川|安利 音楽:東儀秀樹/坂出雅海
(料) S席 ¥7,500、A席 ¥6,000
(電)サンライズプロモーション東

相 鉄 本 多 劇 場

横浜市西区南幸2-1-22
相鉄ムービル3F 045-319-2150
JR横浜駅西口方面改札 5分

京0570003337

10/11(木)・10/12(金)
『満月～平成親馬鹿物語～』
作・演出:水谷龍二 出演:菅原大吉/竹内都子
(料) S席 ¥5,000、A席 ¥3,500
(電)THEATRE1010 0352441010

10/19(金)～10/28(日)
10/18(木)・10/19(金)
『スガナレレ』
作:モリエール 脚本・演出:是枝正彦 出演:石山雄大/岡崎亮子ー谷伸江/相原愛/他
(料) 全席指定 ¥5,000
(電)THEATRE1010 0352441010

定期公演館以外

10/2(火)～10/7(日)
ハハ・タラマラ
『トウキョウ☆ブエノスアイレス書簡』
●アヒェ・アートスクエア(墨田区 吾妻橋1-23-1 アサヒスーパードライホール4F)03-5608-5391 銀座線浅草駅4分
作・演出:振付:小池博史 音楽・作曲:演奏:中川俊郎(ピアノ) 美術:田中真樹 出演:小川|摩利子/あらた真生/池野拓哉/菊地理恵/橋本礼/他
(料) S席(一般) ¥4,800
A席(一般) ¥4,500
(料) SAI Inc.0333852066

10/2(火)～10/14(日)
演劇集団 円
『天使都市』
●ステージ円 (台東区西浅草 1-2-3田原町センタービル5F) 銀座線田原町駅3分
作:劇団円 演出:森新太郎 出演:三谷昇/平木久子/上杉陽一/高橋理恵子/尻原美樹
(料) 全席指定(一般) ¥4,500
(学生) ¥3,500
(電)演劇集団 円0358280654

10/4(木)～10/14(日)
『Tingel GRIMM ～眠れぬ森のおどけ奇譚～』
●にすぎしも創造舎特設劇場(豊島区西栗駒4-9-11にすぎしも創造舎(旧日南中学校))
03-5961-5200
演出・構成:串田和美、美術・衣装:宇野亜喜良 出演:串田和美/高泉淳子/市|川|実和
子/あさひオユキ/稲葉良子/他
(料) 指定席 ¥6,000
(電)アート・ングリム事務局 0367371006

10/4(木)～10/14(日)
『眠れぬ森のおどけ奇譚～』
●にすぎしも創造舎特設劇場(豊島区西栗駒4-9-11にすぎしも創造舎(旧日南中学校))
03-5961-5200
演出・構成:串田和美、美術・衣装:宇野亜喜良 出演:串田和美/高泉淳子/市|川|実和
子/あさひオユキ/稲葉良子/他
(料) 指定席 ¥6,000
(電)アート・ングリム事務局 0367371006

10/12(金)～9/17(月)
『暗くなるまで待って』
作:フレデリック・ノット 訳・演出:青井陽治 出演:彩輝なほ/浦井健治/他
(料) 全席指定 ¥7,500
(電)キョードー東京0334989999

9/19(水)～9/24(月)
『愛、時をこえて 関ヶ原異聞』
作・演出:岡本さとる 音楽:加藤和彦 出演:貴城大|ノ市|川|段治郎/吉野圭吾/華城季帆/市|川|笑也
(料) S席 ¥9,000、A席 ¥7,000
(電)アーティストジャパン 0368203500

9/19(水)～9/24(月)
『愛、時をこえて 関ヶ原異聞』
作・演出:岡本さとる 音楽:加藤和彦 出演:貴城大|ノ市|川|段治郎/吉野圭吾/華城季帆/市|川|笑也
(料) S席 ¥9,000、A席 ¥7,000
(電)アーティストジャパン 0368203500

9/27(木)～9/30(日)
百物語シアグラフィティ 第6回公演
『～昭和歌謡シアター ～ Faraway～』
出演:安倍なつみ/アヤカ(コナツツ娘。)/前田有紀/つつみかよこ/坂本あきら/他
(料) 全席指定 ¥4,800
(電)オデッセー-0335603930

TOKYO 23区外

東京都内7都市部

0 8 6

タニノクロウ 演出・上演台本

野鴨

Vildanden

美しく 厳かな 悲劇

若き鬼才タニノクロウ、名優達を従え怪戯曲へ挑む!!



Cast

石田えり
高汐巴
手塚とおる
保村大和
石橋正次
藤井びん
マメ山田
鎌田沙由美
津嘉山正種

ヘンリック・イプセン作
タニノクロウ演出

企画 (株)メジャーリーグ+庭劇団ベニノ
製作 (株)メジャーリーグ

助成: 日本芸術文化振興会
舞台芸術振興事業

2007.11.01(thu)~11.30(fri) at シアター 1010 ミニシアター
(北千住駅西口すぐ 丸井10F)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
13:00																													
14:00																													
18:00																													
19:00																													

9月1日(土)一般前売開始
全席指定 前売: 4600円/当日: 5000円

チケットの取扱い

■THEATRE1010チケットセンター
03-5244-1011

■1010オンラインチケット

<http://www.t1010.jp/>

※シアター1010での窓口販売及び電話予約されたチケットの
お取引は、9月3日(月)からとなります。

■メジャーリーグ

<http://www.majorleague.co.jp/>

■庭劇団ベニノ <http://www.niwagekidan.org>
■チケットぴあ 0570-02-9988 (Pコード 378-252)
■ローソンチケット <http://www2.lawsonticket.com>
(Lコード 32340)
■イープラス <http://eplus.jp>

フロムハーダース

東京でも35℃以上の猛暑日が続いた今年の夏。
皆さんはどのように過ごされたのでしょうか?
演劇編集部は、毎年お盆の時期は校了でバタバタしています。
気が付けばもう夏も終わり。
夏を楽しんだ方も、夏バテしてしまった方も、
気持ちを新たに良い秋を迎えましょう。

◆今号の表紙、ナイス! です。ラーメンズもPiperも大好きなので、大大満足です。7/8にルミネでPiperのトークライブがあったのですが、シークレットゲストがすごく豪華でびっくりしました。ライブ後半、ライブを観に来ていたラーメンズの片桐さんと、後藤ひろひとさんの奥様の楠見薫さん、さらにはホリケンまでもがステージに!! 約2時間のトークライブだったのですが、本当に楽しかったです。

(栃木県 会社員 はなうさぎ)

◆芝の上に寝転がる山内さんと片桐さん……! 「そう来たかー! すごーい」と思っていました。表紙で寝転がっている構図というの、よく考えるとすごいですね。対談の内容も表紙同様、肩の力の抜けたユルユル感じ(ホメ言葉ですよ!)が出ていて楽しく読ませていただきました。

(北海道 会社員 あっちゃん)

◆山内圭哉さんと片桐仁さんの表紙は、芝の緑色が柔かく、どこかほのぼのとした雰囲気でした。今号では阿部サダヲさんが久々に表紙にご登場。いつもよりちょっと長めのインタビューも掲載しましたので、じっくり読んでください。

◆128号は「待ってました!」の号でした。何げと言えば「ドブの輝き」。この舞台はできたら毎回観たかったです。それでも7回行った私はスゴイ! 前売でゲットしたのは1回のみ、あとは当日券で、座布団、パイプ椅子、立ち見と、色々な角度から観て楽しませてもらいました。毎回同じ事をしていない、アドリブのコーナーもあって、本当に大人計画は観る人の心を離さないと感じました。

(神奈川県 会社員 てんば)

◆「ドブの輝き」は三部作で、盛りだくさん内容でした。それにしても7回も行かれたとは……すごい! 確かにアドリブのコーナーがあったりすると、毎回観たくなりますね。

◆ヨーロッパ企画の「バックトゥ2000シリーズ」3本観に行きました。「苦悩のピラミッド」が私のなかでヨーロッパ企画初観劇だったのですが、あまりの面白さにびっくりです! 「ヨーロッパ企画を知らない人に一番最初に観て欲しい2作」とインタビューの中で上田さんとおっしゃっていましたが、あの世界観に本当にどっぷりハマってしまいました。次号予告で「衛星都市へのサウダージ」を見つけ

て、さらにデモンUPです!
(東京都 会社員 しの)
◆ヨーロッパ企画はグダグダ笑いがあったかと思えば実は緻密な構成だったりして、本当に面白いんですよね。役者さんたちもそれぞれ魅力的で、「衛星都市へのサウダージ」のインタビューもお楽しみください。

◆「THE BEE」日英両バージョンと「The Last Laugh」を観て、演劇的趣向について考えさせられました。どちらも素晴らしい出来映えでした。「THE BEE」は両バージョンとも野田秀樹氏の作品であり、「The Last Laugh」は三谷幸喜氏の「笑いの大学」を英国演劇人がアレンジしたものなので、単純には言えないのかもしれませんが、両氏とも劇作家・演出家としてグローバル・スタンダードを見事にクリアしている証なのでしょう。それにしても来日した英国の俳優陣の充実ぶりには改めて感心させられました。もちろんどちらの作品の日本バージョンに出演された方も、我が国が誇るべき俳優たちですが、

(茨城県 団体職員 宮松坂夏平)

◆全くタイプは違いますが、どちらも「すごい

アンケートにご協力ください!

演劇ぶっく130号(11/9発売)では、「演劇をつくる〜俳優編〜」という特集を予定しております。つきましては、皆様にアンケートにご協力いただきたいと思います。巻末のハガキに必要な事項を記入し、下記の質問にお答えください。

- ①あなたの考える「良い俳優」の条件と、その理由は?
- ②あなたの好きな俳優名は? 好きな俳優をプッシュしよう! 皆様の応募をお待ちしております。どしどしお送りください!

プレゼント 広場!!

巻末のアンケートハガキに、希望するプレゼントをお書きの上お申し込みください。応募者多数の場合は抽選になります。発表は発送をもってかえさせていただきます。締切は9月30日消印有効。どしどしご応募ください!!

NODA-MAP「THE BEE」サイン入りパンフ/1名

70分という短い時間に様々な演劇的仕掛けを施し、衝撃の内容で観る者を圧倒した「THE BEE」。日本版に出演し、鮮烈な印象を与えた近藤良平と、演出のみならず日英両バージョンに違う役で出演し、俳優としての凄さをも見せつけた野田秀樹。2人のサイン入りパンフを1名に。



阿部サダヲサインボラ/1名

撮影日はあいにくの雨模様……。それでも、外のカットがどうしても欲しくて、屋外撮影をお願いしてみたら、本人は一言「はい、何でもやりますよ!」と快諾! その時の笑顔を、僕は決して忘れません! そんな阿部サダヲのボラにサインを入れて1名に。



As You Like It

『お気に召すまま』パンフレット/1名

初演から3年経ての今回の再演では、小栗旬、成宮寛貴はじめとした俳優たちの成長ぶりが窺えた。客席も熱気に溢れ、芝居の内容通り、まるでお祭りのような盛り上がりだった同公演のパンフレットを1名に。



中越典子×大倉孝二×入江雅人サインボラ3名

P.8への写真撮影時、ボラロイデジカメの画面を見た3人からは「これは……バッドみたいだね!」との言葉が。おぉー、そう言われると確かにスリッピーバッドっぽい。そうなるの? 撮影は途中からバッドっぽさを追求したボラに? 今回は撮影現場の楽しさが伝った1枚となりました。そのお3人のサインが入ったボラを3名に。



演劇集団キャラメルボックス「カレッジ・オブ・ザ・ウィンド」フォトブック/1名

舞台初主演の高部あゆみ「ほしめ」が好評の「カレッジ・オブ・ザ・ウィンド」。真っ直ぐな想いをひたむきに届けようとする熱演に涙した人も多かったようです。舞台美術も印象的で、不思議な吸引力に溢れた作品でした。そんな今作の公演フォトブックを1名に。



ゲキ×シネ

『獨眼城の七人〜アオドロ』『獨眼城の七人〜アオドロ』『SHIROH』『メタルマックス』DVD/各2枚 計8名
演劇の新しい面白さを追求するゲキ×シネ。『獨眼城の七人』の全一巻上映を記念して、過去のゲキ×シネ4作品のDVDをプレゼント! 大画面で初めて気付く俳優達のきめ細い演技もたっぷり堪能でき、舞台を観た人こそ必見です。各作品2枚、計8名に。



Piper「ひーはー」サイン入りパンフレット/1名

前作「スプーキーハウス」の続編にあたるのが、この「ひーはー」。前回の勢いをそのままに展開されたPiper流コメディの傑作は、まだまだ完結しそうにもありません! P.37〜のお2人の話にあるように、続編への期待も大です! インタビューに登場した山内圭哉、腹筋善之介のサインの入ったパンフレットを1名に。



ヨーロッパ企画「衛星都市へのサウダージ」サイン入りパンフレット/1名

過去(紀元前エジプト)、現代、と続いたヨーロッパ企画の「バックトゥ 2000シリーズ」。3部作完結編の舞台は、やっぱり未来(宇宙)! 近未来イメージのポップな舞台セットが、彼らに全開でとってもgood!! 「人類移住計画」をテーマにしたパンフレットにも遊び心が満載。特別CDも付いています。このパンフレットに石田剛太と諏訪雅のサインを入れて1名に。



野田地圖第十三回公演
作・演出 野田秀樹

野田 秀樹

企画・製作：NODA・MAP 提携：Bunkamura

00714

